

午前問題					午後問題						
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1.	d	2	解剖学	56	b	6	小児歯科学	1.	c	1	解剖学
2.	c	1	解剖学	57	d	6	小児歯科学	2.	b	2	解剖学
3.	d	2	解剖学	58	c	6	小児歯科学	3.	b	2	解剖学
4.	c	2	解剖学	59	d	6	高齢者・障害者	4.	a	2	解剖学
5.	a	1	生化学	60	c	6	高齢者・障害者	5.	a	1	生化学
6.	d	1	生理学	61	b	6	高齢者・障害者	6.	a	1	生理学
7.	a	1	生理学	62	b d	6	高齢者・障害者	7.	b	1	生理学
8.	c	1	生理学	63	b d	7	歯科予防処置	8.	a	3	病理学
9.	b	3	病理学	64	b c	7	歯科予防処置	9.	d	3	病理学
10.	b	3	病理学	65	b	7	歯科予防処置	10.	c	3	病理学
11.	d	3	微生物学	66	c	7	歯科予防処置	11.	b	3	微生物学
12.	a	3	微生物学	67	c d	7	歯科予防処置	12.	d	3	微生物学
13.	d	3	微生物学	68	b	7	歯科予防処置	13.	d	3	薬理学
14.	a	3	薬理学	69	c	7	歯科予防処置	14.	d	3	薬理学
15.	c	3	薬理学	70	c d	7	歯科予防処置	15.	a	3	薬理学
16.	a b	4	口腔衛生学	71	c	7	歯科予防処置	16.	d	4	口腔衛生学
17.	c	4	口腔衛生学	72	b d	7	歯科予防処置	17.	b	4	口腔衛生学
18.	b d	4	口腔衛生学	73	b	7	歯科予防処置	18.	b	4	口腔衛生学
19.	a b	4	口腔衛生学	74	b d	7	歯科予防処置	19.	d	4	口腔衛生学
20.	b	4	口腔衛生学	75	b d	7	歯科予防処置	20.	b d	4	口腔衛生学
21.	b	4	口腔衛生学	76	a b	7	歯科予防処置	21.	b d	4	口腔衛生学
22.	b	4	口腔衛生学	77	a c	7	歯科予防処置	22.	d	4	口腔衛生学
23.	d	4	衛生・公衆衛生学	78	d	8	歯科保健指導	23.	a	4	口腔衛生学
24.	a	4	衛生・公衆衛生学	79	d	8	歯科保健指導	24.	a b	4	衛生・公衆衛生学
25.	d	4	衛生・公衆衛生学	80	c d	8	歯科保健指導	25.	a	4	衛生・公衆衛生学
26.	b c	4	衛生・公衆衛生学	81	d	8	歯科保健指導	26.	d	4	衛生・公衆衛生学
27.	d	4	衛生・公衆衛生学	82	a d	8	歯科保健指導	27.	b	4	衛生・公衆衛生学
28.	a d	4	衛生・公衆衛生学	83	a c	8	歯科保健指導	28.	a d	4	衛生・公衆衛生学
29.	a b	4	衛生・公衆衛生学	84	c d	8	歯科保健指導	29.	b c	4	衛生・公衆衛生学
30.	b	4	衛生・公衆衛生学	85	b c	8	歯科保健指導	30.	d	4	衛生・公衆衛生学
31.	c	5	歯科衛生士概論	86	a b	8	歯科保健指導	31.	c	5	歯科衛生士概論
32.	c d	5	歯科衛生士概論	87	a b	8	歯科保健指導	32.	b c	5	歯科衛生士概論
33.	b	5	歯科衛生士概論	88	d	8	歯科保健指導	33.	a	5	歯科衛生士概論
34.	c	5	歯科衛生士概論	89	d	8	歯科保健指導	34.	b d	5	臨床歯科総論
35.	a b	6	臨床歯科総論	90	b	8	歯科保健指導	35.	c	6	臨床歯科総論
36.	d	6	臨床歯科総論	91	c	8	歯科保健指導	36.	a c	6	臨床歯科総論
37.	b	6	臨床歯科総論	92	b	8	歯科保健指導	37.	a	6	臨床歯科総論
38.	c	6	保存修復学	93	d	8	歯科保健指導	38.	a b	6	保存修復学
39.	a c	6	保存修復学	94	d	8	歯科保健指導	39.	a c	6	保存修復学
40.	a d	6	保存修復学	95	d	8	歯科保健指導	40.	c	6	歯内療法学
41.	c	6	歯内療法学	96	d	9	歯科診療補助	41.	b	6	歯内療法学
42.	d	6	歯内療法学	97	b d	9	歯科診療補助	42.	d	6	歯周療法学
43.	c d	6	歯内療法学	98	a	9	歯科診療補助	43.	c	6	歯周療法学
44.	b	6	歯周療法学	99	b d	9	歯科診療補助	44.	b c	6	歯周療法学
45.	b	6	歯周療法学	100	c	9	歯科診療補助	45.	d	6	歯科補綴学
46.	a d	6	歯科補綴学	101	b	9	歯科診療補助	46.	a d	6	歯科補綴学
47.	d	6	歯科補綴学	102	c d	9	歯科診療補助	47.	c	6	歯科補綴学
48.	a d	6	歯科補綴学	103	a d	9	歯科診療補助	48.	c d	6	歯科補綴学
49.	b	6	口腔外科学	104	b	9	歯科診療補助	49.	a d	6	口腔外科学
50.	b d	6	口腔外科学	105	b d	9	歯科診療補助	50.	b d	6	口腔外科学
51.	a	6	口腔外科学	106	c d	9	歯科診療補助	51.	a	6	口腔外科学
52.	a	6	口腔外科学	107	a c	9	歯科診療補助	52.	c	6	矯正歯科学
53.	a	6	矯正歯科学	108	a b	9	歯科診療補助	53.	b d	6	矯正歯科学
54.	d	6	矯正歯科学	109	b d	9	歯科診療補助	54.	d	6	矯正歯科学
55.	b c	6	矯正歯科学	110	a	9	歯科診療補助	55.	b	6	矯正歯科学

解説 (午前問題)

(問題 1) 頭蓋骨底面の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。
矢印が示す部位に付着している筋はどれか。1つ選べ。
a 咬筋
b 側頭筋
c 内側翼突筋
d 外側翼突筋

別冊 午前 No.1 写真

選択肢考察 答え d

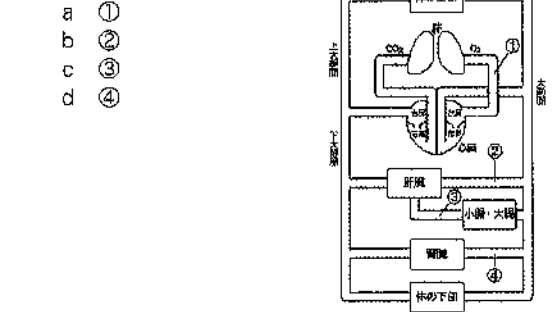


× a 咬筋の起始は頰骨弓、停止は下顎角外面(咬筋粗面)である。
× b 側頭筋の起始は側頭窩、停止は筋突起である。
× c 内側翼突筋の起始は蝶形骨の翼突窩、停止は下顎角内面(翼突筋粗面)である。
○ d 矢印は蝶形骨翼状突起外側板と蝶形骨大翼、停止は関節突起(翼突筋窩)と関節節板である。

ポイント
＜咀嚼筋の起始と停止＞

咀嚼筋	起 始	停 止	作 用
咬 筋	頰骨弓	下顎角外面 (咬筋粗面)	閉口運動
側頭筋	側頭窩	筋突起	閉口運動、下顎の後方運動、側方運動
内側翼突筋	蝶形骨の翼突窩	下顎角内面 (翼突筋粗面)	閉口運動
外側翼突筋	上頭：蝶形骨大翼 下頭：蝶形骨翼状突起外側板	関節節板 関節突起 (翼突筋窩)	閉口運動、 下顎の前方運動、 側方運動

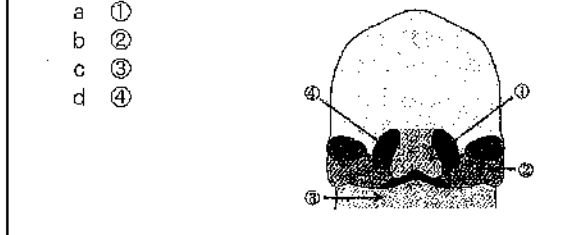
(問題 2) 体循環の模式図を示す。
門脈はどれか。1つ選べ。



選択肢考察 答え c
× a ①は肺静脈である。
× b ②は肝動脈である。
○ c ③は門脈である。
× d ④は腎動脈である。

ポイント
＜門 脈＞
・門脈が注ぐのは肝臓である。
・薬物が門脈経路で吸収される場合、肝臓で代謝を受ける。

(問題 3) 胎生7週の顔面構造を図に示す。
外側鼻突起はどれか。1つ選べ。

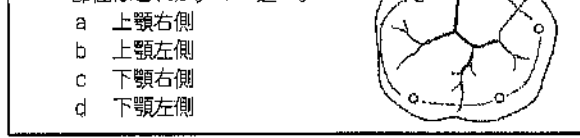


選択肢考察 答え d
× a ①は内側鼻突起である。
× b ②は上顎突起である。
× c ③は下顎突起である。
○ d ④は外側鼻突起である。

ポイント
＜顔面各部の隆起(突起)＞
胎生4週以降にいくつかの隆起が出現し、これらが癒合することによって顔面が形成される。

前頭鼻突起	外側鼻突起	鼻翼
内側鼻突起 (球状突起)	鼻の正中部、人中、上顎4前歯(切歯骨)、一次口蓋	
上顎突起	上唇、頬部、上顎骨、上顎犬歯～大臼歯部、二次口蓋	
下顎突起	下唇、下顎骨、下顎の歯	

(問題 4) 第一大臼歯の咬合面を模式図に示す。○は咬頭頂である。
部位はどれか。1つ選べ。

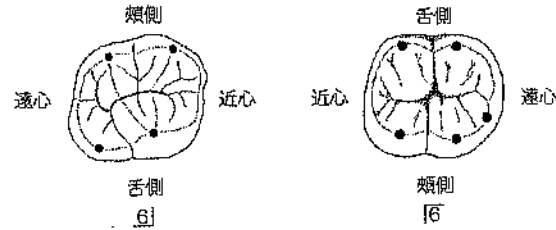


選択肢考察 答え c
× a、× b、○ c、× d 咬頭数が5つ、咬頭の大きさ、隅角徴から下顎第一大臼歯であり、図中の上が頬側、下が舌側、左が近心、右が遠心である。したがって、下顎右側第一大臼歯となる。

- ※出題基準
- | | | |
|---------------------------|-----------|-----------|
| 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 | 5 歯科衛生士概論 | 8 歯科保健指導論 |
| 2 歯・口腔の構造と機能 | 6 臨床歯科医学 | 9 歯科診療補助論 |
| 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 | 7 歯科予防処置論 | |
| 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み | | |

ポイント

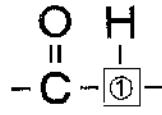
<第一大臼歯の咬合面>



(問題 5) ペプチド結合の構造を図に示す。

①に入るのはどれか。1つ選べ。

- a N
b F
c Na
d Mg



選択肢考察

解説: ペプチド結合とは、アミノ酸のアミノ基(-NH2)と別のアミノ酸のカルボキシル基(-COOH)が結合し、脱水する(H2O がとれる)ことによって形成される共有結合である。したがって、図中の①に入るのはNである。

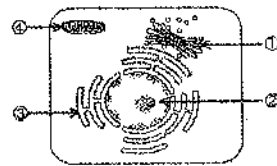
ポイント

アミノ酸はアミノ基(-NH2)とカルボキシル基(-COOH)とをもつ化合物である。

(問題 6) 細胞の模式図を示す。

ATP を産生するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

解説: ①はゴルジ装置である。粗面小胞体で生合成され転送されてきた物質を加工、濃縮する。②は核である。細胞の構造と機能の遺伝情報源である。③は粗面小胞体である。リボソームが附着しており、tRNA の遺伝情報にしたがってタンパク質を合成する場である。④はミトコンドリアである。生体エネルギー源である ATP (アデノシン三リン酸) を産生する。

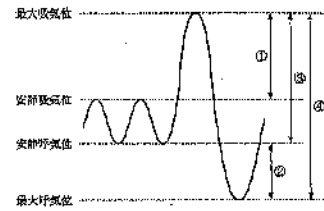
ポイント

<ミトコンドリア>
・細胞呼吸の場であり、生体エネルギー源である ATP (アデノシン三リン酸) を産生する。
・クエン酸回路と電子伝達系が存在する。

(問題 7) 肺気量の区分を図に示す。

予備吸気量はどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

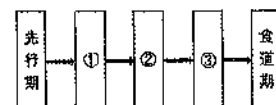
解説: ①は予備吸気量である。通常の吸気後さらに吸い込むことのできる空気量のことである。②は予備呼気量である。通常の呼気後さらに吐き出すことのできる空気量のことである。③と①の差が1回換気量である。安静呼吸時に1回の呼吸で肺に出入りする量のことである。④は肺活量である。最大吸息位から最大呼息位までの肺容量の差のことである。

ポイント

<肺気量 (スパイログラム)>

Table with 2 columns: 肺気量区分 and 説明. Includes terms like 1回換気量, 予備吸気量, 予備呼気量, 機能的残気量, 肺活量, 残気量, 総肺気量.

(問題 8) 摂食・嚥下の過程を図に示す。



正しい組合せはどれか。1つ選べ。

- ① ② ③
a □腔期 準備期 咽頭期
b 咽頭期 □腔期 準備期
c 準備期 □腔期 咽頭期
d □腔期 咽頭期 準備期

選択肢考察

解説: ①は準備期で食塊を形成する時期である。②は口腔期で食塊を口腔から咽頭に送り込む時期である。③は咽頭期で食塊を咽頭から食道入口まで送り込む時期である。

ポイント

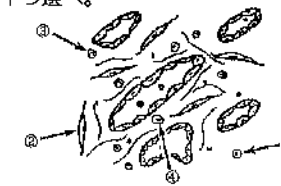
<摂食・嚥下の過程>

Table with 2 columns: 期 and 嚥下段階. Includes 先行期, 準備期, 口腔期, 咽頭期, 食道期.

(問題 9) 肉芽組織の模式図を示す。

線維芽細胞はどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

解説: ①はマクロファージである。②は線維芽細胞である。③は好中球である。④は形質細胞である。

ポイント

組織に欠損が生じると、創傷部には線維芽細胞と毛細血管からなる肉芽組織が增生してくる。肉芽組織は線維芽細胞、毛細血管、顆粒球、リンパ球、マクロファージなどを伴う幼弱な結合組織である。

(問題 10) 咬合性外傷で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉が増殖する。
b 歯槽硬線が消失する。
c 歯根膜腔が狭くなる。
d 水平性骨吸収が生じる。

選択肢考察

解説: 咬合性外傷とは、咬合力によって起こる歯の支持構造の変化をいい、歯周疾患を進行させ、増悪させるものである。外傷性の咬合力が加わっても歯肉は増殖しない。外傷性の咬合力により歯槽硬線(白線)は消失する。歯根膜腔は拡大する。垂直性骨吸収が生じる。

ポイント

咬合性外傷とは、咬合力によって起こる歯の支持構造の変化をいい、歯周疾患を進行させ、増悪させるものである。

(問題 11) 細胞壁を欠いているのはどれか。1つ選べ。

- a 細菌
b クラミジア
c リケッチア
d マイコプラズマ

選択肢考察

解説: 細菌、クラミジア、リケッチアは細胞壁を有している。マイコプラズマとウイルスは細胞壁を欠いている。

ポイント

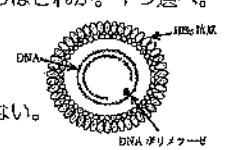
<微生物の分類>

Table comparing characteristics of Bacteria, Mycoplasma, Rickettsia, Chlamydia, and Virus. Columns include 光顕での観察, 細胞壁, DNA&RNA, 寄生性, 2分裂増殖, 無細胞増殖での発育, 宿主細胞依存性.

(問題 12) あるウイルスの模式図を示す。

このウイルスの特徴で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 垂直感染する。
b レトロウイルスである。
c 動物を媒介して感染する。
d 有効なワクチンは存在しない。



選択肢考察

解説: HBs 抗原が記されているので、図はB型肝炎ウイルス(HBV)である。B型肝炎は垂直感染(母子感染)する。レトロウイルスには、ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)がある。B型肝炎は血液を介して感染する。C型肝炎ウイルス(HCV)には現在有効なワクチンはない。一方、B型肝炎の予防にはワクチン接種が有効である。

ポイント

HBV、HCV、HIV は血液を介して感染する。

(問題 13) 多剤耐性細菌のグラム染色像の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。

この微生物の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 運動性菌である。
b グラム陽性桿菌である。
c カンジダ症の原因菌である。
d 毒素型食中毒の原因となる。

別冊 午前 No.2 写真

選択肢考察

解説: 写真はブドウ様の形態を示しているため黄色ブドウ球菌と考えられる。黄色ブドウ球菌は運動性菌ではない。黄色ブドウ球菌はグラム陽性球菌である。カンジダ症の原因菌は真菌である。黄色ブドウ球菌は毒素型食中毒の原因となる。

ポイント

<黄色ブドウ球菌 (Staphylococcus aureus)>
・グラム陽性球菌である。
・化膿性感染症のおもな原因菌である。
・毒素型食中毒の原因となる。
・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)は院内感染で問題になっている。

(問題 14) 劇薬の表示 (別冊午前 No.3) を別に示す。正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.3 図

選択肢考察

答え a



○a, ×b, ×c, ×d 劇薬は、白地に赤枠、赤字で薬品名と「劇」を表示することが「薬機法」で規定されている。

ポイント

<毒薬>

黒地に白枠、白字で薬品名と「毒」を表示し、鍵のかかる場所に保管するように「薬機法」で規定されている。

(問題 15) ある薬品の写真 (別冊午前 No.4) を別に示す。この薬品にアドレナリンが配合されている理由は何か。1つ選べ。

- a 血圧上昇の抑制
b 使用期限の延長
c 局所麻酔作用の延長
d 発痛物質産生の抑制

別冊 午前 No.4 写真

選択肢考察

答え c



局所麻酔薬

- ×a アドレナリンには血圧上昇作用がある。
×b アドレナリンを配合しても使用期限が延長されることはない。
○c 写真は局所麻酔薬のカートリッジである。局所麻酔薬には麻酔効果の持続時間を延長させる目的でアドレナリンが配合されている。
×d 発痛物質産生を抑制するのは消炎鎮痛薬である。

ポイント

<局所麻酔薬に血管収縮薬 (アドレナリン) が配合されている理由>

- ①薬物の吸収を遅らせる→局所麻酔作用の延長
②麻酔薬の急激な血中濃度上昇による急性中毒予防
③局所出血の予防、出血量の減少による手術野の明示

(問題 16) 唾液中の成分で細菌の凝集に関与するのはどれか。2つ選べ。

- a ムチン
b 分泌型 IgA
c リゾチーム
d ペルオキシダーゼ

選択肢考察

答え a b

- a, ○b ムチンや分泌型 IgA は細菌の凝集に関与する唾液成分である。
×c リゾチームは細菌細胞壁を加水分解する酵素的抗菌因子である。
×d ペルオキシダーゼは細菌の代謝経路を阻害する酵素的抗菌因子である。また、H2O2 の存在下でロタン (チオシアン酸イオン) を酸化し、不安定な抗菌因子であるヒポチオシアンイオンを生成する。

ポイント

<唾液中の成分で細菌の凝集に関与するもの>

- ・ムチン
・分泌型 IgA
・アグルチニン

(問題 17) ミュータンスレンサ球菌の酵素で不溶性多糖体を合成するのはどれか。1つ選べ。

- a ムタナーゼ
b デキストラナーゼ
c グルコシルトランスフェラーゼ
d フルクトシルトランスフェラーゼ

選択肢考察

答え c

- ×a ムタナーゼは不溶性多糖体 (ムタン) を分解する酵素である。
×b デキストラナーゼは水溶性多糖体 (デキストラン) を分解する酵素である。
○c グルコシルトランスフェラーゼはミュータンスレンサ球菌の酵素で、不溶性多糖体を合成する酵素である。
×d フルクトシルトランスフェラーゼはフルクトンを合成する酵素である。

ポイント

グルコシルトランスフェラーゼはスクロースを基質としてグルカンを合成する酵素である。

(問題 18) 抗菌作用を目的として洗口液に配合されるのはどれか。2つ選べ。

- a トラネキサム酸
b クロルヘキシジン
c サッカリンナトリウム
d 塩化セチルピリジニウム

選択肢考察

答え b d

- ×a トラネキサム酸は出血抑制を目的に配合される薬用成分である。
○b クロルヘキシジンは抗菌作用を目的に配合される薬用成分である。
×c サッカリンナトリウムは基本成分の香味剤である。

○d 塩化セチルピリジニウムは抗菌作用を目的に配合される薬用成分である。

ポイント

<洗口液に配合される薬用成分>

- ・う蝕予防: 殺菌剤 (クロルヘキシジン、塩化ベンゼトニウム)
・歯周疾患予防: 殺菌剤 (クロルヘキシジン、塩化ベンゼトニウム、トリクロサン)、出血抑制剤
・口臭防止: 殺菌剤 (トリクロサン)、消炎剤 (グリチルレチン酸ステアリル)

(問題 19) キシリトールについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 保湿性がある。
b 代用甘味料である。
c スクロースから生成される。
d 大量に摂取すると便秘になる。

選択肢考察

答え a b

- a キシリトールは保湿性がある。
○b, ×c キシリトールはキシロースから生成される代用甘味料である。
×d キシリトールは大量に摂取すると下痢を生じる。

ポイント

キシリトールはスクロースと同程度の甘味度を有する。

(問題 20) 3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。う蝕罹患型はどれか。1つ選べ。

Table with 4 rows (A, B, C1, C2) and 12 columns representing different tooth positions (E, D, U, C, A, B, C, D, B, C, C, C).

選択肢考察

答え b

- ×a, ○b, ×c, ×d 上顎側乳中切歯に「C」がみられ、上下顎側乳臼歯部に「C」が多数みられることから、う蝕罹患型はB型である。

ポイント

<3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型>

Table with 5 rows (O, A, B, C1, C2) and 1 column (う蝕がない, う蝕がある) describing the types of dental caries.

(問題 21) 中学校1年生100名の学校歯科健康診査の集計結果を表に示す。

Table with 2 columns: 記号 (歯式) and 計 (歯数). Rows include /, C, CO, O, and Δ with corresponding tooth counts.

DMF 歯率はどれか。1つ選べ。

- a 4.6%
b 7.4%
c 8.8%
d 9.1%

選択肢考察

答え b

- ×a, ○b, ×c, ×d DMF 歯率 = 被検歯における DMF 歯の合計 ÷ 被検歯数 (M を含む) × 100 (%) である。
被検歯における DMF 歯の合計 = 40 + 75 + 70 = 185
被検歯数 (M を含む) = 2,430 + 70 = 2,500
DMF 歯率 = 185 / 2,500 × 100 = 7.4 (%) となる。

ポイント

<DMF index>

- ・D (decayed teeth): 未処置のう蝕歯
・M (missing teeth): う蝕原因の喪失歯
・F (filled teeth): 処置されたう蝕歯

(問題 22) ある疾病のスクリーニング検査の結果を表に示す。

Table with 2 columns: 疾病の有無 and スクリーニング (陽性, 陰性). Rows include 有 and 無.

陽性反応適中度はどれか。1つ選べ。

- a ア / (ア + イ)
b ア / (ア + ウ)
c エ / (イ + エ)
d エ / (ウ + エ)

選択肢考察

答え b

- ×a ア / (ア + イ) は感度である。
○b ア / (ア + ウ) は陽性反応適中度 (検査後確率) である。
×c エ / (イ + エ) は陰性反応適中度である。
×d エ / (ウ + エ) は特異度である。

ポイント

- ・感度: 本当に疾病がある人のうちスクリーニングでも陽性と判定された人の割合
・特異度: 健全な人のうちスクリーニングでも陰性と判定された人の割合

(問題 23) 医療事故調査・支援センターの業務はどれか。1つ選べ。

- a 医療計画の策定
- b 医療の安全の確保
- c 医療に関する苦情への対応
- d 医療行為に関連した死亡事例の調査

選択肢考察 **答え d**

- × a 医療計画は都道府県が策定する。
- × b、× c 医療の安全の確保や医療に関する苦情や相談への対応は医療安全支援センターの業務である。
- d 医療行為に関連した死亡事例の調査は医療事故調査・支援センターの業務である。

ポイント

＜医療事故調査・支援センターの業務＞

- ・収集した情報の整理および分析を行うこと。
- ・病院などの管理者に対し、情報の整理および分析の結果の報告を行うこと。
- ・医療事故調査に従事する者に対し医療事故調査に係る知識および技能に関する研修を行うこと。
- ・医療事故調査の実施に関する相談に応じ、必要な情報の提供および支援を行うこと。
- ・医療事故の再発の防止に関する普及啓発を行うこと。

(問題 24) 地域保健法で、「治療法が確立していない疾病により、長期に療養を必要とする者の保健に関する事項」を業務とするのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所
- b 地域医療支援病院
- c 市町村保健センター
- d 地域包括支援センター

選択肢考察 **答え a**

- a 保健所は、治療法が確立していない疾病により、長期に療養を必要とする者の保健に関する事項を業務としており、「地域保健法」に規定された施設である。
- × b 地域医療支援病院は「医療法」に規定された施設である。
- × c 市町村保健センターは、住民に身近で利用頻度が高い保健サービスを提供する機関で、「地域保健法」に規定された施設である。
- × d 地域包括支援センターは「介護保険法」に規定された施設である。

ポイント

＜「地域保健法」に規定された施設＞

- ・保健所
- ・市町村保健センター

(問題 25) 微小粒子状物質 (PM2.5) について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 海水中に浮遊している。
- b 室内換気の指標となる。
- c 2.5μg 以下の粒子である。
- d 環境基準は1年平均15μg/m³以下である。

選択肢考察 **答え d**

- × a 微小粒子状物質 (PM2.5) は大気中に浮遊している。
- × b 室内換気の指標となるのは二酸化炭素である。
- × c 微小粒子状物質 (PM2.5) は2.5μm以下の小さな粒子のことである。
- d 環境基準は1年平均値15μg/m³以下かつ1日平均値35μg/m³以下である。

ポイント

＜大気汚染物質＞

- ・二酸化硫黄
- ・一酸化炭素
- ・浮遊粒子状物質 (SPM)
- ・微小粒子状物質 (PM2.5)
- ・二酸化窒素
- ・光化学オキシダント
- ・ベンゼン
- ・トリクロロエチレン
- ・テトラクロロエチレン
- ・ジクロロメタン

(問題 26) 健康の社会的決定要因 (SDH) はどれか。2つ選べ。

- a 遺伝
- b 交通
- c 失業
- d 性別

選択肢考察 **答え b c**

- × a、× d 遺伝や性別は健康の社会的決定要因 (SDH) には含まれない。
- b、○ c 交通や失業は健康の社会的決定要因 (SDH) に含まれる。

ポイント

＜健康の社会的決定要因 (SDH)＞

社会格差、ストレス、幼少期、社会的排除、労働、失業、ソーシャルサポート (社会的支援)、薬物依存、食品、交通は健康の社会的決定要因の10項目である。

(問題 27) 学校歯科医の職務はどれか。1つ選べ。

- a 救急処置
- b 感染症予防
- c 給食献立の立案
- d 学校安全計画の立案

選択肢考察 **答え d**

- × a 救急処置は学校医の職務である。
- × b 感染症予防や食中毒予防は学校医の職務である。
- × c 給食献立の立案は管理栄養士などの職務である。
- d 学校安全計画の立案は学校三師の職務であり、学校歯科医も含まれる。

ポイント

＜学校歯科医＞

「学校保健安全法」により、大学以外の学校に置かれる。

- ・学校保健計画、学校安全計画の立案に参加

- ・定期健康診断 (歯の検査)、就労時健康診断 (歯の検査)
- ・歯科健康相談
- ・予防処置
- ・保健指導
- ・学校における保健管理に関する専門的事項に関する指導に従事

(問題 28) 産業保健で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 遠隔操作は作業環境管理である。
- b 職場のストレスチェックは第二次予防である。
- c 特殊健康診断は労働基準法に規定されている。
- d THP は労働者の健康保持増進を目的としている。

選択肢考察 **答え a d**

- a 遠隔操作は作業環境管理である。
- × b 職場のストレスチェックは第一次予防である。
- × c 特殊健康診断は「労働安全衛生法」に規定されている。
- d THP (トータル・ヘルスプロモーション・プラン) は労働者の健康保持増進を目的としている。

ポイント

＜THP (トータル・ヘルスプロモーション・プラン)＞

厚生労働大臣が公表した「健康づくり指針」に沿って、すべての人を対象として継続的で計画的に、心と身体のとータルな健康づくりを目指し、検査結果、生活状況調査をもとに受診者にあった指導 (運動、栄養、保健) を行うことを目的としている。

(問題 29) 生活保護法で原則として現物給付とされているのはどれか。2つ選べ。

- a 医療扶助
- b 介護扶助
- c 教育扶助
- d 生活扶助

選択肢考察 **答え a b**

- a、○ b 医療扶助や介護扶助は「生活保護法」で原則として現物給付である。
- × c、× d 教育扶助や住宅扶助、生活扶助は「生活保護法」で原則として所得保障である。

ポイント

＜「生活保護法」で原則として現物給付＞

- ・医療扶助
- ・介護扶助

(問題 30) 在宅医療の医療需要の推計が示されているのはどれか。1つ選べ。

- a 患者調査
- b 地域医療構想
- c 医療費適正化計画
- d 介護保険事業計画

選択肢考察 **答え b**

- × a 患者調査は「統計法」をもとに行われる統計である。
- b 地域医療構想は「医療法」の医療計画に規定されており、在宅医療の医療需要の推計が示されている。

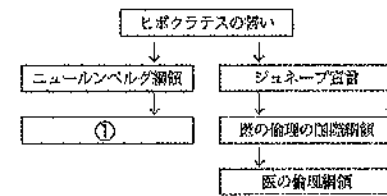
- × c 医療費適正化計画は「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定されている。
- × d 介護保険事業計画は「介護保険法」に規定されている。

ポイント

＜地域医療構想＞

将来人口推計をもとに2025年に必要となる病床数 (病床の必要量) を4つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取組みである。

(問題 31) 医の倫理に関する宣言等の歴史の変遷の流れを図に示す。



○①に入るのはどれか。1つ選べ。

- a シドニー宣言
- b リスポン宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d アルマ・アタ宣言

選択肢考察 **答え c**

- × a 死の定義に関して言及しているのが「シドニー宣言」(1968年)である。
- × b 患者の権利に関して言及しているのが「リスポン宣言」(1981年)である。
- c 「ニュールンベルグ綱領」(1947年)はヒトを被験者とする医学研究の倫理の出発点である。「ヘルシンキ宣言」(1964年)も被験者の権利、被験者からのインフォームド・コンセントについて述べている。
- × d 「アルマ・アタ宣言」(1978年)はプライマリヘルスケアに関するWHOの指針である。

ポイント

＜ヘルシンキ宣言＞

現在の我が国の医薬品の治験実施基準であるGCP (good clinical practice) のもととなっている。ヒトを対象とした医学研究の倫理指針である。

(問題 32) 医療倫理の4つの原則に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 共感
- b 受容
- c 正義
- d 自律尊重

選択肢考察 **答え c d**

- × a、× b、○ c、○ d 伝統的な医の倫理では、「善行の原則」と「無危害の原則」という2つの道徳原則に従っていけばよかった。その後、患者の自己決定を尊重する「自律尊重の原則」と医療の社会的問

題を考察するために公平や公正を尊重する「正義の原則」を加えて、「医療倫理の四原則」という。

ポイント
<医療倫理の四原則>

- ①善行
②無危害
③自律尊重
④正義

(問題 33) 職種と業務の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 薬剤師 ————— 薬の処方
b 言語聴覚士 ————— 摂食機能療法
c 歯科衛生士 ————— 歯周病の診断
d 理学療法士 ————— 食器の選定

選択肢考察 答え b

- x a 薬剤師は薬物投与量の管理などを担当する。薬の処方は医師、歯科医師の業務である。
o b 言語聴覚士や歯科衛生士は口腔機能向上サービス(摂食機能療法の間接訓練など)を担当する。
x c 歯周病の診断は歯科医師が行う。
x d 理学療法士は姿勢調整や歩行訓練を行う。食器の選定は作業療法士が行う。

ポイント

口腔機能向上サービスは言語聴覚士、歯科衛生士、看護師が担当する。

(問題 34) セカンド・オピニオンはどれか。1つ選べ。

- a 患者の意見
b 主治医の意見
c 他の医師の意見
d 患者の家族の意見

選択肢考察 答え c

- x a 患者の意見ではない。
x b, o c セカンド・オピニオンとは主治医以外の医療従事者の意見のことである。患者が自らの意思決定する際に参考にするために取得する情報である。
x d 家族の意見ではない。

ポイント

セカンド・オピニオンとは主治医以外の医療従事者の意見である。

(問題 35) 放射線被曝による確定的影響はどれか。2つ選べ。

- a 脱毛
b 白内障
c 発がん
d 遺伝的影響

選択肢考察 答え a b

- o a 脱毛は確定的影響である。
o b 白内障は確定的影響である。
x c 発がんは確率的影響である。

x d 遺伝的影響は確率的影響である。

ポイント

- <確定的影響と確率的影響>
・確定的影響: 症状が現れるしきい値がある。重篤度が線量に依存する。
・確率的影響: 線量の増加により発現頻度が増加する。重篤度が線量に依存しない。

(問題 36) ある患者の生体情報モニタ画面の写真(別冊午前 No.5)を別に示す。

丸印で示されているのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧
b 呼吸数
c 心拍数
d 動脈血酸素飽和度

別冊 午前 No.5 写真

選択肢考察 答え d



- x a 血圧は NIBP で表されている 153/74 である。
x b モニタ中に呼吸数は示されていない。
x c 心拍数は HR で表されている 63 である。
o d 写真をみると、SpO2 が 100 と表示されている。SpO2 は経皮的な動脈血酸素飽和度を示している。

ポイント

- <経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO2) >
・パルスオキシメータで測定する。
・95%以下では低酸素症となり、脳障害が発生する可能性がある。

(問題 37) 歯の検査と目的の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 打診 ————— 歯髄の生死の判定
b 透照診 ————— 歯の破折の検出
c 歯髄電気診 ————— 隣接面う蝕の検出
d レーザー蛍光強度測定 ——— 根管長の測定

選択肢考察 答え b

- x a 打診で歯髄の生死は判別できない。根尖や歯根側面の病変があると打診に反応する。
o b 透照診は歯の亀裂・破折の有無を調べる検査である。
x c 歯髄電気診は歯髄の生死を判定する検査である。
x d レーザー蛍光強度測定はう蝕の進行を測定するものである。

ポイント

<透照診>
トランスイルミネーターなどを利用して、隣接面う蝕や歯の亀裂・破折を検出する検査である。

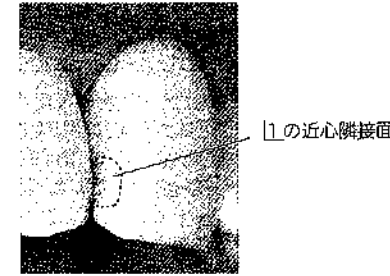
(問題 38) 68 歳の男性。上顎左側中切歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。口腔内写真(別冊午前 No.6)を示す。点線で示す範囲の歯質を切削してコンポジットレジン修復を行うこととした。

Black の窩洞分類はどれか。1つ選べ。

- a I 級
b II 級
c III 級
d IV 級

別冊 午前 No.6 写真

選択肢考察 答え c



- x a I 級窩洞は白歯の小窩や裂溝に対して形成された窩洞である。
x b II 級窩洞は白歯の隣接面に形成された窩洞である。
o c 写真の点線で示す範囲は切歯の隣接面で切縁隅角を含んでいないため、Black の窩洞分類では III 級となると考えられる。
x d IV 級窩洞は切歯や犬歯の隣接面に形成された窩洞で切縁隅角を含むものである。

ポイント

- <Black の窩洞分類>
I 級: 小窩や裂溝に位置する窩洞
II 級: 白歯の隣接面における窩洞
III 級: 前歯の隣接面窩洞で切縁隅角を含まない窩洞
IV 級: 前歯の隣接面窩洞で切縁隅角を含む窩洞
V 級: 歯冠の唇側、頬側、舌側の歯頸側 1/3 における窩洞 (I 級窩洞は除く)

(問題 39) 15 歳の男子。上顎左側中切歯の破折を主訴として来院した。1 にコンポジットレジン修復を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.7A)と修復時に用いる器具の写真(別冊午前 No.7B)を別に示す。

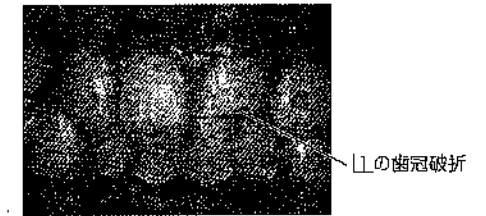
この器具の操作上の留意点はどれか。2つ選べ。

- a 短時間で行う。
b 無影灯下で行う。
c 水で濡らして使用する。
d ラバーダム装着後に行う。

別冊 午前 No.7 A,B 写真

選択肢考察

答え a c



シェードガイド

- o a シェードガイドを用いてシェードテイキングするときには短時間で行う。
x b シェードテイキングは自然光のもとで行うのがよい。
o c シェードガイドを水で濡らして患歯に近づけるとよい。
x d シェードテイキングはラバーダム装着前に行う。

ポイント

- <シェードテイキング>
・歯面清掃を行ってから色調を選択する。
・自然光のもとで、すばやく決定するのがよい。

(問題 40) う蝕象牙質でう蝕検知液に濃染するのはどれか。2つ選べ。

- a 寡菌層
b 混濁層
c 透明層
d 先駆菌層

選択肢考察 答え a d

- o a 寡菌層はう蝕象牙質第一層(外層)の1つで、う蝕検知液に濃染する。
x b 混濁層はう蝕象牙質第二層(内層)の1つで、う蝕検知液に染色されない。
x c 透明層はう蝕象牙質第二層(内層)の1つで、う蝕検知液に染色されない。
o d 先駆菌層はう蝕象牙質第一層(外層)の1つで、う蝕検知液に濃染する。

ポイント

- <う蝕象牙質>
う蝕象牙質第一層(外層): 多菌層、寡菌層、先駆菌層
う蝕象牙質第二層(内層): 混濁層、透明層、生活反応層

(問題 41) 根尖部粘膜に瘻孔がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 急性化膿性根尖性歯周炎
b 急性単純性根尖性歯周炎
c 慢性化膿性根尖性歯周炎
d 慢性単純性根尖性歯周炎

選択肢考察 答え c

- × a 急性化膿性根尖性歯周炎は自発痛や咬合痛などがみられる。
- × b 急性単純性根尖性歯周炎はわずかな打診痛などがみられる。
- c 慢性化膿性根尖性歯周炎は違和感や根尖部粘膜に瘻孔の形成などがみられる。
- × d 慢性単純性根尖性歯周炎はエックス線写真で歯根膜腔の拡大などがみられる。

ポイント

<慢性化膿性根尖性歯周炎>

感染根管からの細菌刺激が原因で、急性症状がなく経過しているものである。急性化膿性根尖性歯周炎から移行するものもある。

症状は軽度で、根尖部粘膜に瘻孔の形成やエックス線写真で根尖部のびまん性透過像などがみられる。

(問題 42) 24歳の女性。下顎右側第三大臼歯のう蝕に対して、感染歯質を除去し矢印部に水酸化カルシウム製剤を適用することにした。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.8A)と感染歯質除去後の口腔内写真(別冊午前 No.8B)を別に示す。

この処置の目的として適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄の失活
- b 歯髄の鎮痛消炎
- c アンダーカットの埋め立て
- d デンティンブリッジの形成

別冊 午前 No.8 A、B 写真

選択肢考察

答え d



咬合面のう蝕

点状露髄がみられる

- × a 歯髄の失活のために水酸化カルシウム製剤は使用しない。
- × b 歯髄の鎮痛消炎にはユーシノールやフェノールカンフルを用いる。
- × c アンダーカットの埋め立ては裏層の目的である。
- d 矢印部は点状露髄であり、同部に水酸化カルシウム製剤を適用したことから直接覆髄を行うと判断できる。その目的はデンティンブリッジの形成である。

ポイント

<直接覆髄>

- ・大きさ2mm以下の偶発的な露髄に適用される。
- ・水酸化カルシウム製剤やMTAセメントが用いられる。

(問題 43) 抜髄の適応症はどれか。2つ選べ。

- a 歯髄壊疽
- b 歯髄充血
- c 上行性歯髄炎
- d 急性化膿性歯髄炎

選択肢考察

答え c d

- × a 歯髄壊疽は感染根管治療を適用する。
- × b 歯髄充血は可逆性変化であり、歯髄の保存が可能である。
- c 上行性歯髄炎は抜髄の適応症である。
- d 急性化膿性歯髄炎は抜髄の適応症である。

ポイント

<抜髄>

急性化膿性歯髄炎や慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎などの不可逆性歯髄炎に適用する。ただし、根未完成永久歯の一部性歯髄炎には生活断髄を考慮する。

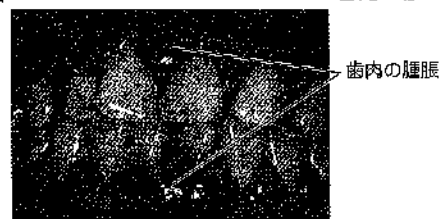
(問題 44) 60歳の女性。前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。6か月前から高血圧症で内科に通院しているという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.9)を示す。この患者の歯肉異常に関する薬剤はどれか。1つ選べ。

- a インスリン
- b ニフェジピン
- c フェニトイン
- d シクロスポリン

別冊 午前 No.9 写真

選択肢考察

答え b



歯肉の腫脹

- × a インスリンは糖尿病に用いられる。歯肉の腫脹には関係しない。
- b ニフェジピンは高血圧症に用いられる降圧薬であり、歯肉増殖に関与する。
- × c フェニトインは歯肉の増殖に関与するが、抗てんかん薬である。
- × d シクロスポリンは歯肉の増殖に関与するが、免疫抑制薬である。

ポイント

<歯肉増殖を惹起しやすい薬物>

- ・フェニトイン：抗てんかん薬
- ・ニフェジピン(カルシウム拮抗薬)：降圧薬、抗狭心症薬
- ・シクロスポリン：免疫抑制薬

(問題 45) 43歳の男性。下顎左側前歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯周基本治療後に新付着術を行うことになった。手術時に使用した器具の写真(別冊午前 No.10)を別に示す。

この器具の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉の縫合
- b 切開位置の決定
- c 不良肉芽組織の除去
- d ポケット深さの測定

別冊 午前 No.10 写真

選択肢考察

答え b



ポケットマーカ

- × a 歯肉の縫合は縫合糸や持針器を用いる。
- b 写真の器具はポケットマーカである。ポケット底部の位置を印記して、歯肉の切開位置の決定に用いる。
- × c 不良肉芽組織の除去はスクレーラなどを用いる。
- × d ポケット深さの測定は歯周プローブを用いる。

ポイント

<新付着術>

- ・浅い骨縁上ポケットに適用する。
- ・主に前歯部に用いられる。

(問題 46) 全部床義歯製作中患者の側貌写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

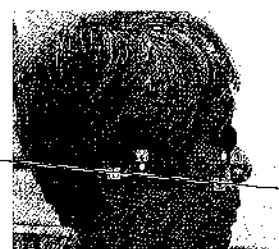
カンベル平面が通過する点はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.11 写真

選択肢考察

答え a d



カンベル平面

- a、○ d ①は耳珠上縁で、④は鼻翼下縁である。カンベル平面は左右側いづれかの鼻翼下縁と両側耳珠上縁を含む平面である。
- × b ②は平均的顎頭点であり、フェイスボウトランスファーの際に後方基準点となる。
- × c ③は眼窩下縁(Or;オルビタール)である。フランクフルト平面上の点である。

ポイント

<基準平面>

- ・カンベル平面：鼻翼下縁と両側耳珠上縁を含む。→仮想咬合平面の決定の参考にする→補綴学分野で重要
- ・フランクフルト平面：眼窩下縁(Or;オルビタール)と両側外耳道上縁(Po;ポリオン)を含む。→頭部エックス線規格写真の基準平面→矯正学分野で重要

(問題 47) 下顎部分床義歯製作のため、シリコン印象材による印象採得を行うこととした。印象採得前に行う操作を行った。操作後の口腔内写真(別冊午前 No.12)を別に示す。

この操作の目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉圧排
- b 歯の固定
- c 歯間乳頭の保護
- d 印象体の変形防止

別冊 午前 No.12 写真

選択肢考察

答え d



ユーティリティーワックス

- × a 行った操作はユーティリティーワックスによるブロックアウトである。歯肉圧排には圧排糸やガムリトラクターなどを用いる。
- × b ユーティリティーワックスで歯の固定はできない。
- × c ブロックアウトは歯間乳頭を保護する目的で行うものではない。
- d 歯間部の鼓形空隙で印象材が硬化すると、印象材がちぎれたり、撤去できなくなったり、変形したりする。それを防止するために予め歯間部をユーティリティーワックスで埋めておく。この操作をブロックアウトという。

ポイント

印象体の変形防止のため、印象採得前に歯間部の鼓形空隙やブリッジのポンティック底面をユーティリティーワックスでブロックアウトを行う。

【問題 48】 51 歳の女性。上顎右側側切歯の外科的歯内療法後の補綴治療を希望して来院した。3 か月前に根尖切除術を行ったという。支台築造後に硬質レジンジャケット冠を製作することにした。支台築造後の口腔内写真、支台築造体の写真（別冊午前 No.13A）およびエックス線写真（別冊午前 No.13B）を別に示す。

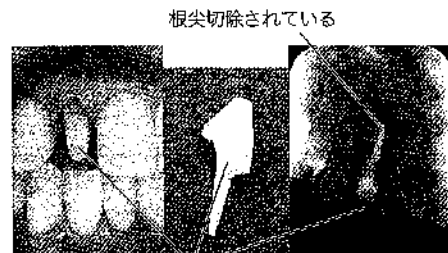
メタルコアと比較してこの築造法を選択した理由として考えられるのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯根破折の防止
- b 治療回数の削減
- c 二次う蝕の予防
- d 補綴装置の色調向上

別冊 午前 No.13 A,B 写真

選択肢考察

答え a d



ファイバーポストコア

- a 本例はメタルコア（鋳造体）による支台築造ではなく、グラスファイバーなどから製作されるファイバーポストとコア用レジンを用いた築造法である。ファイバーポストとコア用レジンとの弾性係数が象牙質と近似するため機能負荷時に同時に変形するので、応力集中を回避できる。そのため、歯根破折を防止することができる。
- ×b メタルコアも本例のファイバーポストコアも間接法なので、どちらも印象採得と装着の2回の治療回数が必要である。
- ×c 二次う蝕の予防のためにファイバーポストコアを選択することはない。
- d 歯冠色に近い歯冠補綴装置（オールセラミッククラウン、ジャケットクラウン）のオペーク量を少なくでき、色調向上に役立つ。

ポイント

<ファイバーポストコアの特徴>

利点	<ul style="list-style-type: none"> ・象牙質の弾性係数と類似しているため、歯冠部に咬合力が加わっても応力は歯頸部に集中し、歯質が破折しても歯根の再利用が可能ことが多い。 ・歯冠色に近い歯冠補綴装置（オールセラミッククラウン、ジャケットクラウン）のオペーク量を少なくでき、色調回復に優れる。
欠点	<ul style="list-style-type: none"> ・レジンコアと同じく歯肉線下にまでおよび支台築造には向いていない。 ・直接法ではチェアタイムが長くなる。

【問題 49】 65 歳の女性。下顎左側臼歯部の疼痛を主訴として来院した。骨粗鬆症のため、5 年前から投薬治療を受けており、3 か月前に他院にて下顎左側臼歯を抜歯したという。初診時の口腔内写真とエックス線写真（別冊午前 No.14A,B）を別に示す。

考えられる疾患はどれか。1 つ選べ。

- a 白板症
- b 顎骨壊死
- c カンジダ症
- d エプーリス

別冊 午前 No.14 A,B 写真

選択肢考察

答え b



透過像の中に腐骨がみられる

- ×a 白板症は前癌病変の1つであり、口腔粘膜の白斑を主徴とする。頬粘膜、舌、歯肉に好発し、高齢者に多い。白色病変部はガーゼなどで拭い取れないのが特徴である。
- b 骨粗鬆症で投薬治療を受けていることから、ビスホスホネートを服用している可能性がある。ビスホスホネートは副作用として顎骨壊死が知られており、抜歯後にみられることがある。
- ×c 口腔カンジダ症は体力の低下した人や HIV 感染者（AIDS 患者）に発症する。原因は真菌（カンジダ・アルビカンス）による感染である。灰白色の偽膜はガーゼなどで簡単に拭い取れる。
- ×d エプーリスは歯肉に限局して発生する間葉系の良性の有茎性腫瘤で、20～40 歳の女性に多い。上顎前歯部の歯間乳頭部に好発する。

ポイント

<ビスホスホネート>

- ・骨粗鬆症の治療薬である。
- ・抜歯後に、副作用として顎骨壊死がみられることがある。

【問題 50】 36 歳の女性。下顎右側の歯肉の腫瘍を主訴として来院した。エックス線写真では異常所見は認められなかった。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.15）を別に示す。

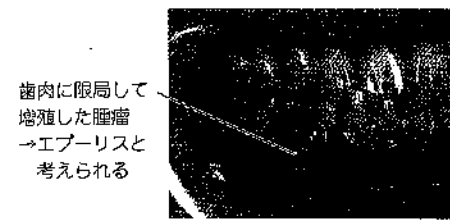
この疾患について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 自発痛を伴う。
- b 腫瘍類似疾患である。
- c 転移することがある。
- d 歯肉に限局して生じる。

別冊 午前 No.15 写真

選択肢考察

答え b d



- ×a エックス線写真では異常所見は認められず、歯肉に限局して増殖した腫瘍であることから、エプーリスと考えられる。エプーリスでは疼痛は生じない。
- b、○d エプーリスは歯肉に限局して生じる増殖性腫瘍の総称で、腫瘍類似疾患に分類される。
- ×c エプーリスは悪性腫瘍ではないので転移することはない。癌化とも無関係である。

ポイント

<エプーリス>

- ・歯肉に限局して生じる増殖性腫瘍である。
- ・上顎前歯部は好発部位である。
- ・20～40 歳の女性に多い。

【問題 51】 TNM 分類で M が示すのはどれか。1 つ選べ。

- a 原発腫瘍の大きさ
- b 隣接臓器転移の有無
- c 遠隔臓器転移の有無
- d 所属リンパ節転移の有無と広がり

選択肢考察

答え c

- ×a 原発腫瘍の大きさ（広がり）は「T」で表す。
- ×b 隣接臓器転移の有無では分類しない。
- c 遠隔臓器転移の有無は「M」で表す。
- ×d 所属リンパ節転移の有無と広がりは「N」で表す。

ポイント

<TNM 分類>

- T：原発腫瘍の大きさ（硬結を含む）
- N：リンパ節転移
- M：遠隔転移

【問題 52】 68 歳の女性。舌の異常を主訴として来院した。舌側縁に潰瘍が認められ、周囲に硬結を触れた。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.16）を別に示す。

考えられる疾患はどれか。1 つ選べ。

- a 舌癌
- b 舌痛症
- c 平滑舌
- d 地図状舌

別冊 午前 No.16 写真

選択肢考察

答え a



- a 舌癌は表面に潰瘍を形成し、周囲組織に硬結を触れ、浸潤性に発育する。
- ×b 舌痛症とは炎症や外傷などの病変がないにもかかわらず、ヒリヒリとした痛みを訴える原因不明の疾患である。
- ×c 平滑舌は鉄欠乏性貧血のときにみられる。
- ×d 地図状舌は舌背から舌側縁にかけて舌苔が欠落しているために地図模様に見える。アレルギー体質の子供にみられることが多く、好発年齢は1～3歳である。

ポイント

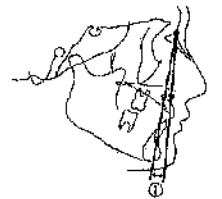
<舌癌>

- ①口腔癌の中で最も発生頻度が高い。
- ②ほとんどは扁平上皮癌である（放射線治療が有効）。
- ③進行すれば、潰瘍を形成し、周囲に硬結を触知する。
- ④頸部リンパ節に転移する（転移を防ぐため、頸部郭清術を行う）。
- ⑤治療法としては、放射線治療、外科的手術、化学療法を併用する。

【問題 53】 側面頭部エックス線規格写真のトレース図を示す。

①で示す計測項目はどれか。1 つ選べ。

- a ANB 角
- b SNA 角
- c SNB 角
- d 上顎中切歯傾斜角



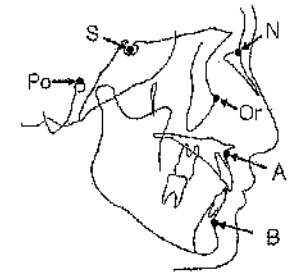
選択肢考察

答え a

- a、×b、×c、×d トレース図をみると、①の角度は A 点 (A)、ナジオン (N) および B 点 (B) のなす角度である。したがって、①は ANB 角である。

ポイント

<側面頭部エックス線規格写真の基準点>



【問題 54】 矯正装置装着前の口腔内写真（別冊午前 No.17）を別に示す。

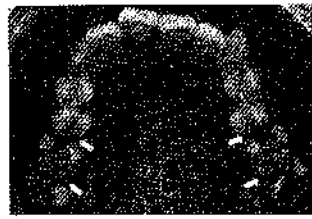
装着すると考えられる装置はどれか。1 つ選べ。

- a 咬合挙上板
- b リップバンパー
- c トゥースポジションアーチ
- d ナンスのホールディングアーチ

別冊 午前 No.17 写真

選択肢考察

答え d



上顎第一大臼歯の近心部にエラスティックセパレーターが装着されている。

- × a 咬合挙上板は可撤式矯正装置であり、装着前にエラスティックセパレーターは使用しない。
- × b リップバンパーは下顎大臼歯に装着する。
- × c トゥースポジションナーは可撤式保定装置であり、歯の移動にも用いられる。装着前にエラスティックセパレーターは使用しない。
- d ナンスのホールディングアーチは上顎第一大臼歯に矯正用バンドで装着する装置である。矯正用バンドを装着前にはエラスティックセパレーターで歯間分離を行う。

ポイント

＜エラスティックセパレーター＞
矯正用バンドを歯に装着する際、歯間部を広げるためにエラスティックセパレーターを挿入する。

(問題 55) 矯正治療に使用する材料の写真(別冊午前 No.18A)と器具の写真(別冊午前 No.18B)を別に示す。この材料とともに使用するものはどれか。2つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

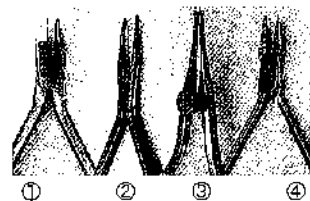
別冊 午前 No.18 A,B 写真

選択肢考察

答え bc



リガチャーワイヤー



- × a ①はバードピークワイヤーである。ラウンドワイヤーの屈曲に用いる。
- b, ○ c 写真Aはリガチャーワイヤーである。リガチャーワイヤーはアーチワイヤーの結紮に用いるが、その際には②のホウブライヤーや③のリガチャータイイングワイヤーを用いる。
- × d ④はループフォーミングワイヤーである。レクタングルワイヤーの屈曲に用いる。

ポイント

＜アーチワイヤーの結紮に用いる器具＞
リガチャーワイヤーやエラストメリックモジュールでの結紮には以下の器具を用いる。

- ・持針器
- ・ホウブライヤー
- ・モスクートフォーセップス
- ・リガチャータイイングブライヤー

(問題 56) 乳幼児の身長と体重のバランスを評価するのに用いるのはどれか。1つ選べ。

- a BMI
- b カウブ指数
- c ローレル指数
- d 体重パーセントイル

選択肢考察

答え b

- × a BMIはおもに成人に用いる発育指数である。
- b カウブ指数は乳幼児に用いる発育指数である。
- × c ローレル指数は6歳以上の学童に用いる発育指数である。
- × d 体重パーセントイルは体重の測定値と基準値とを比較することができるが、身長と体重のバランスは評価できない。

ポイント

＜発育指数＞
身長と体重のバランスで評価するもので、以下のものがある。
・BMI: 体重kg/(身長m)²
・カウブ指数: 体重g/(身長cm)²×10
・ローレル指数: 体重g/(身長cm)³×10⁴

(問題 57) 5歳の女児。発音が不明瞭であることを主訴として来院した。舌挙上時の口腔内写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

- 考えられる構音異常はどれか。1つ選べ。
- a カ行
 - b サ行
 - c パ行
 - d ラ行

別冊 午前 No.19 写真

選択肢考察

答え d



舌小帯がつっぱり、舌の挙上十分ではない。

- × a, × b, × c, ○ d 舌の挙上が行えておらず、舌をはじくように発するラ行の構音障害が生じると考えられる。

ポイント

＜舌小帯の異常＞
舌小帯の異常により舌尖部の動きが悪く、舌突出時に舌尖部がハート型に変形する。とくにラ行の構音障害が生じやすい。

(問題 58) 9歳の男児。歯磨きに伴う歯肉の痛みを主訴として来院した。38°Cの発熱が2日間続いた後、口腔周囲と口腔内に限局して小水疱が出現したという。発熱から4日目の病変部の写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹ウイルス
- b エンテロウイルス
- c 単純ヘルペスウイルス
- d 水痘・帯状疱疹ウイルス

別冊 午前 No.20 写真

選択肢考察

答え c



水疱やびらん

- × a 麻疹ウイルスの感染により麻疹が生じる。麻疹では頬粘膜にコプリック斑がみられる。
- × b エンテロウイルスの感染によりヘルパンギーナや手足口病が生じる。ヘルパンギーナでは軟口蓋部に水疱が、手足口病では手掌や足底、口に水疱が形成される。
- c 単純ヘルペスウイルスの初感染によりヘルペス性口内炎が生じる。ヘルペス性口内炎では発熱とともに歯肉の浮腫や口唇、歯肉、舌などに水疱が形成される。本症例は経過や症状から単純ヘルペスウイルスによるヘルペス性口内炎と考えられる。
- × d 水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染では水痘が生じ、体幹を中心に発疹がみられ、水疱が形成する。

ポイント

＜小児にみられる主なウイルス疾患＞
・麻疹: 麻疹ウイルス
・水痘: 水痘・帯状疱疹ウイルス
・ヘルペス性口内炎: 単純ヘルペスウイルス
・ヘルパンギーナ: エンテロウイルス(コクサッキーA型ウイルスなど)
・手足口病: エンテロウイルス(コクサッキーA型ウイルスやエンテロ71型ウイルスなど)

(問題 59) 高齢者におけるエネルギーの過不足の指標はどれか。1つ選べ。

- a 握力
- b 腹囲
- c 歩行速度
- d 身体活動量

選択肢考察

答え d

- × a, × c 握力や歩行速度はサルコペニアの診断に用いられる。
- × b 腹囲はメタボリックシンドロームのスクリーニングに用いられる。
- d 身体活動量はエネルギーの過不足の指標となる。

ポイント

＜総エネルギー必要量＞
Harris-Benedictの式から基礎エネルギー消費量を予測し、身体活動量や病態によるエネルギー代謝の変化、ストレスの程度を考慮して算出する。

(問題 60) 脳血管疾患による高次脳機能障害はどれか。1つ選べ。

- a 失声
- b 構音障害
- c 半側空間無視
- d 摂食・嚥下障害

選択肢考察

答え c

- × a 失声は声帯の障害が原因となる発声障害である。
- × b, × d 構音障害や摂食・嚥下障害は脳血管疾患の脳神経障害である。
- c 半側空間無視は脳血管疾患による高次脳機能障害の1つである。

ポイント

＜脳血管疾患による高次脳機能障害＞

- ・失語
- ・失行
- ・失認
- ・記憶障害
- ・実行(遂行)機能障害
- ・見当識障害
- ・注意障害
- ・半側空間無視
- ・感情コントロール障害
- ・固執性
- ・意欲・発動性低下
- ・易疲労性 など

(問題 61) 口腔ジスキネジアで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 睡眠時に活発化する。
- b 常動性の不随意運動がみられる。
- c 高齢になると発生頻度は低下する。
- d 脳内のドーパミン過剰が原因である。

選択肢考察

答え b

- × a 口腔ジスキネジアは睡眠時に活発化することはない。
- b 口腔ジスキネジアは口腔周囲筋に常動性で痙攣性の不随意運動がみられる。
- × c 口腔ジスキネジアは高齢になると発生頻度が上昇する。
- × d 脳内のドーパミン減少が原因となるのはParkinson病であり、口腔ジスキネジアの原因は脳内のドーパミン過剰ではない。

ポイント

口腔ジスキネジアは、定型抗精神病薬や抗パーキンソン病薬が原因である錐体外路症状の1つである。

(問題 62) 小児自閉スペクトラム症の特徴はどれか。2つ選べ。
 a 女児に多い。
 b 儀式化がみられる。
 c 抽象的に思考できる。
 d 反響言語を使用する。

選択肢考察 答え b d
 × a 男児に多い。
 ○ b 同一傾向を保持し、儀式化することがある。
 × c 抽象的に思考することはできない。
 ○ d 反響言語を使用し、オウム返しを行うことが多い。

ポイント
 <小児自閉症スペクトラム症の特徴>
 ・男児に多い。
 ・一見利発そう。
 ・パニックに陥りやすい。
 ・反響言語を使用し、オウム返しを行う。
 ・同一傾向を保持し、儀式化する。

(問題 63) 成人の健康な歯肉の特徴はどれか。2つ選べ。
 a 暗赤色を呈している。
 b 表面が角化している。
 c 辺縁歯肉がロール状である。
 d 付着歯肉にスティッピングがある。

選択肢考察 答え b d
 × a 健康な歯肉は淡いピンク色をしている。炎症が生じると歯肉は発赤し暗赤色になりやすい。
 ○ b 健康な歯肉表面は角化している。
 × c 成人の辺縁歯肉はナイフエッジ状で、先端は尖っている。ロール状に肥厚しているのはフェストゥーンである。
 ○ d 成人の健康な付着歯肉にスティッピングがあることが多い。

ポイント
 <成人の健康な歯肉>
 ・淡いピンク色をしている。
 ・張りがあり、表面は角化している。
 ・乳頭歯肉がピラミッド型をしている。臼歯部では頬舌的な形態が平坦である。
 ・付着歯肉にはスティッピングがみられる。
 ・辺縁歯肉は歯頸線に沿ってループ状を呈する。

(問題 64) 歯周病に対する特異的予防はどれか。2つ選べ。
 a 禁煙
 b PMTC
 c 薬用歯磨剤の使用
 d ルートプレーニング

選択肢考察 答え b c
 × a 禁煙は第一次予防の健康増進である。
 ○ b PMTC は第一次予防の特異的予防である。
 ○ c 薬用歯磨剤の使用は第一次予防の特異的予防である。

× d ルートプレーニングは第二次予防である。

ポイント
 <歯周病に対する第一次予防>
 健康増進：健康教育や保健指導、禁煙 など
 特異的防御：定期的な歯科予防処置、洗口剤・薬用歯磨剤の使用 など

(問題 65) 30歳の女性。下顎左側臼歯部の違和感を訴えて来院した。[B]の頬側からファーゲーションプローブを挿入すると5mm入るが舌側に貫通しない。エックス線写真(別冊午前No.21)を別に示す。Glickmanの分類で正しいのはどれか。1つ選べ。
 a 1級
 b 2級
 c 3級
 d 4級

別冊 午前 No.21 写真

選択肢考察 答え b



× a, ○ b, × c, × d エックス線写真で根分岐部に骨吸収が存在し、ファーゲーションプローブが根分岐部に挿入できるが貫通しないことから、2級と考えられる。

ポイント
 <Glickmanの分類>
 1級 根分岐部病変は存在するが、エックス線写真上で骨吸収がないもの
 2級 骨吸収が存在し、プローブが挿入できるが貫通しないもの
 3級 プローブは貫通するが、歯肉で覆われているもの
 4級 根分岐部が口腔内に露出してプローブが自由に貫通するもの

(問題 66) ブラッシングにより予防できるのはどれか。1つ選べ。
 a 糖尿病
 b くさび状欠損
 c 妊娠関連歯肉炎
 d ヘルペス性歯肉炎

選択肢考察 答え c
 × a 糖尿病と歯周炎は相互に影響しており、歯周炎により血糖値のコントロールが悪化することが考えられる。しかし、糖尿病はプラークによる炎症で発症するものではないため、ブラッシングで予防できるものではない。
 × b くさび状欠損は過度のブラッシング圧や咬合力な

どが原因である。ブラッシングで予防できるものではない。
 ○ c 妊娠関連歯肉炎はプラークの付着が原因であり、プラークコントロールによって予防できる。
 × d ヘルペス性歯肉炎はヘルペスウイルスが原因であり、プラークコントロールでは予防できない。

ポイント
 <妊娠関連歯肉炎>
 妊娠により女性ホルモンが増加することで、プラーク中の *Prevotella Intermedia* (P.i菌) の発育が促進されるため、プラークコントロール不良の妊婦は歯肉炎が増悪しやすくなるとされている。

(問題 67) 歯周基本治療に含まれるのはどれか。2つ選べ。
 a 口腔前庭の拡張
 b 歯周組織の再生
 c 口腔悪習癖の改善
 d プラークリテンションファクターの除去

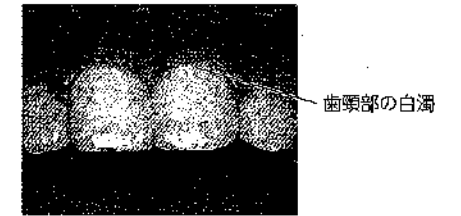
選択肢考察 答え c d
 × a 口腔前庭の拡張は、歯周基本治療が終了したあとに行う歯周外科治療の1つである歯周形成手術で行う。
 × b 歯周組織の再生は、歯周基本治療が終了したあとに行う歯周外科治療の1つである歯周組織再生療法で行う。
 ○ c ブラキシズムなどの口腔悪習癖の改善は歯周基本治療に含まれる。
 ○ d プラークリテンションファクターとは、歯石や不良補綴物などのプラーク蓄積因子である。プラークリテンションファクターの修正、除去は歯周基本治療に含まれる。

ポイント
 <歯周病の治療>
 まず歯周基本治療を行う。歯周基本治療後の再評価で、深いポケットが残存している症例や歯肉歯槽粘膜の形態不良などに対しては歯周外科治療が行われる。その後、口腔機能回復治療として補綴治療やインプラント治療などを行い、メンテナンスやSPTへ移行する。

(問題 68) 13歳の女子。上顎中切歯歯頸部の白濁を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.22)を別に示す。適切な処置はどれか。1つ選べ。
 a 歯面研磨
 b フッ化物歯面塗布
 c コンポジットレジン修復
 d グラスアイオノマーセメント修復

別冊 午前 No.22 写真

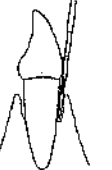
選択肢考察 答え b



× a 初期う蝕による白濁に対して歯面研磨は適切とはいえない。
 ○ b 実質欠損はないが前歯部歯面が白濁しているため、フッ化物歯面塗布は有効である。
 × c, × d 白濁のみで実質欠損がないため、コンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復は適切とはいえない。

ポイント
 <歯頸部の白濁>
 ・口腔清掃不良による初期う蝕と考えられる。
 ・口腔清掃指導やフッ化物歯面塗布などを行うとよい。

(問題 69) CPIプローブによるブローピングの模式図に示す。クリニカルアタッチメントレベルはどれか。1つ選べ。
 a 3.5mm
 b 4.5mm
 c 5.5mm
 d 6.5mm



選択肢考察 答え c
 × a, × b, ○ c, × d クリニカルアタッチメントレベルはセメントエナメル境からポケット底までの距離をプローブで測定したものである。模式図から、クリニカルアタッチメントレベルは5.5mmとなる。

ポイント
 <CPIプローブ>
 先端が直径0.5mmの球状となっており、途中に幅2mmの黒色バンドがついている。



(問題 70) 口臭の原因となる揮発性硫黄化合物はどれか。2つ選べ。
 a アセトン
 b アンモニア
 c メチルメルカプタン
 d ジメチルサルファイド

選択肢考察 答え c d
 × a アセトンは糖尿病患者の口臭の原因となるが、揮発性硫黄化合物でない。
 × b アンモニアは口臭の原因となるが、揮発性硫黄化合物でない。

- c メチルメルカプタンは口臭の原因となる揮発性硫黄化合物である。
- d ジメチルサルファイドは口臭の原因となる揮発性硫黄化合物である。

ポイント

<口臭の原因物質>

以下の揮発性硫黄化合物 (VSC) がおもな原因物質である。

- ・硫化水素
- ・メチルメルカプタン
- ・ジメチルサルファイド

その他として、アンモニアやアルコール、インドール、アセトンなどがある。

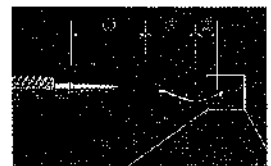
(問題 71) グレーシータイプキュレットの写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

歯肉線下スクレーリング時に歯根面と平行になるのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.23 写真

選択肢考察



グレーシータイプキュレット

× a、× b、○ c、× d グレーシータイプキュレットで歯肉線下スクレーリングを行うときは、スクレーラーの第1シャンクが歯根面と平行になるように当てる。したがって、第1シャンクに相当する③が正解である。

ポイント

<グレーシータイプキュレットの挿入時の角度>

グレーシータイプキュレットをポケット内へ挿入する際は、なるべく歯肉を損傷しないように刃部を寝かせるように挿入する。その後、スクレーラーの第1シャンクが歯根面と平行になるように刃部を当てて操作する。

(問題 72) 超音波スクレーラーと比較したエアスクレーラーの利点はどれか。2つ選べ。

- a 歯石除去効率に優れる。
- b 振動による疼痛が少ない。
- c キャビテーション効果が期待できる。
- d 心臓ペースメーカー装着者に使用できる。

選択肢考察

× a、○ b 超音波スクレーラーと比較して、エアスクレー

ラーは振動数が少ないため、歯石除去効率に劣る。しかし、エアスクレーラーのほうが振動による疼痛や過熱が少ない。

- × c キャビテーション効果が期待できるのは超音波スクレーラーである。
- d 超音波スクレーラーは心臓ペースメーカー装着者に使用できないが、エアスクレーラーは使用できる。

ポイント

<エアスクレーラー>

- ・超音波スクレーラーよりも振動数が少ない。そのため、刺激や過熱が少ない。しかし、歯石除去効率に劣る。
- ・超音波スクレーラーと同様に歯肉線下ポケットに使用できる。

(問題 73) スクレーリング中に患者が急に気分不快を訴え、顔面蒼白となった。血圧は70/40mmHg、徐脈がみられる。呼びかけには応答し、手のけいれんはみられない。考えられる対応はどれか。1つ選べ。

- a 胸骨圧迫
- b 下肢の拳上
- c AEDの装着
- d カルシウム拮抗薬の投与

選択肢考察

答え b

- × a 胸骨圧迫は救急蘇生であり、意識がなく呼吸もない患者に行う。
- b 気分不快を訴え、顔面蒼白であり、血圧と脈拍が低下している。血管迷走神経反射が考えられるため、まず下肢の拳上を行うとよい。
- × c AEDの装着は救急蘇生であり、意識の消失がみられる場合に装着する。
- × d カルシウム拮抗薬は降圧剤である。血圧が低下している患者には投与しない。

ポイント

<血管迷走神経反射でみられる症状>

- ・冷汗
- ・徐脈
- ・顔面蒼白
- ・血圧低下

(問題 74) 重曹粉末噴射歯面清掃器を使用時の術者の防護に重要なものはどれか。2つ選べ。

- a タオル
- b ゴーグル
- c コットンロール
- d 口腔外バキューム

選択肢考察

答え b d

- × a 患者の目や鼻などを防護するためにタオルは重要であるが、術者の防護に重要でない。
- b ゴーグルは、パウダーやエアロゾルの大量飛散からの術者の防護に重要である。
- × c 患者の舌や粘膜へのパウダー飛散による疼痛などを軽減するためにコットンロールは重要であるが、術者の防護に重要でない。
- d 口腔外バキュームは、パウダーやエアロゾルの大量飛散からの術者の防護に重要である。

ポイント

<口腔外バキューム>

エアタービンや超音波スクレーラー、重曹粉末噴射歯面清掃器などを使用する際には、大量のエアロゾルが飛散するため、それらが術者の目や鼻などに入ることや予防する必要がある。ゴーグルやマスク、グローブを常時着用して行うだけではなく、口腔外バキュームの使用は術者の感染防止に役立つ。

(問題 75) ある患者に行った検査結果の一部を示す。

検査項目	検査値
DMFT	10
BOPの割合	0%
刺激時唾液流出量	0.2mL/min
唾液緩衝能	低い
Dentocult®-LB	> 10 ⁶ CFU/mL (Class 3)

この検査結果から考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯周炎
- b 口腔乾燥
- c プラークの付着
- d 不適合修復物の存在

選択肢考察

答え b d

- × a 歯周炎は歯槽骨吸収とアタッチメントロスがみられるが、この検査結果からは歯槽骨吸収が存在するとは判断できない。なお、BOPはみられず、明らかな歯肉の炎症は考えにくい。
- b 刺激時唾液流出量が少ないため、口腔乾燥が考えられる。
- × c プラークの付着はPCRなどで判断する。この検査結果からは判断できない。
- d Dentocult®-LBの結果から、*Lactobacilli*のレベルが高いことがわかる。DMFTが10であり、う窩や不適合修復物の存在が考えられる。

ポイント

<乳酸菌数測定>

Dentocult®-LBやHadley testなどで測定する。*Lactobacilli*の菌数レベルが高い場合には、う窩や不適合修復物の存在が疑われる。

(問題 76) 12歳児へのフッ化物応用法とフッ素イオン濃度の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯磨剤 1,000ppm
- b 歯面塗布 9,000ppm
- c 洗口毎日法 100ppm
- d 洗口週1回法 450ppm

選択肢考察

答え a b

- a 6歳から15歳までの学齢期では、一般的にフッ素イオン濃度1,000ppmのフッ化物配合歯磨剤の使用が推奨されている。カリエスリスクが高い場合には1,000～1,500ppmのフッ化物をすすめることもある。
- b 歯面塗布はフッ素イオン濃度9,000ppmのフッ化物を用いる。
- × c 洗口毎日法はフッ素イオン濃度226～450ppmのフッ化物を用いる。
- × d 洗口週1回法はフッ素イオン濃度900ppmのフッ化物を用いる。

ポイント

<フッ化物局所応用法のフッ素イオン濃度>

- ・歯磨剤：1,500ppm以下
- ・歯面塗布：9,000ppm
- ・洗口毎日法：226～450ppm
- ・洗口週1回法：900ppm

(問題 77) レジン系充填材による小窩裂溝充填法の酸処理の目的はどれか。2つ選べ。

- a エナメル質表面の脱灰
- b 象牙細管へのレジntag形成
- c 充填材の凹凸面への機械的嵌合
- d コラーゲン線維への樹脂含浸層形成

選択肢考察

答え a c

- a、○ c 小窩裂溝充填法の酸処理の目的は、エナメル質表面を脱灰させて凹凸面を形成し、充填材を凹凸面へ機械的嵌合させることである。
- × b、× d 象牙細管へのレジntag形成やコラーゲン線維への樹脂含浸層形成は、コンポジットレジン修復時の象牙質の酸処理の目的である。小窩裂溝充填法の酸処理はエナメル質に行う。

ポイント

<レジン系充填材>

30～50%正リン酸溶液による酸処理によってエナメル質表面に凹凸を形成することでレジンとの機械的保持力が得られる。凹凸面にレジンが入り込んだものをレジntagという。

なお、リン酸による酸処理ではなく、コンポジットレジン修復でも使用されているセルフエッチングプライマーを応用するものもある。

(問題 78) 医療面接で解釈モデルを聴取する目的はどれか。1つ選べ。

- a 主訴の信憑性を評価する。
- b 患者の取り違えを防止する。
- c 診療に対する不満を把握する。
- d 疾病に対する患者の考えを把握する。

選択肢考察

答え d

- × a 主訴の信憑性を評価するために解釈モデルを聴取することはない。
- × b 患者の取り違え対策は患者にフルネームを名乗ってもらうことである。
- × c 診療に対する不満を把握するために解釈モデルを聴取することはない。
- d 解釈モデルとは疾病に対する患者の考えを把握することを目的とする。

ポイント

<解釈モデル>

患者が自分の見方でみて、自分の言葉で表し、自分の価値観で意味づけた、自分の病気についての考え方である。

(問題 79) 入院診療計画書に記載するのはどれか。1つ選べ。

- a 患者の住所
- b 患者の家族構成
- c 予測される入院費
- d 推定される入院期間

選択肢考察 **答え d**
 × a、× b、× c 患者の住所や家族構成、予測される入院費は入院診療計画書に記載する必要はない。
 ○ d 推定される入院期間は入院診療計画書の記載事項の1つである。

ポイント
 <入院診療計画書の記載事項>
 ・患者の氏名、生年月日および性別
 ・当該患者の診療を主として担当する医師または歯科医師の氏名
 ・入院の原因となった傷病名および主要な症状
 ・入院中に行われる検査、手術、投薬そのほかの治療(入院中の看護および栄養管理を含む)に関する計画

(問題 80) 5歳の女児。歯科健康診査を受診した。歯や口腔粘膜の損傷はみられないが、未処置歯が多数あり、歯垢の付着が著明で歯肉腫脹がみられる。母親の女児に対する拒絶的な態度がしばしばみられる。疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 性的虐待
- b 身体的虐待
- c 心理的虐待
- d ネグレクト

選択肢考察 **答え cd**
 × a 性的虐待の徴候はみられない。
 × b 歯や口腔粘膜の損傷はみられないため、身体的虐待の徴候はみられない。
 ○ c 母親の女児に対する拒絶的な態度がしばしばみられるため、心理的虐待が疑われる。
 ○ d 未処置歯が多数あり、歯垢の付着が著明で歯肉腫脹がみられるため、ネグレクトが疑われる。

ポイント
 <ネグレクト(育児放棄)>
 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

(問題 81) 75歳の男性。訪問歯科診療で保存不可能な歯の抜去を行った。血液の付着したグローブの処理で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所に依頼する。
- b 家庭ごみとして廃棄してもらう。
- c 診療室で一般廃棄物として処理する。
- d 特別管理産業廃棄物として処理する。

選択肢考察 **答え d**

- × a 保健所に依頼することはない。
- × b 医療廃棄物のため、家庭ごみとして捨ててもらうことはない。
- × c、○ d 血液の付着したグローブは特別管理産業廃棄物として処理する。

ポイント
 <バイオハザードマーク>
 ・黄色：鋭利なもの(メス、針など)
 ・赤色：液体(血液、膿汁など)
 ・橙色：固体(使用後のグローブなど)

(問題 82) 改訂BDR指標で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 3段階で評価する。
- b 疾患特異的QOL尺度である。
- c Dは「義歯清掃」の評価項目である。
- d 電動歯ブラシの使用も評価対象である。

選択肢考察 **答え ad**
 ○ a 自立、一部介助、全介助の3段階で評価する。
 × b 改訂BDR指標は口腔清掃の自立度を評価している。疾患特異的QOL尺度はGeneral Oral Health Assessment Index(GOHA)である。
 × c D(Denture wearing)は「義歯着脱」の評価項目である。
 ○ d B(Brushing)には電動歯ブラシの使用も含まれる。

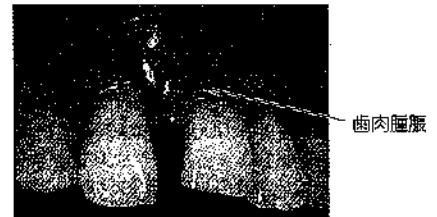
ポイント
 改訂BDR指標では口腔と義歯の清掃自立状況(自発性、習慣性、有効性)も評価している。有効性の判定基準は、清掃具の基本的な部位到達性、基本的な操作性、適正な持続時間である。

(問題 83) 45歳の女性。歯磨き時に上顎前歯部歯肉から出血することを主訴として来院した。口腔内写真(別冊午前No.24)を別に示す。症状を緩和する歯磨剤の薬効成分はどれか。2つ選べ。

- a グリチルリチン酸
- b 乳酸アルミニウム
- c イプシロンアミノカプロン酸
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

別冊 午前 No.24 写真

選択肢考察 **答え ac**



- a グリチルリチン酸は歯肉の炎症を緩和する歯磨剤の薬効成分である。
- × b 乳酸アルミニウムは知覚過敏を緩和する歯磨剤の薬効成分である。
- c イプシロンアミノカプロン酸は歯肉の炎症を緩和

- する歯磨剤の薬効成分である。
- × d モノフルオロリン酸ナトリウムは歯の再石灰化を促進する歯磨剤の薬効成分である。

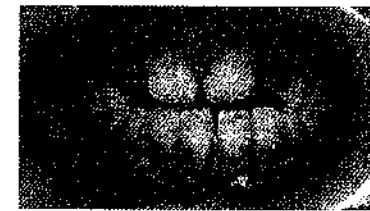
ポイント
 <歯周疾患予防のための歯磨剤の薬効成分>
 ・殺菌：塩酸クロルヘキシジン、トリクロサン、塩化セチルピリジニウム、塩化ベンザルコニウム
 ・消炎：グリチルリチン酸類、イプシロンアミノカプロン酸
 ・出血抑制：トラネキサム酸
 ・粘膜の収斂：塩化ナトリウム

(問題 84) 9歳の女児。噛み合わせの異常を主訴として来院した。乳歯列期から咬みにくいという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.25)を別に示す。誘因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 咬爪癖
- b 歯ぎしり
- c 異常嚥下癖
- d 母指吸引癖

別冊 午前 No.25 写真

選択肢考察 **答え cd**



- × a 咬爪癖は歯の摩擦や傾斜を伴うことがあるが、口腔内写真から歯の摩擦はみられない。
- × b 乳歯列期から咬みにくく、口腔内写真で前歯部開咬がみられるため、歯ぎしりが誘因とは考えにくい。
- c 乳児型嚥下が残存して異常嚥下癖がみられると、上下顎前突や前歯部開咬を伴うことが多い。
- d 母指吸引癖により上顎前歯の唇側傾斜や下顎前歯の舌側傾斜、前歯部開咬がみられる。

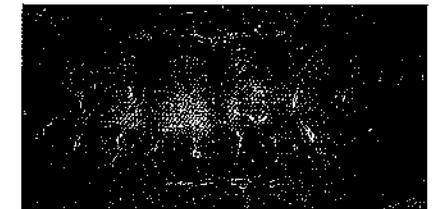
ポイント
 <前歯部開咬の誘因>
 ・異常嚥下癖(舌突出癖)
 ・母指吸引癖
 ・幼児型嚥下の残存

(問題 85) 75歳の男性。前歯歯冠の白濁を主訴として、入所施設の職員から訪問歯科診療の依頼があった。6か月前に脳梗塞後の片麻痺で入所したが、BDR指標はいずれも「自立」で、入所時には白濁はなかったという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.26)を別に示す。歯冠の白濁への対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ホームブリーチ
- b ブラッシング指導
- c フッ化物洗口の指示
- d コンポジットレジン修復

別冊 午前 No.26 写真

選択肢考察 **答え bc**



- × a 脳梗塞後の片麻痺による口腔清掃不良が原因と考えられるため、ホームブリーチを行う必要はない。
- b 脳梗塞後の片麻痺による口腔清掃不良が原因と考えられるため、ブラッシング指導を行う必要がある。
- c 脳梗塞後の片麻痺による口腔清掃不良が原因と考えられ、口腔内写真から上顎前歯切縁部に白濁がみられる。BDR指標はいずれも「自立」のため、フッ化物洗口の指示を行う。
- × d 口腔内写真から歯の欠損はみられないため、コンポジットレジン修復を行う必要はない。

ポイント
 <BDR指標>
 ・高齢者、とくに要介護高齢者においては、口腔衛生状態を良好に維持するために、口腔清掃の自立度がどの程度であるかを把握することが重要である。
 ・この口腔清掃の自立度の評価には、歯磨き(Brushing)、義歯装着(Denture wearing)、うがい(mouth rinsing)の3項目を自立、一部介助、全介助の3段階で評価する。

(問題 86) 食品表示法でアレルギーを含む食品として表示が義務付けられているのはどれか。2つ選べ。

- a 卵
- b か に
- c 白米
- d うどん

選択肢考察 **答え ab**
 ○ a、○ b 卵やかには「食品表示法」でアレルギーを含む食品として表示が義務付けられている。
 × c、× d 白米やうどんは「食品表示法」でアレルギーを含む食品として表示が義務付けられていない。

ポイント

<「食品表示法」でアレルギーを含む食品として表示が義務付けられているもの>
えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生

【問題 87】 必須脂肪酸はどれか。2つ選べ。

- a リノール酸
- b アラキドン酸
- c ヒアルロン酸
- d アスパラギン酸

選択肢考察 答え a b

- a、○ b リノール酸やアラキドン酸は必須脂肪酸である。
- × c ヒアルロン酸はグリコサミノグリカンである。
- × d アスパラギン酸は酸性アミノ酸である。

ポイント

<必須脂肪酸>
・リノール酸
・α-リノレン酸
・アラキドン酸

【問題 88】 摂食・嚥下障害患者で経静脈栄養に比べて経口摂取が優れているのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧の調整
- b 水分の補正
- c 尿量の維持
- d 代謝上の合併症予防

選択肢考察 答え d

- × a 経静脈栄養は経口摂取と比較して電解質（ナトリウム、カリウムなど）のコントロールが行いやすいため、血圧の調整に優れている。
- × b、× c 経静脈栄養は経口摂取と比較して水分のコントロールが行いやすいため、脱水防止や尿量の維持に優れている。
- d 経静脈栄養は非生理的な栄養補給法であり、栄養素が腸から吸収されないため、経口摂取と比較して代謝上の合併症が多くなる。また、腸が利用されないため腸内細菌叢が変化し、バクテリアトランスロケーションを起こしやすくなる。摂食・嚥下障害患者で経静脈栄養に比べて経口摂取が優れているのは代謝上の合併症予防である。

ポイント

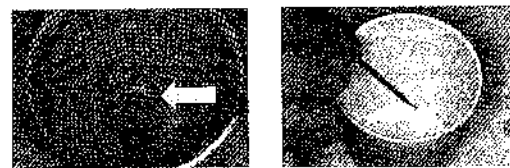
<経静脈栄養>
上大静脈や下大静脈といった太い中心静脈を使用する中心静脈栄養（TPN）と四肢の細い末梢静脈を使用する末梢静脈栄養（PPN）とがある。

【問題 89】 咀嚼困難を訴えて受診した患者に対して行ったある検査の過程の写真（別冊午前 No.27）を別に示す。矢印で示す試料に対する評価指標はどれか。1つ選べ。

- a 色調
- b 断片数
- c 表面積
- d 溶出量

別冊 午前 No.27 写真

選択肢考察 答え d



咀嚼後のグミゼリー 上澄み液の採取



グルコース分析装置

- × a、× b グミゼリーを用いた咬断能力検査では色調や断片数は評価しない。
- × c、○ d グミゼリーを用いた咬断能力検査は、グミゼリーを規定回数咀嚼させ、増加したグミゼリーの表面積を溶出したグルコース濃度を測定することにより評価する方法である。

ポイント

<グミゼリーを用いた咬断能力検査>
①咀嚼したゼリーを口腔に含んだ定量の蒸留水とともに吐き出し、その上澄みの糖濃度を測定する方法
②咀嚼したゼリーを30秒流水にて水洗し、15mL、35°C蒸留水中で攪拌、グルコースを溶出させ糖濃度を測定する方法

【問題 90】 重度認知症の高齢者に実施できる摂食嚥下機能検査はどれか。1つ選べ。

- a RSST
- b 咳テスト
- c 舌圧検査
- d フードテスト

選択肢考察 答え b

- × a RSST では空嚥下を指示するため、重度認知症の高齢者に実施することはできない。
- b 咳テストはクエン酸生理食塩水などをネブライザーを用いて口から吸引させ、咳反射の有無を評価するため、重度認知症の高齢者に実施することができる。
- × c 舌圧検査では舌圧測定器に対して圧をかけるように指示するため、重度認知症の高齢者に実施することはできない。
- × d フードテストはティースプーン1杯量のプリンを食させるため、重度認知症の高齢者に実施することはできない。

ポイント

<咳テスト>
1分間で5回以上咳反射が生じたときを陰性（正常）とし、4回以下のときを陽性（不顕性誤嚥の疑い）とする。

【問題 91】 80歳の男性。嚥下困難を主訴として来院した。嚥下造影検査の画像（別冊午前 No.28）を別に示す。所見として正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 誤嚥
- b 喉頭侵入
- c 咽頭部残留
- d 鼻咽腔閉鎖機能不全

別冊 午前 No.28 写真

選択肢考察 答え c



- × a 誤嚥は食物が声門を越えて気管を流れる状態であり、嚥下造影検査の画像ではみられない。
- × b 喉頭侵入は喉頭口に食物が侵入するが声門を越えない状態であり、嚥下造影検査の画像ではみられない。
- c 嚥下造影検査の画像から咽頭部残留がみられる。
- × d 嚥下造影検査の画像から食物の鼻腔逆流はみられないため、鼻咽腔閉鎖機能不全は考えにくい。

ポイント

<嚥下造影検査>
・エックス線造影撮影装置を使用し、造影剤や被験食物にバリウムなどの造影剤を混ぜたものを被験者が食べ、飲み込むところを撮影する。
・食物の誤嚥や咽頭残留の有無を評価する。
→ 嚥下関連諸器官の運動が障害されているか診断する。

【問題 92】 75歳の男性。摂食嚥下障害を主訴として来院した。ある訓練を実施することとした。訓練時の写真（別冊午前 No.29）を別に示す。

- この訓練の目的はどれか。1つ選べ。
- a 嚥下反射の促進
 - b 舌骨上筋群の強化
 - c 声門閉鎖機能の改善
 - d 鼻咽腔閉鎖機能の改善

別冊 午前 No.29 写真

選択肢考察 答え b



シャキア法

- × a 嚥下反射の促進は嚥下促進訓練の目的である。
- b 写真では仰臥位で両肩が床についたまま、頭部のみ挙上して爪先をみているため、シャキア法（頭部挙上訓練）を行っている。シャキア法の目的は、頭部の挙上練習により舌骨上筋群など喉頭挙上に関わる筋の筋力強化を行い、食道入口部の開大を改善させることである。
- × c 声門閉鎖機能の改善は声門閉鎖訓練の目的である。
- × d 鼻咽腔閉鎖機能の改善はブローイングの目的である。

ポイント

<シャキア法>
頸部には喉頭挙上に関わる嚥下関連筋が存在するため、それらの筋を対象とした筋機能訓練である。舌骨喉頭挙上が困難で、食道入口部開大が不十分なことから咽頭部残留がみられる患者が対象となる。

【問題 93】 加齢による鼻咽腔閉鎖機能不全に有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 舌抵抗訓練
- b 頭部挙上訓練
- c プッシング訓練
- d ブローイング訓練

選択肢考察 答え d

- × a 舌抵抗訓練は舌背挙上を強化する筋機能訓練である。
- × b 頭部挙上訓練（シャキア法）は舌骨上筋群を強化し、舌骨喉頭前方挙上を改善させ、食道入口部の開大を改善させる筋機能訓練である。
- × c プッシング訓練は声帯の内転を強化する声門閉鎖訓練である。
- d ブローイング訓練は鼻咽腔閉鎖機能不全に対する呼吸訓練である。

ポイント

<ブローイング訓練>
・吹く動作（口腔気流）により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経・筋群の機能を改善させる。
・ソフトブローイングは気管内圧を上昇させ、気道の虚脱を防ぐ効果や呼吸持続時間を延長させる。

【問題 94】 チーム医療で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 仕事量を平均化する。
- b 各々の役割に干渉しない。
- c 診療プロセスを標準化する。
- d 原疾患の包括的治療を行う。

選択肢考察

答え d

- × a チーム医療により仕事量を平均化するわけではない。
- × b チーム医療では各々の役職の立場から補完し合うことが重要である。
- × c 診療プロセスの標準化はクリニカルパスの目的であり、診療プロセスを標準化するためにチーム医療を行うわけではない。
- d チーム医療では多職種が連携し、原疾患の包括的治療を行う。

ポイント

チーム医療では患者と各メディカルスタッフが情報を共有することが重要となる。

(問題 95) ある地域で実施されたいくず防事業の効果を評価することとした。

アウトカム評価はどれか。1つ選べ。

- a 事業の実施量
- b 事業の人員体制
- c 事業に要した総経費
- d 事業前後のう蝕治療率の変化

選択肢考察

答え d

- × a 事業の実施量はアウトプット評価である。
- × b 事業の人員体制はストラクチャー評価である。
- × c 事業に要した総経費はストラクチャー評価である。
- d 事業前後のう蝕治療率の変化はアウトカム評価である。

ポイント

<アウトカム(結果)指標>

事業の目的や目標の達成度、成果の数値目標に対する指標である。

(問題 96) 朝食を摂らずに受診した糖尿病患者が歯科治療中に顔面蒼白になり、動悸と冷汗がみられた。

補給すべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 水
- b 牛乳
- c 緑茶
- d スポーツ飲料水

選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c、○ d 糖尿病患者が十分な食事をせずにインスリンや経口血糖降下薬を使用すると低血糖状態をきたす可能性がある。
- 顔面蒼白になり、動悸と冷汗がみられたことから低血糖状態と考えられるので、糖質を補給すべきである。選択肢の中では、スポーツ飲料水が糖質を多く含んでいる。

ポイント

<糖尿病患者の歯科治療時の注意点>

易感染性、創傷治癒遅延、歯科治療によるストレスによる血糖値の変化(低血糖)、高血圧症などの合併症、歯科疾患による摂食障害によるコントロール不良などに注意を必要とする。

(問題 97) ある装置の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。

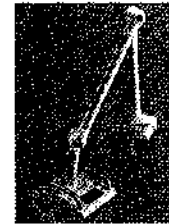
この装置を使用して吸引するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液
- b 注水噴霧
- c 抜歯時の出血
- d 切削時のエアロゾル

別冊 午前 No.30 写真

選択肢考察

答え b d



口腔外バキューム

- × a 写真は口腔外バキューム装置である。唾液は口腔内バキュームで吸引する。
- b 注水噴霧は口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。
- × c 抜歯時の出血は口腔内バキュームで吸引する。
- d 切削時のエアロゾルは口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。

ポイント

口腔外バキュームは院内感染防止策として有効である。

(問題 98) 消毒薬の写真(別冊午前 No.31)を別に示す。消毒の手順で最初に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 手掌
- b 手甲
- c 指先
- d 手首

別冊 午前 No.31 写真

選択肢考察

答え a



速乾性擦込式手指消毒薬

- a、× b、× c、× d 手順は以下の通りである。
- ①速乾性擦込式手指消毒薬を適量(約3mL)手掌にとる。
- ②手掌を合わせてよくこすり、手の甲、指先、爪の間、指の間をこする。
- ③拇指を反対の手掌でねじり洗いをする。
- ④手首を洗う。
- したがって、手掌→手の甲→指先→手首の順となる。

ポイント

<速乾性擦込式手指消毒法>

- ①液体石けんを手掌に取り、手掌を合わせてよくこすり、指先、指の間、爪の間を十分に洗う。
- ②液体石けんを流水でよく洗い流す。
- ③速乾性擦込式手指消毒薬を適量(約3mL)を手掌に取る。
- ④爪先、指先によくすり込む。
- ⑤手掌によくすり込む。
- ⑥手の甲にすり込む。
- ⑦手首にもすり込み、乾燥するまでよくすり込む。
- ⑧グローブを着用する。

(問題 99) 上顎の印象体の写真(別冊午前 No.32)を別に示す。

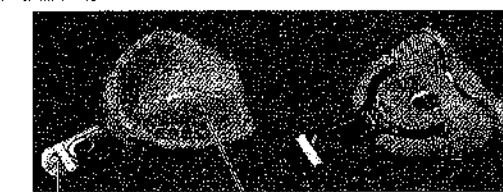
この印象材で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 非弾性印象材である。
- b 概形印象に適している。
- c 印象体は水中で保管する。
- d ハイドロコロイド系印象材である。

別冊 午前 No.32 写真

選択肢考察

答え b d



既製トレー アルジネート印象材

- × a 写真はアルジネート印象材である。アルジネート印象材は弾性印象材である。
- b 精密印象ではなく、概形印象に適している。
- × c 印象体は相対湿度100%環境下にて保管するか、濡らしたティッシュペーパーなどで包んでおく。
- d 寒天印象材と同じく、ハイドロコロイド系印象材である。

ポイント

<アルジネート印象採得>

- ①粉末はアルギン酸ナトリウムである。
- ②20°C前後の水と練和する。
- ③弾性印象材である。
- ④概形印象に用いる。
- ⑤操作が簡便である。
- ⑥安価である。
- ⑦粉末はほぐして計量する。
- ⑧放置すると変形する。(離漿と乾燥のため)
- ⑨ハイドロコロイド系印象材である。
- ⑩撤去後直ちに石膏を注ぐ。

(問題 100) 器具の写真(別冊午前 No.33)を別に示す。

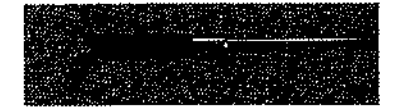
これと同時に使用するものはどれか。1つ選べ。

- a 水硬性仮封材
- b レジン系仮封材
- c テンポラリーストッピング
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント

別冊 午前 No.33 写真

選択肢考察

答え c



ストッピングキャリア

- × a、× b、○ c、× d 写真はストッピングキャリアである。これにテンポラリーストッピングを挿入し、温めて使用する。

ポイント

<仮封材>

- ①酸化亜鉛ユージノールセメント
- ②仮封用ポリカルボキシレートセメント
- ③テンポラリーストッピング
- ④レジン系仮封材
- ⑤サンダラック綿球
- ⑥水硬性仮封材

(問題 101) 印象採得時に用いる器具の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

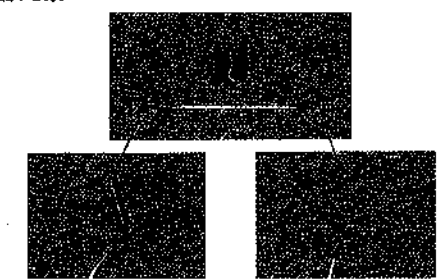
さらに準備するのはどれか。1つ選べ。

- a EDTA
- b アドレナリン
- c フッ化ナトリウム
- d 次亜塩素酸ナトリウム

別冊 午前 No.34 写真

選択肢考察

答え b



歯肉圧排糸とジンパッカー

- × a EDTA には無機質溶解作用があり、根管の機械的拡大に用いられる。印象採得時に用いるものではない。
- b アドレナリンは止血剤(血管収縮薬)で歯肉圧排糸に浸潤させる薬剤である。
- × c フッ化ナトリウムはう蝕予防で使用されるフッ化物である。印象採得時に用いるものではない。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは有機質溶解作用があり、根管清掃に用いられる。その他に消毒薬としても用いられる。印象採得時に用いるものではない。

ポイント

塩化第二鉄、塩化アルミニウム、ミョウバンは収斂剤で歯肉圧排糸に浸潤させる薬剤である。

(問題 102) 加圧根管充填時の術式の模式図(別冊午前 No.35)を別に示す。

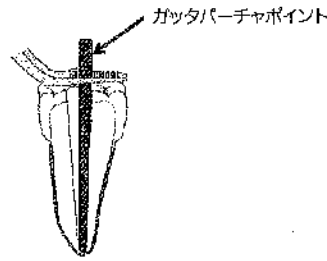
矢印で示す材料の所要性質はどれか。2つ選べ。

- a 殺菌性
- b 多孔性
- c 組織親和性
- d エックス線不透過性

別冊 午前 No.35 図

選択肢考察

答え c d



- x a 矢印で示す材料はガッタパーチャポイントで殺菌性はない。
- x b 多孔性ではない。根管充填材の間に組織液が浸潤してはいけない。
- c 組織親和性を有する(=組織刺激性がない)必要がある。
- d 根管充填後の状態が確認できるように、エックス線不透過性(=造影性)である必要がある。

ポイント

<ガッタパーチャポイントの所要性質>

- ①化学的に安定である。
- ②組織親和性がある(=組織刺激性がない)。
- ③エックス線不透過性(=造影性がある)。
- ④多孔性でない。
- ⑤熱可塑性である。
- ⑥有機溶媒に可溶性である。
- ⑦収縮や膨張しない。
- ⑧密着性がある。
- ⑨除去が可能である。

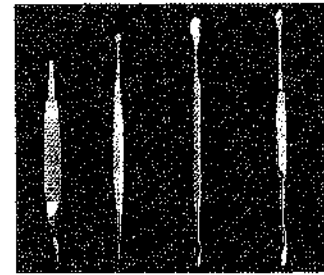
(問題 103) 器具の写真(別冊午前 No.36)を別に示す。歯周組織再生誘導法(GTR法)の際に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.36 写真

選択肢考察

答え a d



① ② ③ ④

- a, ○ d ①と④は骨膜剥離子である。GTR法では骨膜を剥離して遮蔽膜を貼付するので、骨膜剥離子を用いる。
- x b ②はエバンスである。技工操作で使用するものである。
- x c ③はワックスパチュラである。技工操作で使用するものである。

ポイント

<歯周組織再生誘導法(GTR法)>

目的	遮蔽膜を用いて、上皮細胞の根尖側への移動を阻止し、歯根膜由来の細胞を根面に誘導し、結合組織性付着(新付着)をさせる。
適応	1、2度の根分岐部病変、垂直性骨欠損(2、3壁性骨欠損)
使用器具	基本セット、局所麻酔用器具、メス、スクレーパー、骨膜剥離子、歯槽骨整形用器具、歯肉パサミ、縫合用器具、遮蔽膜、コーンプライヤーなど。

(問題 104) 72歳の男性。下顎全部床義歯製作を希望して来院した。義歯製作過程のある操作の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。

行っているのはどれか。1つ選べ。

- a チェックバイト法
- b ゴシックアーチ描記法
- c オルタードキャスト法
- d フェイスボウトランスファー

別冊 午前 No.37 写真

選択肢考察

答え b



ゴシックアーチトレーサー

- x a 下顎運動の記録法の1つで、バイト材を上下顎歯の咬合面間や咬合床の咬合堤間で硬化させ、上下顎関係を記録し、半調節性咬合器の顎路調節に用いられる方法である。
- b 下顎運動の記録法の1つで、定められた咬合高径における下顎前後運動および左右の後方・側方限界運動の軌跡を描記させ、その描記図をもとに水平的な顎間関係の決定や診断を行う方法である。写真のように描記板と描記針を用いて下顎運動路(ゴシックアーチ)を描記する。

- x c 部分床義歯の印象法の1つで、残存歯の歯根膜と欠損部の顎堤粘膜の沈下量の差を補正することができる。
- x d 頭蓋骨に対する上顎模型の位置関係を記録し、この関係を咬合器上に再現するために行う操作のことである。

ポイント

<ゴシックアーチ描記法>

- ・下顎運動の記録法の1つで、口内法と口外法がある。
- ・描記板と描記針を用いてゴシックアーチを描記する。
- ・中心位、偏心位(前方位、左側方位、右側方位)を判断できる。
- ・半調節性咬合器の顎路調節に用いられる。
- ・顎関節の機能異常の有無を評価できる。

(問題 105) 28歳の男性。下顎左側智歯周囲炎による疼痛を主訴として来院した。診査の結果、下顎左側智歯を抜歯することになった。初診時のパノラマエックス線写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

抜歯の際に必要なのはどれか。2つ選べ。

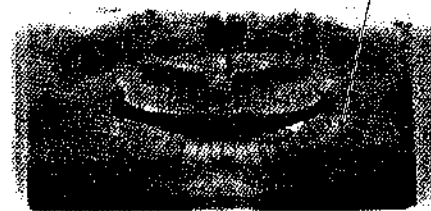
- a ソンデ
- b マイセル
- c カークランドメス
- d マイクロモーターハンドピース

別冊 午前 No.38 写真

選択肢考察

答え b d

水平埋伏智歯



- x a ソンデは切開、排膿の際に準備する器具である。
- b, ○ d パノラマエックス線写真より下顎左側水平埋伏智歯が存在することがわかる。下顎水平埋伏智歯は歯冠が埋伏しているため歯肉を切開、剥離する。次にマイクロモーターハンドピース、マレット、マイセルなどを用いて歯冠を分割して、抜歯することになる。
- x c カークランドメスは歯周外科治療の1つである歯肉切除術の際に用いる。

ポイント

<下顎水平埋伏智歯の抜歯に使用する器具>

- ①歯肉メス
- ②骨膜剥離子、骨膜起子
- ③鉗子(エレベーター)
- ④マイセル
- ⑤マレット
- ⑥破骨鉗子
- ⑦骨バー
- ⑧エアーピン・マイクロモーターハンドピース(歯の分割用バーなど)
- ⑨縫合用器具一式など

(問題 106) 矯正用プライヤーの写真(別冊午前 No.39)を別に示す。

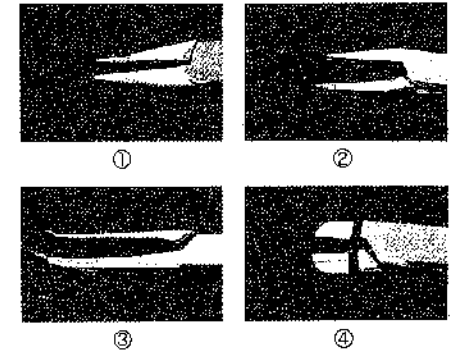
プライヤーと用途の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①——— バンドの調整
- b ②——— ワイヤーの結紮
- c ③——— ワイヤーの着脱
- d ④——— ワイヤーの屈曲

別冊 午前 No.39 写真

選択肢考察

答え c d



- x a ①はジャラバックプライヤーである。細いワイヤーの屈曲に用いる。
- x b ②はツイードルーペンディングプライヤーである。レクタングュラーワイヤーにループを付与するプライヤーである。
- c ③はハウプライヤーである。ワイヤーの適合・着脱、リガチャーワイヤーの結紮に使用する。
- d ④はツイードアーチペンディングプライヤーである。レクタングュラーワイヤーにトルクを付与したり屈曲するのに用いる。

ポイント

矯正用バンドの調整には、バンドフォーミングプライヤー、バンドカンタリングプライヤーを用いる。

(問題 107) 写真(別冊午前 No.40)を別に示す。

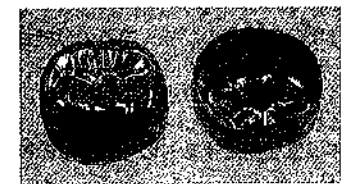
装着時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 金冠ばさみ
- b クラウンフォーム
- c ゴードンプライヤー
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント

別冊 午前 No.40 写真

選択肢考察

答え a c



乳歯用既製金属冠

- a 金冠ばさみで乳歯用既製金属冠の冠辺縁の長さを調整する。

- × b クラウンフォームとは切縁を含む広範囲のう蝕や外傷による歯冠破折の修復に用いる透明な既製冠である。
- c ゴードンブライヤーで乳歯用既製金属冠の冠辺縁の豊隆 (=コンタリング) を調整する。
- × d 酸化亜鉛ユージノールセメントではなく、リン酸亜鉛セメントで乳歯用既製金属冠を合着する。したがって、ガラス板、金属製スパチュラを準備する必要がある。

ポイント

<乳歯用既製金属冠装着時に準備するもの>

- ①ダイヤモンドバー
- ②デンタルノギス
- ③金冠はさみ
- ④ゴードンブライヤー
- ⑤咬合紙
- ⑥咬合面調整鉗子
- ⑦研磨用具
- ⑧リン酸亜鉛セメント
- ⑨ガラス練板
- ⑩金属製スパチュラ

(問題 108) 障害者の歯科治療で応用される行動変容のなかで、オペラント技法に分類されるのはどれか。2つ選べ。

- a 強化技法
- b 消去技法
- c 脱感作法
- d 模倣療法

選択肢考察

答え a b

- a、○ b 強化技法や消去技法はオペラント技法に分類される。
- × c 脱感作法はレスポナント技法に分類される。
- × d 模倣療法 (モデリング法) はオペラント技法でもレスポナント技法でもない。

ポイント

<行動変容法>

行動変容法はレスポナント条件づけやオペラント条件づけなど、心理学の学習理論に基づいた行動科学の技法を臨床に応用するもの。

(問題 109) 患者の엑스線被曝線量の軽減で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 低電圧で撮影する。
- b 防護エプロンを使用する。
- c ポケット線量計を装着させる。
- d デジタル撮影システムを採用する。

選択肢考察

答え b d

- × a 高電圧だと透過力が強くなるので撮影時間が短くなり、被曝軽減になる。
- b 患者に防護エプロンを着用させると、患者の被曝軽減になる。
- × c 被曝線量を測定するもので、患者の被曝軽減にはならない。
- d デジタル撮影システムを採用すると、엑스線の線量を少なくすることができる。

ポイント

<患者の被曝軽減法>

- ①高感度フィルムを使用する。
- ②防護エプロンを着用させる。
- ③線源と人体との距離を長くする。
- ④高電圧で撮影する。
- ⑤線量を少なくする。
- ⑥照射時間を短くする。
- ⑦デジタル撮影システムを採用する。
- ⑧照射野を制限する。

(問題 110) Japan Coma Scale (JCS) の II -20 を表すのはどれか。1つ選べ。

- a 体をゆさぶると開眼する。
- b 痛み刺激に全く反応しない。
- c 意識清明とはいえない状態である。
- d 痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる。

選択肢考察

答え a

- a 「体をゆさぶると開眼する」は Japan Coma Scale (JCS) の II -20 である。
- × b 「痛み刺激に全く反応しない」は Japan Coma Scale (JCS) の III -300 である。
- × c 「意識清明とはいえない状態である」は Japan Coma Scale (JCS) の I -1 である。
- × d 「痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる」は Japan Coma Scale (JCS) の III -200 である。

ポイント

<Japan Coma Scale (JCS)>

- III 刺激をしても覚醒しない状態
 - 300 痛み刺激にまったく反応しない
 - 200 痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
 - 100 痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
- II 刺激すると覚醒する状態
 - 30 痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すと、辛うじて開眼する
 - 20 大きな声または体をゆさぶることにより開眼する
 - 10 普通の呼びかけで容易に開眼する
- I 刺激しないでも覚醒している状態
 - 3 自分の名前、生年月日がいえない
 - 2 見当識障害がある
 - 1 意識清明とはいえない

厚生労働省 インフルエンザ診療ガイドラインより

解説 (午後問題)

(問題 1) 大腸はどれか。1つ選べ。

- a 回腸
- b 空腸
- c 盲腸
- d 十二指腸

選択肢考察

答え c

- × a、× b、× d 十二指腸、空腸、回腸の順序で消化され、これらを小腸という。
- c 盲腸は大腸の1つである。

ポイント

<小腸と大腸>

小腸	十二指腸、空腸、回腸
大腸	盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸

(問題 2) 顎関節の模式図を示す。

矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

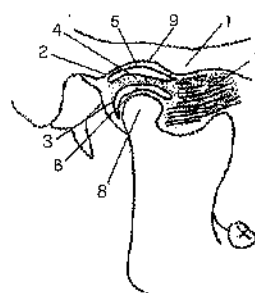
- a 関節包
- b 関節円板
- c 関節結節
- d 関節突起



選択肢考察

答え b

- × a、○ b、× c、× d 下顎頭と下顎窩との間に関節円板が介在する。



- 1. 関節結節
- 2. 後関節突起
- 3. 関節包
- 4. 関節円板
- 5. 上関節腔
- 6. 下関節腔
- 7. 外側髁突部
- 8. 下顎頭
- 9. 下顎窩

ポイント

関節円板が前方転位すると関節雑音 (クリック音) を伴うことがある。

(問題 3) 口腔内写真 (別冊午後 No.1) を別に示す。

矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 介在結節
- b 切歯結節
- c 中心結節
- d カラベリー結節

別冊 午後 No.1 写真

選択肢考察

答え b



切歯結節

- × a 介在結節は上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。
- b 写真は上顎中切歯の舌面にみられる切歯結節である。
- × c 中心結節は下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。
- × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

ポイント

<歯の形態>

カラベリー結節	上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節
介在結節	上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節
中心結節	下顎小臼歯の咬合面にみられる結節
臼後結節	上下顎臼歯の遠心隣接面に形成された小結節
切歯結節	上顎中切歯の舌面にみられる結節
臼歯結節	上下顎臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節

(問題 4) 下顎骨の写真 (別冊午後 No.2) を別に示す。軟骨内骨化がみられる部位はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.2 写真

選択肢考察

答え a



- a ①は下顎頭である。下顎頭や頭蓋底の一部では軟骨内骨化がみられる。
- × b ②は筋突起である。膜性骨化がみられる。
- × c ③は下顎枝である。膜性骨化がみられる。
- × d ④は下顎骨体部である。膜性骨化がみられる。

ポイント

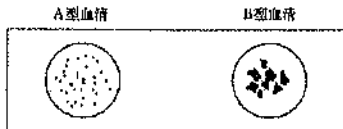
硝子軟骨が骨組織に置換する様子を軟骨内骨化という。

(問題 5) 酵素と作用するものの組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。
 a リパーゼ——脂肪
 b アミラーゼ——タンパク質
 c ペプシン——デンプン
 d マルターゼ——フルクトース

選択肢考察 **答え a**
 ○a リパーゼは膵液と唾液にみられる脂肪分解酵素である。
 ×b アミラーゼは唾液と膵液にみられるデンプン分解酵素である。
 ×c ペプシンは胃液にみられるタンパク質分解酵素である。
 ×d マルターゼは腸液にみられる加水分解酵素である。マルトース(麦芽糖)をグルコース(ブドウ糖)に分解する。

ポイント
 <リパーゼ>
 中性脂肪(トリグリセリド)を脂肪酸とグリセロールに分解する酵素である。

(問題 6) 血液を血清と混和した結果を図に示す。血液型はどれか。1つ選べ。
 a A型
 b B型
 c AB型
 d O型



選択肢考察 **答え a**
 ○a、×b、×c、×d A型血清が非凝集、B型血清が凝集なので、血液型はA型である。

ポイント
 <血液型検査(オモテ試験)>

A型血清	B型血清	血液型
非凝集	凝集	A
凝集	非凝集	B
凝集	凝集	AB
非凝集	非凝集	O

(問題 7) 特殊感覚はどれか。1つ選べ。
 a 痛覚
 b 味覚
 c 触覚
 d 温覚

選択肢考察 **答え b**
 ×a 痛覚は体性感覚の中の皮膚感覚に属する。その他に内臓感覚の中の内臓痛覚がある。順応がなく刺激が続く限り痛みを感じる。
 ○b 視覚、聴覚、嗅覚、味覚、平衡感覚を特殊感覚という。
 ×c 触覚は体性感覚の中の皮膚感覚に属する。順応が起こり、刺激を続けていると、その感覚を生じなくなる。

×d 温覚は皮膚感覚に属する。

ポイント
 <感覚の種類>

特殊感覚	視覚、聴覚、嗅覚、味覚、平衡感覚
体性感覚	皮膚感覚 触覚(圧覚)、温覚、冷覚、痛覚
	深部感覚 重量感覚、位置感覚、運動感覚
内臓感覚	内臓痛覚 痛覚
	臓器感覚 空腹感、満ち感、尿意、便意、性欲

(問題 8) 真核生物の染色体の模式図を示す。矢印の領域でみられる構造はどれか。1つ選べ。
 a テロメア
 b ヒストン
 c クロマチン
 d セントロメア



選択肢考察 **答え a**
 ○a 染色体の両末端にはテロメアが存在する。テロメアはDNA複製ごとに短縮するため、細胞分裂、老化、寿命に関与する。
 ×b ヒストンは真核生物のクロマチン(染色体)を構成する主要なタンパク質である。
 ×c クロマチンとはヒストンとDNAの複合体で、1つのヒストンに染色体DNAが二重に巻きつくヌクレオソーム構造からなる。
 ×d 染色体の中央部を動原体(セントロメア)という。染色体はセントロメアを挟んで、短腕(p)と長腕(q)に分かれる。

ポイント
 <テロメア>
 ・真核生物のDNAは直鎖状で、両末端にテロメアという特殊な構造がみられる。
 ・テロメアには6塩基の繰り返し配列(TTAGGG)が存在し、ループを形成している。
 ・テロメアはDNA複製ごとに短縮するため、細胞分裂、老化、寿命に関与する。

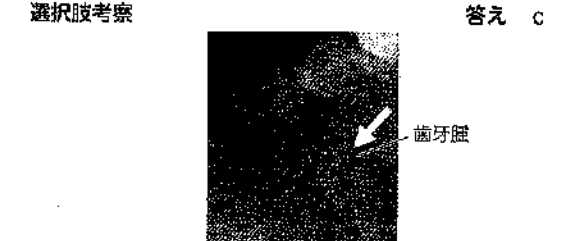
(問題 9) セメント質う蝕で正しいのはどれか。1つ選べ。
 a 若年者に多い。
 b う蝕円錐を形成する。
 c 表層下脱灰がみられる。
 d シャーピー線維に沿って進行する。

選択肢考察 **答え d**
 ×a セメント質う蝕は歯肉が退縮して露出した歯根面や歯周疾患によって形成された深い歯周ポケット内、すなわち歯肉線下に位置する歯根面に発生するので高齢者に多い。
 ×b う蝕円錐はエナメル質う蝕や象牙質う蝕で形成される。
 ×c 表層下脱灰がみられるのはエナメル質う蝕である。
 ○d セメント質う蝕はシャーピー線維に沿って進行し、無機成分の脱灰、細菌の侵入、有機成分の溶解を生じ、その表層から徐々に崩壊していく。

ポイント
 <セメントう蝕>
 ・歯肉が退縮して露出した歯根面に発生する(根面う蝕)。
 ・シャーピー線維に沿って進行する。

(問題 10) エックス線写真(別冊午後No.3)を示す。矢印が示す疾患で正しいのはどれか。1つ選べ。
 a 高齢者に好発する。
 b セメント質は含まれない。
 c 無痛性の腫脹がみられる。
 d 顎骨を破壊して浸潤増殖する。

別冊 午後 No.3 写真



×a 写真上で境界明瞭な透過像中に小不透過物の集合を認め、周囲に帯状の透過像が認められることから歯牙腫と考えられる。歯牙腫は10~20歳の若年者に好発する。
 ×b 歯牙腫はエナメル質、象牙質、セメント質、歯髄からなる一種の組織奇形(過誤腫)である。
 ○c 歯牙腫では無痛性の腫脹がみられる。
 ×d 顎骨を破壊して浸潤増殖するのは悪性腫瘍の特徴である。歯牙腫は悪性腫瘍ではない。

ポイント
 <歯牙腫>

分類	歯源性上皮と歯源性外胚葉性間葉からなり、硬組織を伴うあるいは伴わない腫瘍(=混合腫瘍)。
好発年齢	10~20歳の若年者
症状	上顎前歯部の無痛性腫脹
エックス線所見	境界明瞭な透過像の中に小不透過物の集合を認める。周囲に帯状の透過像を認める。埋伏歯を伴うことがある。
病理組織像	エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄からなる一種の組織奇形(過誤腫)である。
治療法	摘出

(問題 11) 歯肉線下歯垢を位相差顕微鏡で観察した結果の模式図を示す。矢印で示す細菌として考えられるのはどれか。1つ選べ。
 a *Candida albicans*
 b *Treponema denticola*
 c *Streptococcus mutans*
 d *Porphyromonas gingivalis*



選択肢考察 **答え b**
 ×a *Candida albicans* は厚膜孢子、分芽孢子、仮性菌糸がみられる真菌の1つである。
 ○b 矢印の菌はらせん状なので *Treponema denticola* と考えられる。スピロヘータの1つで、鞭毛をもち、

運動性を示すらせん状菌である。活動性の歯周病で分離されることが多い。
 ×c *Streptococcus mutans* は連鎖状を示す口腔レンサ球菌の1つで、グラム陽性通性嫌気性球菌である。
 ×d *Porphyromonas gingivalis* は短桿状の形態で、グラム陰性偏性嫌気性桿菌である。

ポイント
Treponema denticola はスピロヘータの1つで、運動性を示すらせん状菌である。

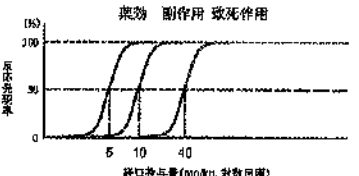
(問題 12) RNAウイルスはどれか。1つ選べ。
 a EBウイルス
 b B型肝炎ウイルス
 c 単純疱疹ウイルス
 d ヒト免疫不全ウイルス

選択肢考察 **答え d**
 ×a、×b、×c いずれもDNAウイルスである。
 ○d RNAウイルスの1つである。

ポイント
 <ウイルスの分類>

DNAウイルス	単純疱疹ウイルス 水痘-帯状疱疹ウイルス EBウイルス 麻疹ウイルス B型肝炎ウイルス
RNAウイルス	レトロウイルス ヒト免疫不全ウイルス(HIV) ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV) A型肝炎ウイルス C型肝炎ウイルス インフルエンザウイルス ムンプスウイルス 麻疹ウイルス エンテロウイルス コクサッキーウイルスA16 風疹ウイルス 日本脳炎ウイルス

(問題 13) 医薬品の動物投与における用量-反応曲線を示す。治療係数はどれか。1つ選べ。
 a 0.5
 b 2
 c 4
 d 8

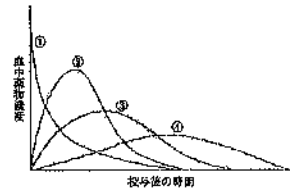


選択肢考察 **答え d**
 ×a、×b、×c、○d 治療係数(安全域) = 50%致死量(LD₅₀)/50%有効量(ED₅₀)で表される。図中の50%致死量(LD₅₀)は40、50%有効量(ED₅₀)は5である。したがって、治療係数(安全域) = LD₅₀/ED₅₀ = 40/5 = 8となる。

ポイント
 治療係数 = LD₅₀/ED₅₀

(問題 14) 筋肉内投与、経口投与、静脈内投与および皮下投与の血中薬物濃度-時間曲線を図に示す。肝臓での初回通過効果が生じる投与方法はどれか。

- 1つ選べ。
a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察 答え d

- × a ①は静脈内注射である。
× b ②は筋肉内注射である。
× c ③は皮下注射である。
○ d ④は経口投与である。最も一般的な投与方法であり、胃や小腸から吸収される。薬物が門脈経路で吸収される場合、肝臓で代謝を受ける。これを肝臓での初回通過効果という。

ポイント
＜経口投与＞

- ・最も一般的な投与方法であり、胃や小腸から吸収される。
- ・吸収された後、肝臓での初回通過効果を受ける。

(問題 15) 細胞壁合成阻害作用を有する抗菌薬はどれか。

- 1つ選べ。
a ペニシリン系
b マクロライド系
c ニューキノロン系
d テトラサイクリン系

選択肢考察 答え a

- a ペニシリン系とセフェム系はβ-ラクタム系ともよばれ、細胞壁合成阻害作用を有する。
× b、× d マクロライド系とテトラサイクリン系はタンパク合成阻害作用を有する。
× c ニューキノロン系は核酸合成阻害作用を有する。

ポイント
＜抗菌薬の作用機序＞

抗菌薬系	作用機序
ペニシリン系	細胞壁合成阻害
セフェム系	
アミノグリコシド系	タンパク合成阻害
マクロライド系	
テトラサイクリン系	
クロラムフェニコール	
ニューキノロン系	核酸合成阻害

(問題 16) 唾液の緩衝作用と再石灰化の両方の機能に関わるのはどれか。1つ選べ。

- a 乳酸
b 重炭酸
c リン酸

選択肢考察 答え d

- × a、× b 乳酸や重炭酸は歯の脱灰に関わる。
× c 重炭酸は唾液の緩衝作用に関わるが、再石灰化には関与しない。
○ d リン酸は唾液の緩衝作用と再石灰化の両方の機能に関わる。

ポイント
＜唾液中のリン酸の機能＞
・緩衝作用
・再石灰化

(問題 17) Streptococcus mutans の特徴はどれか。

- 1つ選べ。
a 運動性
b 耐酸性
c グラム陰性
d 偏性嫌気性

選択肢考察 答え b

- × a Streptococcus mutans には運動性はない。
○ b Streptococcus mutans は耐酸性である。
× c Streptococcus mutans はグラム陽性である。
× d Streptococcus mutans は通性嫌気性菌である。

ポイント
＜Streptococcus mutans の特徴＞
・酸産生能
・耐酸性
・通性嫌気性
・菌体外多糖産生能

(問題 18) 歯磨剤の薬用成分で歯石の沈着を防止するのはどれか。1つ選べ。

- a アルギン酸ナトリウム
b ポリリン酸ナトリウム
c ラウリル硫酸ナトリウム
d モノフルオロリン酸ナトリウム

選択肢考察 答え b

- × a 歯磨剤に含まれるアルギン酸ナトリウムは基本成分としての粘結剤である。
○ b 歯磨剤に含まれるポリリン酸ナトリウムは歯石沈着防止に有効な薬用成分である。
× c 歯磨剤に含まれるラウリル硫酸ナトリウムは基本成分としての発泡剤である。
× d 歯磨剤に含まれるモノフルオロリン酸ナトリウムはう蝕予防に有効な薬用成分である。

ポイント
ポリリン酸ナトリウムは歯磨剤の薬用成分で歯石沈着防止に有効である。

(問題 19) 歯ブラシの脇腹を主に使用するブラッシング法を図に示す。

- 該当するのはどれか。1つ選べ。
a フォーンズ法
b ローリング法
c スティルマン法
d チャーターズ法



選択肢考察 答え d

- × a フォーンズ法は主として毛先を使用するブラッシング法である。
× b、× c ローリング法やスティルマン法は主として脇腹を使用するブラッシング法であるが、毛先の向きが異なる。
○ d チャーターズ法は主として脇腹を使用するブラッシング法で、毛先の向きも適切である。

ポイント
＜歯ブラシの脇腹を主に使用するブラッシング法＞
・スティルマン法
・チャーターズ法
・ローリング法

(問題 20) 学校歯科健康診断で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 保健教育領域の活動である。
b 結果を健康教育に反映させる。
c 毎年6月20日までに実施する。
d 健康診断票の保存期間は5年間である。

選択肢考察 答え b d

- × a 学校保健において保健管理の対人管理に含まれる。
○ b 学校健康診断の結果は学校保健委員会の資料として用いられ、健康教育を含めた学校保健計画に反映される。
× c 学校歯科健康診断は毎年6月30日までに実施する。
○ d 「学校保健安全法」で健康診断票の保存期間は5年間と規定されている。

ポイント
＜学校歯科健康診断＞
・学校における歯・口の健康診断は、「学校保健安全法」の規定に基づいて行われる。
・子供が健康診断の体験を通して、自分の歯や口腔の健康状態を具体的に知り、健康の保持増進に対する意欲を一層高めることをねらいとしている。

(問題 21) 改訂法 CPI (WHO,2013) について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石について評価する。
b 口腔内にあるすべての歯を対象とする。
c Gingival score と Bone score を評価する。
d 特定歯のアタッチメントロスについて評価する。

選択肢考察 答え b d

- × a CPI-modified は歯石については評価しない。

- b CPI-modified は口腔内にあるすべての歯を対象とする。
× c Gingival score と Bone score を評価するのは GB count である。
○ d CPI-modified は特定歯のアタッチメントロスについて評価する。

ポイント
＜改訂法 CPI＞
・Gingival bleeding scores : BOPの有無を「0、1」で評価する。
・Pocket scores : PDを「0、1、2」で評価する。
・Score 0 : 所見なし
・Score 1 : 浅い歯周ポケット (4~5mm)
・Score 2 : 深い歯周ポケット (6mm以上)
・歯石については評価項目からはずす。
・BOPとPD評価 : 口腔内にあるすべての歯を対象とする。
・アタッチメントロスについても特定歯にて評価を行う。

(問題 22) 上顎左側中切歯を評価するのはどれか。1つ選べ。

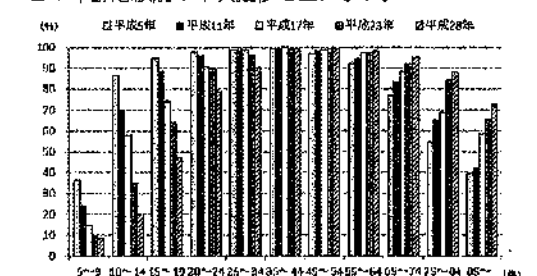
- a Gingival Index
b Oral Hygiene Index-Simplified
c Patient Hygiene Performance
d Periodontal Disease Index

選択肢考察 答え d

- × a GI の診査対象部位は 12、16、24、32、36、44 である。
× b、× c OHI-S や PHP の診査対象部位は 11、16、26、31、36、46 である。
○ d PDI の診査対象部位は 16、21、24、36、41、44 である。上顎左側中切歯は 21 のため、PDI で評価する。

ポイント
＜Ramfjord's PDI (Periodontal Disease Index)＞
歯周疾患の評価を特定 6 歯で全口腔を代表させる方法である。

(問題 23) 平成 28 年歯科疾患実態調査結果からある項目の年齢階級別の年次推移を図に示す。



- この項目はどれか。1つ選べ。
a う歯をもつ者の割合
b 歯肉出血を有する者の割合
c 20 本以上の歯を有する者の割合
d 4mm 以上の歯周ポケットを有する者の割合

選択肢考察

答え a

○ a、× b、× c、× d 図は平成 28 年歯科疾患実態調査のうち歯をもつ者の割合の年次推移の結果である。

ポイント

<歯科疾患実態調査>

この調査は、我が国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、平成 28 年より 5 年ごと（横断調査）に実施している一般統計である。

(問題 24) ODA で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開発途上国へ行う技術協力を含む。
- b 二国間援助は JICA が担っている。
- c 持続可能な開発目標 (SDGs) が設定されている。
- d 2030 年までの口腔保健のビジョンを提唱している。

選択肢考察

答え a b

- a ODA には政府が開発途上国へ行う資金や技術協力が含まれている。
- b JICA は ODA のうち二国間援助の技術協力、有償資金協力、無償資金協力を担っている。
- × c 持続可能な開発目標 (SDGs) を設定したのは国際協力機構である。
- × d 2030 年までの口腔保健のビジョンを提唱したのは国際歯科連盟 (FDI) である。

ポイント

<ODA の定義>

- ・政府または政府機関によって供与されるものであること。
- ・開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たる目的としていること。
- ・資金協力については、その供与条件のグラント・エレメントが25%以上であること。

(問題 25) ある歯磨剤のう蝕予防効果を疫学研究により検討することとした。

適切な研究方法はどれか。1つ選べ。

- a 介入疫学研究
- b 患者対照研究
- c 記述疫学研究
- d コホート研究

選択肢考察

答え a

- a 記述疫学によって設定された仮説を実験的に直接証明する研究である。一般にヒトを対象とするときを介入研究とよんでいる。
- × b すでに疾病などに罹患している群としていない群を設定し、それらの過去における容疑因子への曝露状況を調べて比較分析する方法である。
- × c 対象集団における疾病異常などの健康関連事象について、その頻度や分布をあるがままに記述し、発生要因などに関する仮説を設定する研究である。
- × d 容疑因子への曝露群と非曝露群の疾病の発生状況などを比較する追跡調査である。

ポイント

<介入研究>

記述疫学によって設定された仮説を実験的に直接証明するとともに、原因の作用機序なども解明できることがある。一般にヒトを対象とする場合を介入研究とよんでいる。介入研究は、ある要因を与える群（実験群）と与えない群（対照群）を設定して比較試験として行われる。

(問題 26) 健康日本 21（第二次）に記載されている Non Communicable Disease (NCD) に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯周病
- b 骨粗鬆症
- c 精神疾患
- d 循環器疾患

選択肢考察

答え d

- × a、× b 歯周疾患検診や骨粗鬆症検診は「健康増進法」に基づく市町村による健康増進事業の1つであるが、NCD には含まれない。
- × c 精神疾患は「医療法」の医療計画の5疾病に含まれるが、NCD には含まれない。
- d 循環器疾患は健康日本 21（第二次）に記載されている NCD に含まれる。

ポイント

<健康日本 21（第二次）に記載されている Non Communicable Disease (NCD) に含まれるもの>

- ・がん
- ・循環器疾患
- ・糖尿病
- ・慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

(問題 27) 母子健康手帳の省令様式において、保護者の記録【1歳6か月の頃】に記載されているのはどれか。1つ選べ。

- a 離乳食を始めましたか。
- b 哺乳ビンを使っていますか。
- c 歯磨きや手洗いをしていますか。
- d 歯みがきの練習をはじめていますか。

選択肢考察

答え b

- × a 離乳食を始めましたかは、保護者の記録【6～7か月の頃】に記載されている
- b 哺乳ビンを使っていますかは、保護者の記録【1歳6か月の頃】に記載されている
- × c 歯磨きや手洗いをしていますかは、保護者の記録【3歳の頃】に記載されている
- × d 歯みがきの練習をはじめていますかは、保護者の記録【1歳の頃】に記載されている

ポイント

<保護者の記録【1歳6か月の頃】>

- ・哺乳ビンを使っていますか。（いつまでも哺乳ビンを使って飲むのは、むし歯につながるおそれがあるので、やめるようにしましょう）
- ・食事や間食の時間はだいたい決まっていますか。
- ・歯の仕上げみがきをしてあげていますか。

・歯にフッ化物（フッ素）の塗布やフッ素入り歯磨きの使用をしていますか。

(問題 28) 特定保健指導について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 禁煙指導を含む。
- b 対象年齢は 65 歳以上である。
- c 健康増進法に規定されている。
- d ハイリスクアプローチである。

選択肢考察

答え a d

- a 特定保健指導には禁煙指導が含まれる。
- × b 特定保健指導の対象者は特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者である。特定健康診査の対象者は 40～74 歳の医療保険加入者（被保険者・被扶養者）である。
- × c 特定保健指導は「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定されている。
- d 特定保健指導は特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し行われるため、ハイリスクアプローチである。

ポイント

<特定保健指導>

医療保険者（国民健康保険・被用者保険）が、特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し、毎年度、計画的に（特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき）実施する、動機付け支援・積極的支援である。

(問題 29) 国民医療費に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 介護保険の費用
- b 禁煙治療の費用
- c 訪問看護の費用
- d 予防接種の費用

選択肢考察

答え b c

- × a 国民医療費には医療保険の費用は含まれるが、介護保険の費用は含まれない。
- b 国民医療費には禁煙治療の費用が含まれる。
- c 国民医療費には訪問看護療養費が含まれる。
- × d 国民医療費には傷病の治療に要する費用が含まれるため、予防接種の費用は含まれない。

ポイント

国民医療費は範囲を傷病の治療費に限定しているため、次の項目の費用は含まない。

- ・正常な妊娠や分娩などに要する費用
- ・健康の維持・増進を目的とした健康診断（人間ドック費用）
- ・予防接種（個人的に行うもの）などに要する費用
- ・固定した身体障害のために必要とする義眼や義肢などの費用
- ・介護保険の費用

(問題 30) 介護保険法に規定されているのはどれか。1つ選べ。

- a 市町村保健センター
- b 口腔保健支援センター
- c 精神保健福祉センター
- d 地域包括支援センター

選択肢考察

答え d

- × a 市町村保健センターは「地域保健法」に規定されている。
- × b 口腔保健支援センターは「歯科口腔保健の推進に関する法律」に規定されている。
- × c 精神保健福祉センターは「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に規定されている。
- d 地域包括支援センターは「介護保険法」に規定されている。

ポイント

<地域包括支援センター>

地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業などを地域において一体的に実施する役割を担う中核的機関として設置される。

(問題 31) 歯科衛生士法の一文を示す。

この法律は、歯科衛生士の資格を定め、もつて 及び の向上を図ることを目的とする。

に入るのはどれか。1つ選べ。

- a 医療の普及
- b 公衆衛生の向上
- c 歯科疾患の予防
- d 歯科口腔保健の推進

選択肢考察

答え c

- × a 医療及び公衆衛生の普及向上は「保健師助産師看護師法」の目的である。
- × b 「歯科医師は、歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」と「歯科医師法」に記載されている。
- c 「歯科衛生士法」は、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図ることを目的とする。
- × d 歯科口腔保健の推進は「歯科口腔保健の推進に関する法律」の目的である。

ポイント

<歯科衛生士法の目的>

歯科疾患の予防、口腔衛生の向上

(問題 32) 歯科技工士の業務はどれか。2つ選べ。

- a 咬合採得
- b 人工歯排列
- c 矯正装置の製作
- d 義歯着脱方法の指導

選択肢考察

答え b c

- × a 咬合採得は歯科技工士ではなく、歯科医師が行う。

歯科衛生士も行えない。

- b 歯科技工士は義歯の製作を行う。人工歯排列は歯科技工士の業務の1つである。
- c 歯科技工士は矯正装置の製作も行う。
- ×d 義歯の着脱方法や取扱いの指導は歯科技工士ではなく、歯科医師や歯科衛生士が行う。

ポイント

<歯科技工士法>

- ・歯科医師または歯科技工士でなければ歯科技工（補綴装置や矯正装置の製作）を行ってはならない。
- ・歯科技工士は歯科医師の指示書によって歯科技工を行う。
- ・印象採得、咬合採得、試適、装着などは歯科医師が行う。

(問題 33) 歯科衛生士の名称独占はどれか。1つ選べ。

- a 歯科保健指導
- b 小窩裂溝充填
- c 予防的薬物塗布
- d エックス線写真撮影

選択肢考察

答え a

- a 歯科保健指導は名称独占である。
- ×b、×c 歯科診療の補助（仮封・仮封の除去、貼葉、裏装、マトリックスの装着・除去、予防填塞、充填物の研磨、結紮線の除去など）、フッ化物歯面塗布、予防的歯石除去、予防的薬物塗布（フッ化ジアンミン銀など）は業務独占である。
- ×d エックス線の照射は歯科医師が行う。

ポイント

<歯科衛生士業務>

名称独占	歯科保健指導
業務独占	①歯科診療の補助 仮封・仮封の除去、貼葉、裏装、マトリックスの装着・除去、予防填塞、充填物の研磨、結紮線の除去 ②フッ化物歯面塗布 ③予防的歯石除去 ④予防的薬物塗布（フッ化ジアンミン銀など）

(問題 34) 血液検査時の採血で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 採血後は採血部位をよく揉む。
- b 脈血帯を緩めてから針を抜く。
- c 刺入予定部位より末梢側に脈血帯を巻く。
- d 刺入予定部位の周囲をアルコール綿で消毒する。

選択肢考察

答え b d

- ×a 採血後は採血部位を圧迫する。揉んではいけない。
- b 針を抜く際は、脈血帯を緩めておかないと出血してしまう。
- ×c 採血時は刺入予定部位より中極側（心臓側）に脈血帯を巻き、静脈を緊張させる。
- d 採血時は刺入予定部位の周囲をアルコール綿で消毒する。

ポイント

<採血時の注意点>

- ・刺入による創傷の感染や神経損傷に注意する。
- ・採血時は感染防止のため、針刺し事故に注意する。
- ・緊張や恐怖によりショックなどが起きる可能性を考慮する。

(問題 35) 電子体温計による体温測定時間が最も短いのはどれか。1つ選べ。

- a 腋窩温
- b 口腔温
- c 鼓膜温
- d 直腸温

選択肢考察

答え c

- ×a、×b、○c、×d 体温の測定時間は使用する体温計や部位などによって異なる。以前は水銀体温計が使用されていたが、近年は電子体温計を使用して予測値を短時間で測定できるようになった。電子体温計のなかで、耳孔用の電子体温計は1〜数秒で測定できるため、測定時間が最も短いのは耳孔における体温（鼓膜温）である。

ポイント

<体温の測定時間>

- ・水銀体温計：10分以上（実測値）
- ・電子体温計：1〜数分
- ・耳孔用電子体温計：1〜数秒

(問題 36) 白血病でみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 発熱
- b 血小板数の増加
- c 赤血球数の減少
- d 白血球数の減少

選択肢考察

答え a c

- a 白血病では感染症が生じやすく、発熱がみられやすい。
- ×b 白血病では血小板数の低下が生じるため、出血が生じやすい。
- c 白血病では赤血球数の減少が生じるため、貧血が生じやすい。
- ×d 白血病では白血球数の増加が生じる。

ポイント

<白血病の特徴>

- ・白血病細胞が出現することにより白血球数が増加する。
- ・赤血球数や血小板数の低下がみられる。
- ・発熱、動悸、倦怠感、貧血、出血、感染症などが生じやすい。

(問題 37) チェックバイトで測定するのはどれか。1つ選べ。

- a 顎路角
- b 咬合圧
- c 咀嚼能力
- d オーバーバイト

選択肢考察

答え a

- a 顎路角はチェックバイトで測定する。
- ×b 咬合圧は感圧フィルムや圧力センサーで測定する。
- ×c 咀嚼能力はグミゼリー咀嚼後のグルコース溶出量や篩分法で測定する。
- ×d オーバーバイトはノギスなどで測定する。

ポイント

<チェックバイト>

- シリコンバイト材やワックスバイト材、コア用石膏などを用いて採得した顎間関係の記録をチェックバイトという。
- チェックバイトは顎路角の測定や、模型の咬合器装着などに用いる。

(問題 38) 34歳の女性。下顎右側第一大臼歯の冷水痛を訴えて来院した。歯髄電気診に正常に反応を示す。6月にコンポジットレジン修復を行うこととした。感染象牙質除去後の口腔内写真（別冊午後No.4）を別に示す。処置に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 研磨用ストリップス
- b リング状リテーナー
- c アイボリーセパレーター
- d サービカルマトリックス

別冊 午後 No.4 写真

選択肢考察

答え a b



近心隣接面部のう蝕

- a 隣接面部の2級コンポジットレジン修復であり、研磨用ストリップスを用いて研磨を行う。
- b 2級コンポジットレジン修復であり、マトリックスを用いて修復するが、マトリックスの固定保持のためにリング状リテーナーやウェッジを用いる。
- ×c アイボリーセパレーターの前歯部の歯間離開に用いる。
- ×d サービカルマトリックスは歯頸部の修復に用いる。

ポイント

<マトリックス>

- 光重合型コンポジットレジン修復時のマトリックスには、透明ポリエステル製マトリックスが使用されるが、臼歯部では光透過性がないメタルマトリックスも使用される。

(問題 39) 光重合型ガラスアイオノマーセメントの特徴はどれか。2つ選べ。

- a フッ素徐放性がある。
- b 歯髄鎮静作用がある。
- c レジン成分が配合されている。
- d ラミネートベニア修復の接着に用いる。

選択肢考察

答え a c

- a 光重合型ガラスアイオノマーセメントはフッ素徐放性がある。
- ×b 歯髄鎮静作用があるのは酸化亜鉛ユーシノールセメントである。
- c 光重合型ガラスアイオノマーセメントは従来型と異なりレジン成分が配合されている。
- ×d ラミネートベニア修復の接着は接着性レジンセメントを用いる。

ポイント

<光重合型ガラスアイオノマーセメント>

- 従来型ガラスアイオノマーセメントにレジン成分や重合開始剤を添加したもので、感水性や物性が改良されている。

(問題 40) 有髄の根未完成歯で歯根の成長を目的として行うのはどれか。1つ選べ。

- a 麻酔抜髄
- b 感染根管治療
- c アペキシゲネーシス
- d アペキシフィケーション

選択肢考察

答え c

- ×a 麻酔抜髄を行うと根部歯髄が失われるため、歯根の成長は生じない。
- ×b 感染根管治療は歯髄が失活した歯髄壊死や歯髄壊疽、根尖性歯周炎に対する処置である。失活歯では歯根の成長は生じない。
- c アペキシゲネーシスは有髄の根未完成歯に対して、正常な歯根形成を目的として行われる。
- ×d アペキシフィケーションは無髄の根未完成歯に対して、根尖部の閉鎖を目的として行われる。

ポイント

<根未完成歯に対する処置と目的>

- ・アペキシゲネーシス：歯根の成長
- ・アペキシフィケーション：根尖部の閉鎖

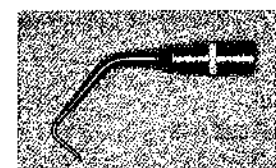
(問題 41) 43歳の女性。上顎左側第二小臼歯の咬合痛を主訴として来院した。根管治療を行っても症状が消失しないため、歯根尖切除と逆根管充填を行うこととした。処置に使用する器具の写真（別冊午後No.5）を別に示す。この器具の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 骨の削除
- b 窩洞の形成
- c 歯肉の剥離
- d 根尖部の切断

別冊 午後 No.5 写真

選択肢考察

答え b



超音波レトロチップ

- × a 骨の削除はパーを用いる。
- b 写真の器具は超音波レトロチップである。逆根管充填用の窩洞の形成に用いる。
- × c 歯肉の剥離は骨膜剥離子などを用いる。
- × d 根尖部の切断はパーを用いる。

ポイント

<逆根管充填>

- ・歯根尖切除を行った際に、根管充填が不十分な場合に併用することが多い。
- ・EBAセメントやMTAセメントなどが用いられる。

(問題 42) 40 歳の女性。下顎右側側切歯と犬歯の歯肉退縮を主訴として来院した。10 年前から下顎前歯部の歯肉退縮を自覚していたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.6)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側	3	2	2	2	2	2
歯種		3				2
頬側	3	2	2	2	2	2

*: 歯周ポケットの深さ (mm)

歯肉退縮の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 口呼吸
- b 象牙質知覚過敏症
- c 小帯の付着位置異常
- d 不適切な歯ブラシの使用

別冊 午後 No.6 写真

選択肢考察

答え d



歯肉退縮がみられる

- × a 口呼吸は堤状隆起や口呼吸線などがみられる。
- × b 象牙質知覚過敏症は歯肉退縮によって生じるが、象牙質知覚過敏症により歯肉退縮が生じるとは考えにくい。
- × c 小帯の付着位置異常は歯肉退縮の原因となるが、口腔内写真から小帯の付着位置異常は考えにくい。
- d 不適切な歯ブラシの使用は歯肉退縮の原因となる。下顎右側側切歯と犬歯に限局して歯肉が退縮しており、同部の不適切なブラッシング圧などが原因と考えられる。

ポイント

<歯肉退縮の原因>

- 歯周炎による歯槽骨吸収で生じることが多いが、以下のものも原因となる。
- ・矯正治療
- ・咬合性外傷
- ・小帯の付着位置異常
- ・不適切なブラッシング

(問題 43) 根分岐部病変を進行させるのはどれか。1つ選べ。

- a 棘突起
- b 中心結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

選択肢考察

答え c

- × a 棘突起は上顎前歯舌側に出現する。根分岐部病変を進行させるものではない。
- × b 中心結節は小臼歯咬合面に出現する。根分岐部病変を進行させるものではない。
- c エナメル突起はエナメル質が根分岐部側に伸びたものであり、下顎犬歯によくみられる。根分岐部病変を進行させるものである。
- × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯近心舌側咬頭舌側面に出現する。根分岐部病変を進行させるものではない。

ポイント

<エナメル突起>

エナメル突起部は歯肉との付着が弱い上皮性付着となるため、根分岐部病変が進行しやすい。ファルカプラスチックで除去することを考慮する。

(問題 44) 24 歳の女性。下顎右側第二小臼歯部の歯肉出血を主訴として来院した。6 か月前から自覚していたがそのままにしていたという。歯周基本治療後の再評価の結果、歯周外科治療を行うこととした。歯周基本治療後の口腔内写真(別冊午後 No.7A)とエックス線写真(別冊午後 No.7B)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側	4	4	7	5	3	4
歯種		5				4
頬側	4	4	5	5	4	4
動揺度**		1				0

*: 歯周ポケットの深さ (mm)

** : Miller の判定基準

次に行うと考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉切除術
- b 歯肉剥離掻爬術
- c 歯周組織再生療法
- d 歯肉結合組織移植術

別冊 午後 No.7 A,B 写真

選択肢考察

答え b c



十分な付着歯肉幅

垂直性骨吸収

- × a 歯肉切除術は歯肉増殖などによる歯肉ポケットや浅い骨縁上ポケットに適用する歯周外科治療である。

- b、○ c 歯肉剥離掻爬術は歯周基本治療後に 4mm 以上の歯周ポケットがあり、器具の到達性が困難な場合に行うものであり、本症例では適切な治療法である。なお、垂直性骨吸収を伴う深い歯周ポケットであるため、歯周組織再生療法の適用も考慮するとよい。
- × d 歯肉結合組織移植術は歯肉退縮などに適用する歯周形成手術である。

ポイント

<歯周組織再生療法>

- ・GTR法
- ・骨移植術
- ・増殖因子 (FGF-2) の応用
- ・エナメルマトリックスタンパク質の応用

(問題 45) 下顎無歯顎患者の口腔内写真(別冊午後 No.8)を別に示す。

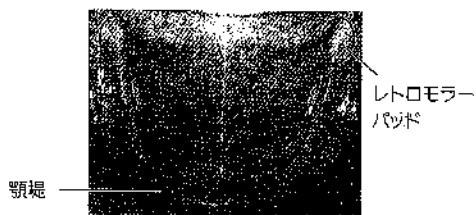
丸印で示す部位はどれか。1つ選べ。

- a 頬棚
- b 下顎隆起
- c ハミュラーノッチ
- d レトロモラーパッド

別冊 午後 No.8 写真

選択肢考察

答え d



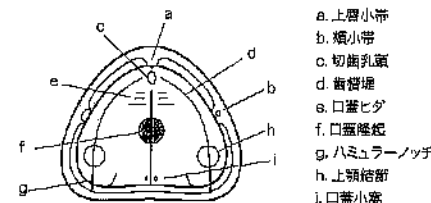
レトロモラーパッド

顎堤

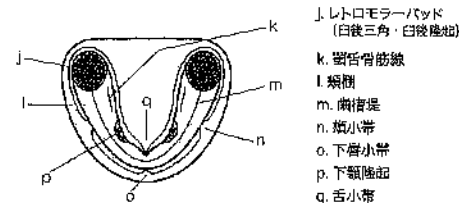
- × a 頬棚はレトロモラーパッド前縁、歯槽頂、外斜線、頬小帯に囲まれた部位で下顎の咬合圧負担域とされている。
- × b 下顎隆起は下顎小臼歯部の舌側歯槽部にみられる骨隆起で、義歯床が接触すると疼痛が生じやすい。
- × c 上顎結節後方にみられる半月状の凹みで、上顎義歯床後縁の設定の参考になる。
- d 丸印の部位はレトロモラーパッド(臼後三角、臼後隆起)である。仮想咬合平面、義歯床後縁、臼歯部人工歯の頬舌的排列位置の基準となる。

ポイント

<無歯顎の解剖>



- a. 上唇小帯
- b. 頬小帯
- c. 切歯乳頭
- d. 歯槽堤
- e. ロングヒゲ
- f. 口蓋隆起
- g. ハミュラーノッチ
- h. 上顎結節
- i. 口蓋小窩



- j. レトロモラーパッド(臼後三角、臼後隆起)
- k. 顎唇骨筋線
- l. 頬棚
- m. 歯槽堤
- n. 頬小帯
- o. 下唇小帯
- p. 下顎隆起
- q. 舌小帯

(問題 46) 部分床義歯の写真(別冊午後 No.9)を別に示す。

丸印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 食片圧入を防止する。
- b 義歯の破折を防止する。
- c 支台歯のう蝕を防止する。
- d 支台歯へ咬合圧を伝達する。

別冊 午後 No.9 写真

選択肢考察

答え a d



レスト

- a 丸印はクラスプのレストを示している。レストは支台歯と義歯床の間の食片圧入を防止する。
- × b レストには義歯の破折を防止する役割はない。義歯の破折防止のためには、レジン床の中に補強線を入れたり、レジン床ではなく金属床とすることなどが挙げられる。
- × c レストは支台歯のう蝕を防止するのではなく、レストシートを形成することにより歯冠外形を変化させるので、支台歯にプラークが付着しやすくなる。
- d レストはレストシートに接触することにより支台歯へ咬合圧を伝達する。

ポイント

<クラスプのレストの役割>

- ①支台歯へ咬合圧を伝達する。
- ②義歯の沈下を防止する。
- ③クラスプを定位置に保つ。
- ④食片圧入を防止する。
- ⑤咬合接触状態を改善する。

(問題 47) 38 歳の女性。上顎前歯部ブリッジを製作中である。補綴前処置中の口腔内写真(別冊午後 No.10)を別に示す。

製作予定のポンティック形態はどれか。1つ選べ。

- a 鞍状型
- b 離底型
- c オベイト型
- d リッジラップ型

別冊 午後 No.10 写真

選択肢考察

答え c

外科的処置



- × a 写真は欠損部顎堤粘膜に外科的処置を行っているところである。鞍状型、有床型は可撤性ブリッジのみに用いられるポンティック形態で、補綴前処置として外科的処置は不要である。
- × b 離底型は下顎臼歯部のみに用いられるポンティック形態で、補綴前処置として外科的処置は不要である。
- c オベイト型は欠損部顎堤粘膜に電気メス（あるいはサージカルパー）で半球状の凹みを形成しておき、ここに一致させて半球状の滑らかな凸面に製作するポンティックである。審美性を極端に重視した形態であるが、清掃性に劣る。審美性を重視しているので上顎前歯部に適したポンティック形態である。
- × d リッジラップ型は固定性ブリッジのポンティック形態である。審美性、装着感に優れるが、清掃性がやや不良である。補綴前処置として外科的処置は不要である。

ポイント

<上顎前歯部に用いられるポンティック形態>
偏側型、リッジラップ型、オベイト型、鞍状型、有床型、有根型

(問題 48) 模型上の装置の写真(別冊午後 No.11)を示す。

- インプラント治療で本装置を使用する目的はどれか。2つ選べ。
- a 下顎位の修正
- b 術後の出血量の減少
- c 術中の周囲組織の保護
- d インプラント埋入方向の確保

別冊 午後 No.11 写真

選択肢考察

答え cd



- × a 写真の装置はサージカルステントで、スプリントではない。下顎位の修正はスプリント療法のための1つである。
- × b 出血量の減少(=止血)を目的に使用するのは止血用シーネである。
- c 埋入ドリルはサージカルステントに設定したガイドの穴に挿入するので、周囲組織を保護できる。
- d インプラント体を適切な方向に埋入するガイドとして用いられる。そのため、サージカルガイドともよばれる。

ポイント

<サージカルステント(サージカルガイド)>

目的	①インプラント埋入時のガイド ②周囲組織の保護 ③エックス線撮影時およびCT撮影時のインプラント埋入位置の確認
材料	①透明レジンのみのタイプ ②インプラント埋入予定部の歯冠部すべてに造影剤が混入されたタイプ
製作	診断用ステントをもとに製作される。歯科医師はインプラント埋入時にどのようにサージカルガイドを使用するのか、その埋入術式を歯科技工士に伝える。歯科技工士はそれに応じて穴あけの位置や大きさを決定する。

(問題 49) 35歳の女性。下顎左側臼歯部の歯肉腫脹と疼痛を訴えて来院した。同部に波動が触知された。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

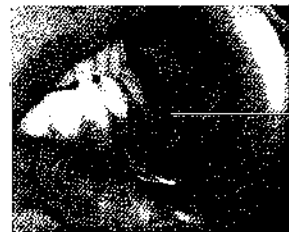
まず行う対応はどれか。2つ選べ。

- a 切開・排膿
- b 赤外線照射
- c 原因歯の抜去
- d 抗菌薬の投与

別冊 午後 No.12 写真

選択肢考察

答え ad



- a 下顎左側臼歯部歯肉の急性炎症と考えられる。波動が触知されるので、切開・排膿を行う。
- × b 赤外線照射は血行を促進するので、逆効果である。
- × c 急性炎症時における抜歯は禁忌である。
- d 抗菌薬を投与し、急性炎症の消退を図る。

ポイント

<消炎手術の術式>

- ①術野の消毒
- ②局所麻酔
- ③試験的穿刺：膿瘍腔の位置、内容液、大きさを確認する。
- ④口腔粘膜の切開
- ⑤排膿：骨膜起子または止血鉗子で膿瘍腔を開放。
- ⑥洗浄：ポビドンヨードまたは生理食塩液を使用する。
- ⑦ドレーン挿入
- ⑧ドレーン固定

(問題 50) 58歳の女性。口腔内の白色病変を主訴に来院した。頬粘膜の発赤および白斑はピンセットで剥がすことができた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。

治療薬として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a アシクロビル
- b ミコナゾール
- c カルバマゼピン
- d アムホテリシンB

別冊 午後 No.13 写真

選択肢考察

答え bd



- × a アシクロビルは単純疱疹、帯状疱疹の治療薬である。
- b、○ d 白斑はピンセットで剥がすことができたことからカンジダ症と考えられる。口腔カンジダ症は体力の低下した人やHIV感染者に発症する。原因は真菌による感染なので、治療薬としてはミコナゾール(イミダゾール)やアムホテリシンB(ポリエン系)が有効である。
- × c カルバマゼピンは三叉神経痛の治療薬である。

ポイント

<口腔カンジダ症の治療薬>

ミコナゾール(イミダゾール)、アムホテリシンB(ポリエン系)、ナスタチンなど

(問題 51) 器具の写真(別冊午後 No.14)を別に示す。

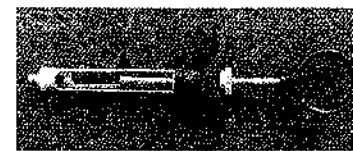
使用する注射針の太さはどれか。1つ選べ。

- a 27G
- b 30G
- c 31G
- d 33G

別冊 午後 No.14 写真

選択肢考察

答え a



- a 写真は伝達麻酔用の注射筒である。伝達麻酔では25G(ゲージ)や27Gの注射針を用いる。
- × b、× c、× d 30G、31G、33Gは浸潤麻酔用の注射針である。

ポイント

<下顎孔伝達麻酔の特徴>

- ①伝達麻酔には長さ30mm、太さ25Gや27Gの注射針を使用する。
- ②下顎前歯～大白歯、下唇、オトガイ部、舌前2/3など広範囲に奏功する。
- ③麻酔持続時間が長く、麻酔効果も大きい。
- ④血管内に局所麻酔薬を注入する危険性がある。
- ⑤内筒を引くことができる注射器を用いる。
- ⑥神経や血管を損傷する危険性がある。
- ⑦解剖学的知識と技術的熟練を必要とする。

(問題 52) 口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。

Angleの不正咬合の分類はどれか。1つ選べ。

- a I級
- b II級1類
- c II級2類
- d III級

別冊 午後 No.15 写真

選択肢考察

答え c



上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭より下顎の頬面溝が遠心に位置している

- × a、× b、○ c、× d 下顎の頬面溝が上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭より遠心に位置しており、上顎前歯が後退していることから、II級2類と判断される。

ポイント

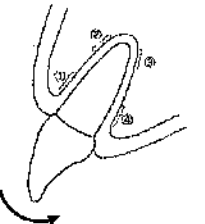
<Angleの分類>

上顎歯列を基準とし、上顎第一大臼歯の位置を正しいものとして分類するものである。上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭が下顎の頬面溝に位置するものを正常な近遠心的関係(Angle I級関係)とする。

(問題 53) 矯正力による歯の傾斜移動を図に示す。

矢印で示す歯の移動で歯槽骨吸収が生じる部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え bd

- × a、○ b、× c、○ d 図をみると、舌側に傾斜移動させていることがわかる。そのとき、図の①と③が牽引側、②と④は圧迫側となる。歯槽骨吸収が生じるのは圧迫側であるため、②と④が正しい。

ポイント

- <歯の移動時の骨吸収と骨添加>
- ・骨吸収：歯根膜の圧迫側で生じる
- ・骨添加：歯根膜の牽引側で生じる

(問題 54) 14 歳の女子。下顎の歯並びが悪いことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

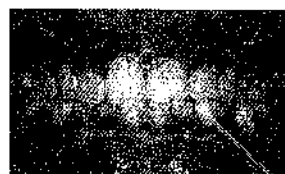
原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌突出癖
- b 母指吸引癖
- c 小帯の高位付着
- d 下顎乳犬歯の残存

別冊 午後 No.16 写真

選択肢考察

答え d



下顎左側乳犬歯が残存している



- × a 舌突出癖では、上下顎前突や開咬などが生じる。
- × b 母指吸引癖では、上顎前歯の唇側傾斜などが生じる。
- × c 小帯の高位付着では、正中離開などが生じる。
- d 下顎歯列は叢生を呈しているが、口腔内写真から下顎左側乳犬歯が残存しているため下顎歯の排列スペースが減少していると考えられる。

ポイント

- <乳歯の晩期残存>
- 生理的交換期に脱落しないと、不正咬合や後継永久歯の萌出障害の原因となる。

(問題 55) ある矯正装置を装着したときの口腔内写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

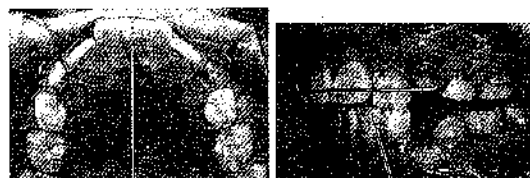
この装置はどれか。1つ選べ。

- a 拡大床
- b 咬合挙上板
- c バイオネーター
- d フレンケル装置

別冊 午後 No.17 写真

選択肢考察

答え b



平坦な面である 咬合が挙上されている

- × a 拡大床は拡大スクリーやスプリングワイヤーなどが存在する。
- b 前歯部に平坦な面があり、装着時にオーバーバイトが減少しているため咬合挙上板であると考えられる。
- × c バイオネーターは唇側線や舌側線、コフィンワイヤーなどが存在する。
- × d フレンケル装置はパッカルシールドやラビアルパッドなどが存在する。

ポイント

- <咬合挙上板>
- 前歯部の平坦な面が下顎前歯と接触するために上下顎白歯が離開するため、下顎白歯の挺出および下顎前歯の圧下が生じてオーバーバイトが減少する。

(問題 56) 2 歳児の歯科診療で適切な対応はどれか。

2つ選べ。

- a 母子分離を行う。
- b 治療は午後に行う。
- c 治療は短時間で行う。
- d ほめ言葉を多用する。

選択肢考察

答え c d

- × a 2 歳児では母子分離による不安が生じるため、母子分離を行うのは適切ではない。
- × b 小児の治療は患児の疲労が少ない午前に行うのがよい。
- c 小児は集中時間が短いため、短時間で治療を行うのがよい。
- d 治療への協力度を高めるため、ほめ言葉を多用するのがよい。

ポイント

- <小児の治療>
- 3 歳以上の小児ではコミュニケーションにより理解が得やすく、行動変容法を用いながら歯科治療を行うことができる。しかし、3 未満の低年齢児や知的障害などの障害児では、行動変容法が困難であり、歯科治療に強い拒否を示すことが多いため注意しなければならない。

(問題 57) 1 年前に下顎左側第二乳白歯を抜去し、保険装置を装着した患児の口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。

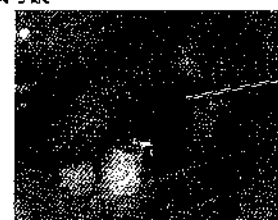
装着されているのはどれか。1つ選べ。

- a バンドループ
- b クラウンループ
- c リンガルアーチ
- d クラウンディスタルシュー

別冊 午後 No.18 写真

選択肢考察

答え d



クラウン遠心部のシューに沿って 6 が萌出してきている

- × a, × b バンドループやクラウンループは、第一乳白歯の欠損に対して第二乳白歯を支台歯として装着する装置で、バンドを利用したものをバンドループ、乳歯用既製金属冠を利用したものをクラウンループという。
- × c リンガルアーチは両側の第一大白歯にバンドを装着する装置である。
- d 第二乳白歯の欠損に対して第一乳白歯に乳歯用既製金属冠が装着されており、その遠心部にシューがあることから、クラウンディスタルシューである。

ポイント

- <クラウンディスタルシュー>
- 第一大白歯萌出前に第二乳白歯が欠損した症例に対して、第一乳白歯に装着する保険装置である。
- 第一大白歯が萌出してきたらクラウンループに変更するとよい。

(問題 58) 老化で値が大きくなるのはどれか。1つ選べ。

- a 耐糖能
- b 最小可聴閾値
- c 糸球体濾過率 (GFR)
- d 胸郭コンプライアンス

選択肢考察

答え b

- × a 加齢に伴いインスリンの分泌が減少するため、耐糖能は低下する。
- b 加齢に伴い感音性難聴がみられるため、最小可聴閾値の上昇(高周波帯域から)がみられる。
- × c 加齢に伴い腎機能が低下するため、糸球体濾過率 (GFR) は低下する。
- × d 加齢に伴い胸郭の弾性が低下するため、胸郭コンプライアンスは低下する。

ポイント

- ・外耳および中耳の機能低下による難聴を伝音性難聴という。
- ・内耳から聴神経の機能低下による難聴を感音性難聴という。

(問題 59) 機能的自立度評価表 (FIM) の評価項目はどれか。1つ選べ。

- a 外出をしている。
- b 買物をしている。
- c 歯磨きをしている。
- d 階段の昇り降りをしている。

選択肢考察

答え d

- × a, × b 外出や買物は IADL の評価項目である。
- × c 歯磨きは整容の項目に含まれるが、ADL の評価項目ではない。
- d 階段昇降は ADL の評価項目のため、機能的自立度評価表 (FIM) の評価項目である。

ポイント

- <ADL の評価項目>
- 食事、移乗(移動)、整容、トイレ、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便、排尿

(問題 60) サルコペニアとフレイルの診断基準で共通するのはどれか。2つ選べ。

- a 握力
- b 体重
- c 筋肉量
- d 歩行速度

選択肢考察

答え a d

- a, ○ d 握力や歩行速度はサルコペニアとフレイルの診断基準である。
- × b 体重はフレイルの診断基準ではあるが、サルコペニアの診断基準ではない。
- × c 筋肉量はサルコペニアの診断基準ではあるが、フレイルの診断基準ではない。

ポイント

- <サルコペニアの診断基準>
- ・握力
- ・歩行速度
- ・筋肉量
- <フレイルの診断基準>
- ・1 年の体重変化
- ・疲労感の増加
- ・筋力の低下(握力)
- ・歩行速度の低下
- ・生活活動量の低下

(問題 61) うつ病の症状に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 幻聴
- b 無価値観
- c シスキネジア
- d パニック症状

選択肢考察

答え b

- × a 幻聴は Lewy 小体型認知症などでみられるが、うつ病ではみられない。
- b 無価値観や罪責感とうつ病の症状に含まれる。
- × c シスキネジアは Parkinson 病などでみられるが、うつ病ではみられない。

×d パニック症状はうつ病ではみられない。

ポイント

<うつ病の診断基準>

- ・抑うつ気分
・興味・喜びの喪失
・不眠または過眠
・食欲減退・体重減少
・焦燥または制止
・疲労感・気力低下
・無価値観・罪責感
・希死念慮・自殺企図
・思考力低下・集中力低下・決断困難

(問題 62) 行動療法で不安軽減法はどれか。2つ選べ。

- a エクスポージャー
b オペラント条件づけ
c トークンエコノミー
d レスポネント条件づけ

選択肢考察

答え a d

- a エクスポージャーは不安軽減法である。
×b オペラント条件づけは行動形成法である。
×c トークンエコノミーは行動形成法である。
○d レスポネント条件づけは不安軽減法である。

ポイント

<行動療法>

- ・不安軽減法
レスポネント条件づけ、リラクゼーション、エクスポージャー(曝露法)
・行動形成法
オペラント条件づけ、トークンエコノミー、タイムアウト法、レスポンスコスト、シェイピング
・観察学習
モデリング

(問題 63) 歯肉の炎症を評価するのはどれか。1つ選べ。

- a AL
b BOP
c PCR
d PPD

選択肢考察

答え b

- ×a ALはアタッチメントレベルであり、歯周組織破壊の程度を把握するために測定する。歯肉の炎症を評価するものではない。
○b BOPはブローピング時の出血であり、歯肉の炎症を評価するものである。
×c PCRはプラークコントロールレコードであり、歯頸部のプラークの付着の有無を評価するものである。歯肉の炎症を評価するものではない。
×d PPDは歯周ポケット深さであり、不安定な歯肉辺縁の位置を基準にポケット底までの距離を測定する。歯周ポケットの深さで歯肉の炎症は評価しない。

ポイント

<BOP(ブリーディングオンブローピング)>
ブローピング時の出血であり、歯肉の炎症を把握す

る重要な指標である。
喫煙者では歯肉血流量が低下しており、BOPが生じにくいため注意する。

(問題 64) 歯面に形成されるバイオフィームの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 獲得被膜である。
b う蝕の原因となる。
c 洗口で除去できる。
d 有機成分の約70%は微生物である。

選択肢考察

答え b d

- ×a 獲得被膜はペリクルともいい、唾液由来の糖タンパクなどが歯面に付着されたものである。
○b 歯面に形成されるバイオフィームとはプラークのことであり、う蝕や歯肉炎の原因となる。
×c 歯面に形成されるバイオフィーム(プラーク)は洗口で除去できない。ブラッシングなどの機械的除去が必要である。
○d 歯面に形成されるバイオフィーム(プラーク)の有機成分の約70%は微生物である。

ポイント

<歯面に形成されるバイオフィーム(プラーク)>
バイオフィームとは、菌体外多糖で囲まれた複数の細菌が物体の表面に凝集・付着しているものをいう。したがって、プラークは歯面に形成されるバイオフィームである。

次の文を読み、(問題 65)、(問題 66)に答えよ。
22歳の女性。下顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.19)を別に示す。

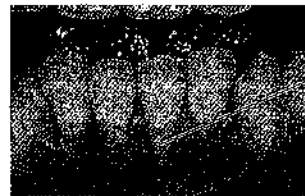
別冊 午後 No.19 写真

(問題 65) 観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 瘻孔
b クレフト
c エプーリス
d 付着歯肉幅の減少

選択肢考察

答え b d



歯肉が退縮している

- ×a 瘻孔はフィステルともいい、膿瘍からの排膿路である。写真では観察できない。
○b クレフトはV字やU字の歯肉退縮であり、下顎中切歯にクレフトがみられる。
×c エプーリスは歯肉に生じる腫瘍類似疾患である。写真では観察できない。
○d 歯肉退縮がみられ、付着歯肉幅の減少が観察できる。

(問題 66) 下顎前歯部で予測されるのはどれか。2つ選べ。

- a 擦過痛
b 自発痛
c 歯槽骨吸収
d 打診による金属音

選択肢考察

答え a c

- a 歯肉退縮により根面が露出しており、擦過痛が予測される。
×b 自発痛はう蝕による急性歯髄炎などでみられる。歯肉退縮で象牙質知覚過敏症に罹患していることは考えられるが、象牙質知覚過敏症で自発痛は生じない。
○c 歯肉退縮がみられるため、歯槽骨吸収が予測される。
×d 打診による金属音は歯根の骨性癒着でみられる。歯肉退縮が歯根の骨性癒着で生じるとはいえず、打診による金属音が生じるとは考えにくい。

ポイント

<歯肉退縮>
歯肉退縮で根面が露出している場合、アタッチメントロスが生じていると判断できる。また、歯肉退縮による根面露出は、象牙質知覚過敏症や審美障害などの原因となる。

(問題 67) 検査と使用器具の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺度 —— ピンセット
b 歯間離開度 —— セパレーター
c 付着歯肉幅 —— ノギス
d 修復物の適合 —— エキスプローラー

選択肢考察

答え a d

- a 歯の動揺度はピンセットで検査する。
×b 歯間離開度はコンタクトゲージで検査する。セパレーターは歯間分離に用いる。
×c 付着歯肉幅はプローブで検査する。ノギスは咬合高径の測定などに用いる。
○d 修復物の適合はエキスプローラーを用いて検査する。

ポイント

<歯の動揺度の測定>
・前歯部では、ピンセットで切縁をつまんで動かす。
・臼歯部では、ピンセットを閉じて先端を小窩に押し当てて動かす。

(問題 68) 頭頸部腫瘍に対する放射線治療により発症リスクが高まりやすいのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕
b 口腔乾燥
c エナメル上皮腫
d シェーグレン症候群

選択肢考察

答え a b

- a、○b 頭頸部腫瘍の放射線治療により唾液分泌障

害が生じると、う蝕や口腔乾燥の発症リスクが高まる。

- ×c エナメル上皮腫は歯原性良性腫瘍である。放射線治療で発症リスクが高まりやすいとはいえない。
×d シェーグレン症候群は自己免疫疾患である。放射線治療で発症リスクが高まりやすいとはいえない。

ポイント

<放射線治療後にみられやすい口腔内症状>

- ・骨髄炎、骨壊死
・口内炎、粘膜潰瘍、味覚障害
・唾液分泌障害による口腔乾燥、多発性う蝕

(問題 69) 48歳の男性。歯周治療終了後、3か月後のSPTで来院した。歯周組織検査の結果を図に示す。

歯周組織検査の結果を示す図(表)。歯1から歯16までの各歯について、出血(1/0)、歯肉退縮(1/0)、歯槽骨吸収(1/0)のスコアが記載されている。

○1:ブローピング時の出血
○0:ブローピング時の出血
○1:歯肉退縮
○0:歯肉退縮

検査後に行うのはどれか。2つ選べ。

- a SRP
b GTR
c PTC
d MGS

選択肢考察

答え a c

- a、○c SPTで来院した際に、ブローピング時の出血を伴わない4mmの歯周ポケットがみられる部位がある。SRPやPTCを行うとよい。
×b、×d GTRは歯周組織再生療法であり、MGSは歯周形成手術である。本症例は歯周治療終了後、3か月後のSPTで来院しており、検査結果から病状安定と考えられるため、検査後にGTRやMGSを行うとは考えられない。

ポイント

<SPTの目的>
・良好な歯周組織環境の維持
・新たな歯周病部位の早期発見
・病状安定部位を維持あるいは治癒させるための治療

(問題 70) ルートプレーニングで除去するのはどれか。1つ選べ。

- a 根面溝
b エナメル突起
c 歯肉縁上歯石
d 病的セメント質

選択肢考察

答え d

- ×a 根面溝はルートプレーニングで除去するものではない。
×b エナメル突起はルートプレーニングで除去するものではない。
×c 歯肉縁上歯石は歯肉縁上スケーリングで除去する。なお、歯肉縁下スケーリングで歯肉縁下歯石を除去したときは併せてルートプレーニングを行う。

○d ルートプレーニングは病的セメント質を除去し根面を滑沢化するものである。

ポイント

<ルートプレーニング>

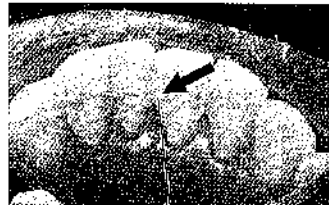
病的セメント質を除去し、歯根面を滑沢化することで、歯根面と歯肉との付着を獲得することを目的としている。

(問題 71) 25歳の男性。口腔清掃を希望して来院した。口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。矢印で示す付着物を評価する指標はどれか。1つ選べ。
a GI
b OHI
c PHP
d CPI-modified

別冊 午後 No.20 写真

選択肢考察

答え b



矢印で示す淡黄色の付着物は歯肉縁上歯石である。

- × a GI は歯肉炎の広がりや炎症の強さを視診などで評価する。歯石は評価しない。
- b OHI はプラークと歯石の付着・沈着面積を評価に用いている。矢印の付着物は、下顎前歯側に沈着した歯肉縁上歯石である。唾液腺開口部に近接した下顎前歯側には歯石が沈着しやすい。
- × c PHP はプラークを評価する。歯石は評価しない。
- × d CPI-modified は2013年にWHOが提唱した新しい地域歯周疾患指数であり、歯肉出血とポケットの深さを評価基準としている。以前用いられていたCPIでは歯石の沈着を評価対象としていたが、CPI-modifiedでは歯石は評価しない。

ポイント

<OHI>

- ・口腔衛生状態を評価する指標である。
- ・プラークと歯石の付着・沈着状態を評価できる。
- ・第三大臼歯を除く永久歯列で完全に萌出した歯が対象となる。
- ・なお、OHIを簡略化し代表歯で評価するものがOHI-Sである。

(問題 72) グレーシータイプキュレットのアフターファイブの特徴はどれか。2つ選べ。
a 断面が三角形を呈する。
b 深い歯周ポケットに適している。
c 刃部の長さが通常の1/2である。
d 第1シャンクが通常より3mm長い。

選択肢考察

答え b d

- × a 断面が三角形を呈するのはシクルタイプスクレーラーである。
- b アフターファイブは第1シャンクが長いので、深い歯周ポケットに適している。
- × c 刃部の長さが通常の1/2なのはミニファイブである。アフターファイブは通常(スタンダード)と同じである。
- d アフターファイブは第1シャンクが通常(スタンダード)より3mm長い。

ポイント

<アフターファイブ、ミニファイブの特徴>

- ・アフターファイブ：通常(スタンダード)より第1シャンクが3mm長い。
- ・ミニファイブ：通常(スタンダード)より第1シャンクが3mm長く、刃部の長さが1/2である。

(問題 73) グレーシータイプキュレットを用いて歯石除去を行うこととした。

フロントポジションでの適応部位はどれか。2つ選べ。

- a 下顎左側前歯部唇側近心
- b 下顎右側臼歯部頬側遠心
- c 上顎左側前歯部唇側遠心
- d 上顎右側臼歯部頬側近心

選択肢考察

答え a d

- a 下顎左側前歯部唇側近心はフロントポジションから行う。
- × b 下顎右側臼歯部頬側遠心はサイドポジションから行う。
- × c 上顎左側前歯部唇側遠心はバックポジションから行う。
- d 上顎右側臼歯部頬側近心はフロントポジションから行う。

ポイント

<スクレーリングのポジショニング>

- ・バックポジション(後方位)：11~1時の位置
- ・サイドポジション(側方位)：9時の位置
- ・フロントポジション(前方位)：8時の位置

(問題 74) PMTCに用いる器具の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

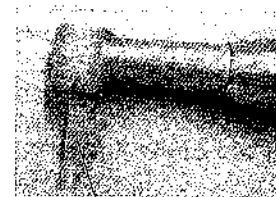
正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 回転運動で用いる。
- b 歯科衛生士が使用できる。
- c 咬合面の清掃に先立って用いる。
- d 歯間乳頭に触れないように用いる。

別冊 午後 No.21 写真

選択肢考察

答え b c



PMTC用ハンドピースにエバチップが装着されている。

- × a エバチップは前後の往復運動で用いる。
- b エバチップはPMTC用器具であり、歯科医師や歯科衛生士が使用する。
- c PMTCでは、一般的に患者自身の清掃困難な歯間部から行うのがよい。したがって、エバチップを用いてまず歯間部を清掃後、咬合面や頬舌側面を清掃する。
- × d エバチップを歯間部に挿入後、歯間乳頭が下がるようにチップを歯面に適合させて使用する。

ポイント

<PMTC>

- ・隣接面のプラーク除去：エバチップ(往復運動)
- ・頬舌側面や咬合面のプラーク除去：ラバーカップやポリッシングブラシ(回転運動)

(問題 75) う蝕活動性試験の目的で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕進行度の判定
- b 児童の一人平均う蝕数の算出
- c 歯科保健指導のモチベーション強化
- d 集団におけるリスク・スクリーニング

選択肢考察

答え c d

- × a う蝕進行度の判定は、う蝕活動性試験の目的ではない。
- × b 児童の一人平均う蝕数の算出は、う蝕活動性試験の目的ではない。
- c、○ d う蝕活動性試験を行う目的として、歯科保健指導のモチベーション強化や集団での歯科保健指導を行う際のリスク・スクリーニングのほか、リコール間隔の決定やう蝕予防プログラムの立案などが挙げられる。

ポイント

<う蝕活動性試験>

う蝕発病に関係する宿主因子や口腔環境因子を調べたものである。効果的なう蝕予防を行うために個人のもつう蝕発病因子を評価することを目的としている。

(問題 76) 6歳の女児。う蝕予防を希望して来院したため、OTC医薬品を用いたフッ化物の局所応用を指導した。フッ化物応用中の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。指導で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯磨き後に行う。
- b 下を向いて洗口する。
- c 応用後10分は飲食を避ける。
- d あらかじめ歯面を乾燥させる。

別冊 午後 No.22 写真

選択肢考察

答え a b



洗面所の前でコップを持っている。

- a フッ化物洗口を行う前に歯磨きをするよう指導する。
- b フッ化物洗口は下を向いた姿勢でブクブクがいで行う。
- × c フッ化物洗口後は30分程度飲食やうがいを避ける。
- × d フッ化物洗口では、あらかじめ歯面を乾燥させることはない。

ポイント

<OTC医薬品を用いたフッ化物洗口>

洗口用フッ化物は歯科医師の処方により交付を受けていたが、2015年から低濃度フッ化物洗口液がOTC化された。OTC医薬品のフッ化物洗口液は誰でも薬局で購入できるようになった。

(問題 77) 小窩裂溝充填法の適応部位で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 癒合歯の裂溝
- b 側切歯の盲孔
- c 中切歯の破折面
- d 側切歯の口蓋裂溝

選択肢考察

答え a b

- a 癒合歯の裂溝はう蝕に罹患しやすく、小窩裂溝充填法の適応部位である。
- b 側切歯の盲孔はう蝕に罹患しやすく、小窩裂溝充填法の適応部位である。
- × c 中切歯の破折面は修復処置を行うとよい。小窩裂溝充填法の適応部位ではない。
- × d 側切歯の口蓋裂溝は口蓋側歯根面にみられる溝であり、裂溝に沿って深い歯周ポケットが形成されやすい。小窩裂溝充填法の適応ではない。

ポイント

<小窩裂溝充填法>

- ・萌出後間もない乳歯や永久歯の健全歯の以下のような部位に適用する。
- ・癒合歯の裂溝
- ・臼歯頬側面の小窩
- ・臼歯咬合面の小窩裂溝
- ・上顎側切歯口蓋面の盲孔

(問題 78) 重度認知症の高齢者の医療面接で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 幼児言葉で話す。
- b 正面から話しかける。
- c 作話があれば指摘する。
- d 表情やしぐさに注意を払う。

選択肢考察 答え b d

- × a 重度認知症の高齢者に対して幼児言葉で話す必要はない。
- b 重度認知症の高齢者に対しては正面から話しかける。
- × c 重度認知症の高齢者は作話をするが、作話を指摘することでパニックを起こすことがあるため、作話は指摘しない。
- d 重度認知症の高齢者に対しては表情やしぐさに注意を払う必要がある。

ポイント

- <認知症の物忘れ>
- ・ 自覚に乏しい。
 - ・ 体験の全体を忘れる。
 - ・ ヒントがあっても思い出せない。
 - ・ 見当識障害がみられる。
 - ・ 物盗られ妄想がみられる。
 - ・ しばしば作話をする。
 - ・ 記憶力障害とともに想起障害がみられる。

(問題 79) ヘルスプロモーションの取組みで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 医療保険制度の導入
- b ウォーキングコースの整備
- c 予防接種による免疫の付与
- d 地域での健康増進活動の強化

選択肢考察 答え b d

- × a 必要な医療サービスを受けられるように保障する制度であり、ヘルスプロモーションには含まれない。
- b ウォーキングコースの整備など健康を支援する環境を整備することはヘルスプロモーションの取組みである。
- × c 予防接種による特異的予防は一次予防に該当し、ヘルスプロモーションには含まれない。
- d 地域での健康増進活動の強化はヘルスプロモーション活動の一環である。

ポイント

- <ヘルスプロモーションを実現するための5項目>
1. 公共の健康政策を整備する
 2. 健康を支援する環境を整備する
 3. 地域での健康増進活動を強化する
 4. 健康管理に対する個人の意識や技術・能力を向上させる
 5. 健康サービスのあり方を見直す

(問題 80) 79歳の女性。歯科訪問診療の依頼を受けた。介護支援専門員からの情報提供によると、60歳代より慢性関節リウマチを発症しており、洗濯や食事の準備が困難になっているという。

この生活動作に関する情報から留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 移乗
- b トイレ
- c 家計管理
- d ベッドメイキング

選択肢考察 答え c d

- × a、× b 洗濯や食事の準備は IADL (手段的日常生活動作) の評価項目である。移乗やトイレは ADL (日常生活動作) の項目の1つであり、IADL (手段的日常生活動作) の項目には含まれていない。
- c 家計管理は IADL (手段的日常生活動作) の項目の1つのため留意すべきである。
- d IADL (手段的日常生活動作) の項目の1つに家屋維持があり、家屋維持ではベッドメイキング程度の軽い作業を行えるかを評価するため留意すべきである。

ポイント

- < IADL (手段的日常生活動作) >
- 電話の使用、買物、食事の準備、家屋維持、洗濯、外出時の移動、服薬、家計管理の8項目で構成されている。

(問題 81) 離乳中期の幼児への食事指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 穀類は軟飯を用いる。
- b 1日2回食を定着させる。
- c 食品の種類を増やしていく。
- d 調理形態は歯ぐきでつぶせる固さにする。

選択肢考察 答え b c

- × a 穀類に軟飯を用いるのは離乳後期からである。
- b 離乳中期から1日2回食を定着させる。
- c 離乳中期から食品の種類を増やしていく。
- × d 離乳後期から調理形態は歯ぐきでつぶせる固さにする。

ポイント

- <離乳中期の幼児への食事指導>
- ・ 1日2回食を定着させる。
 - ・ 食品の種類を増やしていく。
 - ・ 穀類は全がゆを用いる。
 - ・ 調理形態は舌でつぶせる固さにする。

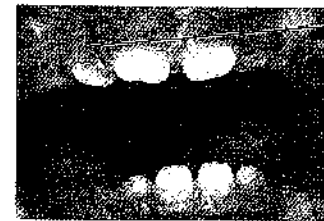
(問題 82) 1歳の女児。上顎乳前歯部の歯肉の腫れを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.23)を別示す。

口腔清掃指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 寝かせ磨き
- b 歯磨剤の使用
- c ガーゼによる清拭
- d 歯間ブラシの使用

別冊 午後 No.23 写真

選択肢考察 答え a c



若干の歯肉腫脹

- a 1歳児のため、寝かせ磨きを指導する。
- × b 1歳児に対して歯磨剤の使用を指導する必要はない。
- c 1歳児であり、萌出途上の乳歯がみられるため、歯肉を傷つけないようガーゼによる清拭を指導する。
- × d 1歳児に対して歯間ブラシの使用を指導する必要はない。

ポイント

1歳児に対しては寝かせ磨きが基本となる。口腔清掃指導では、まずガーゼによる清拭を行い、慣れてきたら染め出し液と歯ブラシの使用を指導する。

(問題 83) 40歳の男性。補綴治療を希望して来院した。

問診の結果、喫煙者であり禁煙には関心がないという。禁煙ステージとしてこの期の指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 加熱式タバコに変更する。
- b 禁煙補助薬の使用を勧める。
- c ニコチン依存は疾病であることを説明する。
- d 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言する。

選択肢考察 答え c

- × a 加熱式タバコといえどもタバコのため、変更しても禁煙指導とはならない。
- × b 禁煙補助薬の使用を勧めるのは実行期の指導である。
- c 喫煙者であり禁煙には関心がないため無関心期と考えられる。ニコチン依存は疾病であることを説明するのは無関心期の指導である。
- × d 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言するのは実行期の指導である。

ポイント

- <行動変容の5つのステージ>
1. 無関心期
 2. 関心期
 3. 準備期

- 4. 実行期
- 5. 維持期

(問題 84) 82歳の男性。口腔ケアを希望して来院した。全部床義歯を使用しており、ペースメーカーを装着している。

口腔内の清掃に使用できるのはどれか。2つ選べ。

- a 舌ブラシ
- b 義歯ブラシ
- c 音波歯ブラシ
- d スポンジブラシ

選択肢考察 答え a d

- a 舌苔の清掃に舌ブラシは使用可能である。
- × b 全部床義歯を使用しているため、義歯清掃に義歯ブラシを使用するのは適切であるが、義歯ブラシは口腔内の清掃に使用するものではない。
- × c ペースメーカーを装着している患者に対して音波歯ブラシや超音波スクレーラーの使用は避けるべきである。
- d 口腔粘膜の清掃にスポンジブラシは使用可能である。

ポイント

ペースメーカーを装着している患者の口腔ケアでは、ペースメーカーの誤作動を招く可能性があるため、音波歯ブラシや超音波スクレーラーの使用は避けるべきである。

(問題 85) 脳梗塞による右側片麻痺で寝たきり状態の患者に ① を ② にした ③ 位で口腔のケアを行う。

に入る語句の組合せで適切なのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|-----|----|----|
| ① | ② | ③ |
| a 右 | 上 | 側臥 |
| b 右 | 下 | 側臥 |
| c 頭 | 前屈 | 仰臥 |
| d 頭 | 後屈 | 仰臥 |

選択肢考察 答え a

- a、× b 脳梗塞により右側片麻痺で寝たきり状態の患者のため、右を上(健側を下)にした側臥位で口腔のケアを行うことが適切である。
- × c、× d 仰臥位では誤嚥する危険性が高まる。

ポイント

片麻痺患者に対する口腔ケアでは誤嚥を防止するために、麻痺側を上(健側を下)にした側臥位で行う。

(問題 86) 食品に表示されているマークを示す。えん下困難者用食品に表示されているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

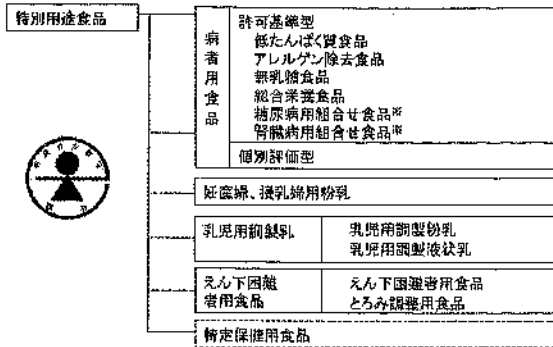


選択肢考察 答え c

- × a ①は条件付き特定保健用食品の表示である。
- × b ②は特定保健用食品の表示である。
- c ③は特別用途食品の表示である。えん下困難者用食品は特別用途食品である。
- × d ④は HACCP の表示である。Hazard Analysis and Critical Control Point (HACCP) とは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因 (ハザード) を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至るすべての工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるためにとくに重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法である。

ポイント

<特別用途食品>



(問題 87) 母乳栄養で欠乏のリスクがあるのはどれか。1つ選べ。

- a ビタミン A
- b ビタミン C
- c ビタミン E
- d ビタミン K

- 選択肢考察** 答え d
- × a ビタミン A の欠乏症は夜盲症や皮膚・粘膜の角化、骨粗鬆症、成長遅延であるが、母乳栄養で欠乏のリスクはない。
 - × b ビタミン C の欠乏症は壊血病であるが、母乳栄養で欠乏のリスクはない。
 - × c ビタミン E は多くの食物に含まれ、欠乏症はほとんどみられないため、母乳栄養で欠乏のリスクはない。
 - d 母乳はビタミン K の含有量が少ない。また、新生児はビタミン K を産生する腸内細菌が少ないことから、ビタミン K の欠乏を起こしやすいため、ビタミン K は母乳栄養で欠乏のリスクがある。

ポイント

- <母乳の特徴>
- ・新生児の免疫能を高める。
 - ・アレルギーの心配が少ない。
 - ・腎臓への負担が少ない。
 - ・ビタミン K が少ない (出血傾向がみられる)。
 - ・黄疸が遷延しやすい (母乳性黄疸)。
 - ・貧血になりやすい (ミネラルが少ない)。

(問題 88) 咀嚼能力検査で粉碎能力の判定に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 生米
- b グミゼリー
- c ピーナッツ
- d 色変わりガム

- 選択肢考察** 答え a c
- a、○ c 生米やピーナッツは粉碎能力を判定するために用いられる咀嚼試料である。
 - × b、× d グミゼリーや色変わりガムは咬断 (切断) 能力を判定するために用いられる咀嚼試料である。

ポイント

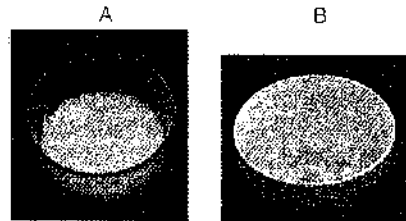
- <咀嚼能力検査>
- ・咀嚼試料の粉碎粒子の分布状態から判定する方法
 - ・咀嚼試料の内容物の溶出量から判定する方法
 - ・咀嚼試料の穿孔状態から判定する方法
 - ・咀嚼能率判定表から判定する方法

(問題 89) 85 歳の男性。食事のむせを主訴として来院した。ミールラウンドで使用した食品の写真 (別冊午後 No.24A、B) を別に示す。A の食品よりも B の食品の食事中にむせが認められた。適切な検査はどれか。2つ選べ。

- a 頸部聴診法
- b 改訂水飲みテスト
- c プローイング検査
- d ポリソムノグラフィー

別冊 午後 No.24 A、B 写真

選択肢考察 答え a b



ヨーグルト 豆腐の入ったコンソメスープ

- a 食事のむせを主訴としており誤嚥が疑われる。ヨーグルトよりもコンソメスープでむせが認められることから誤嚥が疑われるため、摂食嚥下障害に対するスクリーニング検査を行うべきである。頸部聴診法は、安静時の呼吸音、嚥下後の呼吸音、嚥下した時の嚥下音を頸部から聴診し、摂食嚥下障害の有無を判定するスクリーニング検査である。
- b 改訂水飲みテスト (MWST) は摂食嚥下障害のスクリーニング検査である。
- × c プローイング検査はプローイング時の鼻漏出の程度を評価する検査である。鼻咽腔閉鎖機能を評価する。
- × d ポリソムノグラフィーは睡眠時無呼吸症候群を評価する検査である。

ポイント

- <摂食嚥下障害のスクリーニング検査>
- ・反復唾液嚥下テスト (RSST)
 - ・改訂水飲みテスト (MWST)
 - ・段階的フードテスト (FT)
 - ・咳テスト
 - ・頸部聴診法

(問題 90) 摂食・嚥下障害患者に対する代償的アプローチはどれか。1つ選べ。

- a 家屋改造
- b 間接訓練
- c 利き手交換
- d 嚥下機能改善

- 選択肢考察** 答え c
- × a 家屋改造は環境改善のアプローチである。
 - × b、× d 間接訓練や嚥下機能改善は治療的アプローチである。
 - c 利き手交換は代償的アプローチである。

ポイント

- <摂食・嚥下障害患者に対する代償的アプローチ>
- ・食物形態の選択
 - ・利き手交換
 - ・食具の改良 など

(問題 91) 69 歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。水の入ったコップとストローを使用した間接訓練の写真 (別冊午後 No.25) を別に示す。この訓練の目的はどれか。1つ選べ。

- a 咬合力の増強
- b 嚥下反射の惹起
- c 声門閉鎖機能の強化
- d 鼻咽腔閉鎖機能の強化

別冊 午後 No.25 写真

選択肢考察 答え d



プローイング

- × a プローイングにより咬合力は増強しない。
- × b 嚥下反射の惹起は嚥下促進訓練の目的である。
- × c 声門閉鎖機能の強化は声門閉鎖訓練の目的である。
- d 写真で行っている摂食嚥下障害に対する間接訓練はプローイングで、呼吸訓練である。吹く動作 (口腔気流) により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経や筋群の機能を改善させる訓練のため、鼻咽腔閉鎖機能が強化される。

ポイント

- ソフトブローイングは気管内圧を上昇させ、気道の虚脱を防ぐ効果や呼吸持続時間を延長させる。

(問題 92) 認知期に障害がある摂食・嚥下障害患者を行う直接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 交互嚥下
- b 嚥下の意識化
- c 味覚刺激嚥下
- d ペーシング訓練

- 選択肢考察** 答え c d
- × a 交互嚥下は嚥頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
 - × b 嚥下の意識化は口腔期や咽頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
 - c 味覚刺激嚥下は認知期や準備期、口腔期、咽頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
 - d ペーシング訓練は認知期や準備期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。

ポイント

- <認知期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練>
- ・一口量の調整
 - ・ペーシング訓練
 - ・捕食訓練
 - ・咀嚼訓練
 - ・味覚刺激嚥下

(問題 93) 栄養支援チーム (NST) について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 職種別に記録を作成する。
- b 管理栄養士を指示体制の長とする。
- c 原疾患の合併症予防を目的に含む。
- d 参加者は医療従事者に限定される。

- 選択肢考察** 答え c
- × a 栄養支援チーム (NST) では職種別に記録を作成する必要はない。
 - × b 栄養支援チーム (NST) では管理栄養士を指示体制の長とする必要はない。
 - c 栄養支援チーム (NST) は原疾患の合併症予防や栄養状態を改善させ、必要に応じて経口摂取への円滑な移行を促進することが目的である。
 - × d 栄養支援チーム (NST) は患者やその家族もチームの一員となるため、参加者は医療従事者に限定されない。

ポイント

- <栄養支援チーム (NST) >
- 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士などの専門職がチームを構成する。歯科医師が参加すべきチーム医療としては、人工呼吸器離脱のための呼吸ケアにかかわる呼吸ケアチーム、緩和チーム、摂食嚥下サポートチームなどがある。

〔問題 94〕 病院の臨床機能評価指標〈クリニカルインデ
キータ〉について正しいのはどれか。1つ選べ。
a 5年に一度更新される。
b 患者満足度が含まれる。
c 医療法に規定されている。
d 疾病の重症度を示す指標である。

選択肢考察 答え b

- × a 更新の必要はない。
- b 臨床機能評価指標には患者満足度が含まれる。
- × c 法律に規定されているものではない。
- × d 臨床機能評価指標は医療の質に関する指標であり、疾患の重症度とは関係ない。

ポイント

- <患者満足度>
- ・医師や職員の医療技術
 - ・コミュニケーションや態度
 - ・待ち時間の長さ
 - ・施設の構造や設備 など

〔問題 95〕 地域保健活動におけるPDCAサイクルの「A」
に該当するのはどれか。1つ選べ。
a 調査
b 評価
c 実施
d 改善

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c、○ d 地域保健活動の進め方には「計
画(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Act)」
のサイクルを順に実施することが有効である。

ポイント

地域保健活動では、まず調査を行うことで問題点を発
見し、その原因を分析して計画を立案し、その計画の実
施後に保健活動を評価する。

〔問題 96〕 視覚障害者の誘導方法で正しいのはどれか。
2つ選べ。
a 誘導者の肘を握ってもらう。
b 誘導者が患者の半歩後ろを歩く。
c 杖を持った手を引いて誘導する。
d 杖を持たない腕が90度になるようにする。

選択肢考察 答え a d

- a、× b 誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに
位置し、杖をもっていない手で誘導者の肘を握って
もらう。
- × c 杖を持った手を引いて誘導するとかえって危な
い。反対側の手を引いて誘導する。
- d 患者の杖を持っていない腕が90度になるように
する。

ポイント

- <視覚障害者の誘導方法>
- ①常に声をかけるようにする。
 - ②誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、

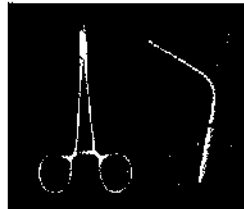
- 肘を握ってもらう。
③患者の杖を持っていない腕が90度になるようにす
る。
④患者の身長が高いときには、誘導者の肩に手を置き
てもらう。
⑤通路が狭いときは、誘導者は患者の1歩前方に位置
し左腕を後ろに回し患者に狭い場所であることを伝
える。

〔問題 97〕 使用後の器具の写真(別冊午後No.26)を
別に示す。

- この器具の感染リスクレベルはどれか。1つ選べ。
a 高リスク
b 中間リスク
c 低リスク
d 最小リスク

別冊 午後 No.26 写真

選択肢考察 答え a



持針器 外科用バキュームチップ

- a 写真は持針器、外科用バキュームチップである。
高リスクに属するのは、直接体内に接触・導入され
る、血液が付着する器具である。持針器も外科用バ
キュームチップも血液が付着するので、高リスクに
該当する。
- × b 中間リスクに属するのは、粘膜に接する器具、易
感染者用の器具、体液・病原体に汚染された器具で
ある。使用後の印象用トレーや支台歯形成時に使用
したバキュームチップは血液が付着しないので、中
間リスクレベルである。
- × c 低リスクに属するのは、健常皮膚に接するもの
である。
- × d 最小リスクに属するのは、皮膚に直接触れないも
のである。

ポイント
<感染リスクレベル>

	内容	消毒レベル	例
高リスク	直接体内に接触・導入さ れる器具	滅菌	手術器具、注射針、 スケーラー 血液が付着したもの
中間 リスク	粘膜に接する器具、 易感染者用の器具、 体液・病原体に汚染され た器具	消毒	印象用トレー、 バキュームチップ、 保存修復用、補綴用器具 など
低リスク	健常皮膚に接するもの	洗浄・乾燥	ユニット、チェアー、 血圧計、トイレ便座、 洗面台、ドアノブ
最小 リスク	皮膚に直接触れないもの	洗浄・乾燥	床、壁、天井

〔問題 98〕 器具と受け渡し法の組合せで正しいのはどれ
か。2つ選べ。
a 挺子 ―――― ベングリップ
b 破骨鉗子 ―――― パームグリップ
c 歯科用鋭匙 ―――― ベングリップ
d マチュー型持針器 ―――― ベングリップ

選択肢考察 答え b c

- × a 挺子(エレベーター)はパームグリップ(掌握状
の手)で把持できるように手渡す。
- b 破骨鉗子はパームグリップで把持できるように手
渡す。
- c 鋭匙はベングリップ(執筆状の手)で把持できる
ように手渡す。
- × d マチュー型持針器はパームグリップで把持できる
ように手渡す。

ポイント

- <器具の手渡しの注意事項>
- ①デンタルミラー、鋭匙、ピンセットはベングリップ
(執筆状の手)に渡す。
 - ②抜歯鉗子、エレベーター(挺子)はパームグリップ
(掌握状の手)に渡す。
 - ③歯肉ハサミはハサミ持ち状の手に渡す。
 - ④リーマーはつまみ状の手に渡す。
 - ⑤患者の顔面前方あるいは頭部後方で手渡す。
 - ⑥手渡すタイミングに気を配る。
 - ⑦術者の把持を確認して手放す必要がある。
 - ⑧どここの部位の治療かを考えて器具を渡す。

〔問題 99〕 硬質石膏 100g の練和に適した水の量はどれ
か。1つ選べ。
a 約 10 mL
b 約 25 mL
c 約 50 mL
d 約 100 mL

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d 硬質石膏の混水比は約 0.25
なので、 $100 \times 0.25 = 25$ である。

ポイント

<歯科用石膏>

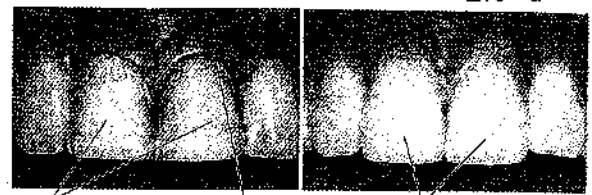
		混水比	膨張率
普通石膏	β-半水石膏	0.5	0.2~0.5%
硬石膏	α-半水石膏	0.23~0.3	0.1~0.2%
超硬石膏	α-半水石膏	0.2~0.25	0.1%以下

〔問題 100〕 処置前と処置後の口腔内写真(別冊午後 No.
27)を別に示す。

- この処置で使用するのはどれか。1つ選べ。
a 接着性レジンセメント
b グラスアイオノマーセメント
c 酸化亜鉛ユーージノールセメント
d ポリカルボキシレートセメント

別冊 午後 No.27 写真

選択肢考察 答え a



支台歯形成 歯肉圧排糸 ラミネートベニアで修復

- a、× b、× c、× d 写真はポーセレンラミネー
トベニア修復を行っている症例である。前歯のエナ
メル質をわずかに削り、ポーセレンやレジンで作製
したシェル(貝殻)状のラミネートベニアを接着性
レジンセメントで接着して修復する方法である。

ポイント

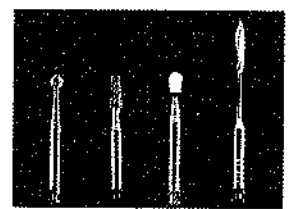
- <ポーセレンラミネートベニア修復>
- ①歯質の削除量は少ない。
 - ②歯髄刺激がない。
 - ③前歯部の生活歯に適用される。
 - ④エナメル質を酸処理(エッチング)する→接着性レ
ジンセメントと歯質との接着力を増強させる。
 - ⑤ラミネートベニアを接着性レジンセメントで接着す
る。
 - ⑥審美性に優れる。
 - ⑦エナメル質形成不全歯、変色歯、着色歯に適用す
る。
 - ⑧切端咬合、過蓋咬合における下顎前歯切端の修復は
禁忌である。
 - ⑨ブラキシズムのある患者には禁忌である。

〔問題 101〕 器具の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。
器具の用途で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① ――― 軟化象牙質の除去
- b ② ――― 全部金属冠の除去
- c ③ ――― コンポジットレジンの除去
- d ④ ――― 根管充填材の除去

別冊 午後 No.28 写真

選択肢考察 答え a d



- a ①はラウンドバーで、用途は軟化象牙質の除去、
う窩の開拓、髄腔穿孔である。
- × b ②はテーパードフィッシャーバーで、用途はイン
レー窩洞の形成、修正である。
- × c ③はホワイトポイントで、用途はコンポジットレ
ジンの形態修正、研磨、咬合調整である。
- d ④はピーソーリーマーで、用途は根管拡大、根管
充填材や糊剤の除去である。

ポイント

<切削・研磨器具とその用途>

- ・ダイヤモンドポイント：窩洞形成
- ・ラウンドバー：う窩の開拡、軟化象牙質の除去、髄腔穿孔
- ・ホワイトポイント：コンポジットレジン研磨
- ・ピースリーマー：根管拡大、根管充填材や糊剤の除去、根管内異物除去
- ・根管形成バー：根管形成
- ・カーボランダムポイント：窩縁斜面の形成
- ・シリコンポイント：補綴物の研磨

(問題 102) ウォーキングブリーチ法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a カスタムトレーを作製する。
- b 30%過酸化水素水を用いる。
- c 10~20%過酸化尿素を用いる。
- d 歯肉を保護するためにラバーダム防湿を行う。

選択肢考察

答え b d

- × a カスタムトレーを作製するのはホームブリーチ法である。
- b 漂白剤には30%過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを用いる。
- × c 10~20%過酸化尿素を用いるのはホームブリーチ法である。
- d 歯肉を保護するためにラバーダム防湿して漂白する。

ポイント

<ウォーキングブリーチ法の術式>

- ①エックス線写真にて根管充填の状態を確認(根管充填不良の場合は感染根管治療を開始する)
- ②ラバーダム防湿
- ③歯冠部の根管充填材の除去、セメント裏層
- ④30%過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムの練和、貼付
- ⑤綿球の挿入、セメント仮封
- ⑥1週間後の同様の操作を行う。(これを3~4回繰り返す)

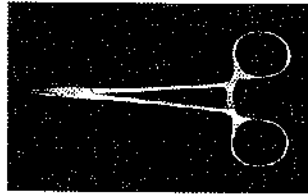
(問題 103) 写真(別冊午後 No.29)を別に示す。この器具の名称はどれか。1つ選べ。

- a ペアン
- b マチュー
- c ヘガール
- d モスキート

別冊 午後 No.29 写真

選択肢考察

答え c



ヘガール型の持針器

- × a ペアンは止血鉗子の1つである。
- × b マチュー型は持針器の1つである。
- c 写真はヘガール型で、持針器の1つである。
- × d モスキートは止血鉗子の1つである。

ポイント

<持針器>

- ・マチュー型とヘガール型がある。
- ・縫合針の把持と縫合のために用いる。

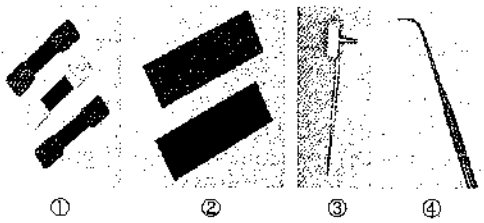
(問題 104) 40歳の女性。下顎右側第二大臼歯の補綴処置を希望して来院した。全部金属冠を製作することになった。合着時に使用する用具の写真(別冊午後 No.30)を別に示す。

- 最初に使用するのはどれか。1つ選べ。
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.30 写真

選択肢考察

答え a



- a、× b、× c、× d まず、コンタクトゲージ(①)を用いてコンタクトポイントを調整する。次に冠が適合しているか探針(④)でチェックする。そして咬合紙(②)とカーボランダムポイントを用いて咬合調整を行う。シリコンポイントで研磨後、クラウンセッター(③)を用いて冠を装着する。
- ①→④→②→③の順に使用する。

ポイント

<クラウンの口腔内試適>

- ・隣在歯接触点の調整(コンタクトゲージ)
- ・適合精度の確認(シリコン適合試験材、探針)
- ・中心咬合位における咬合接触の調整(咬合紙、カーボランダムポイント)
- ・側方運動における咬合接触の調整(咬合紙、カーボランダムポイント)
- ・研磨(シリコンポイント)
- ・装着(セメント、セメント充填器、クラウンセッター)

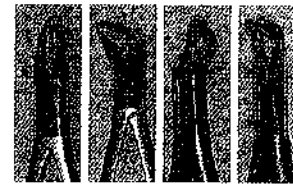
(問題 105) 抜歯鉗子の写真(別冊午後 No.31)を別に示す。

- 上顎大白歯の抜歯時に用いるのはどれか。1つ選べ。
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.31 写真

選択肢考察

答え c



① ② ③ ④

- × a ①は上顎前歯用の抜歯鉗子である。
- × b ②は下顎前歯用の抜歯鉗子である。
- c ③は上顎大白歯用の抜歯鉗子である。
- × d ④は下顎大白歯用の抜歯鉗子である。

ポイント

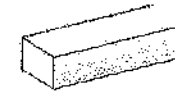
<抜歯鉗子の種類>

- ・上顎前歯用
- ・上顎大白歯用
- ・下顎前歯用
- ・下顎大白歯用
- ・上下顎小臼歯用
- ・残根用

(問題 106) マルチブラケット法で用いるアーチワイヤーの図と器具の写真(別冊午後 No.32)を別に示す。このワイヤーを屈曲するために用いるのはどれか。

2つ選べ。

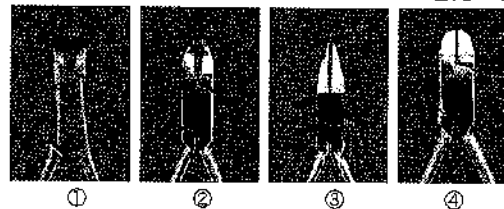
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



別冊 午後 No.32 写真

選択肢考察

答え c d



- × a ①はディスタルエンドカッターである。口腔内でのアーチワイヤーの切断に用いる。
- × b ②はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー、ロックピンなどの細いワイヤーの切断に用いる。
- c ③はツイードループベンディングブライヤーである。角線(レクトアンギュラーワイヤー)にループを付与するのに用いる。
- d ④はツイードアーチベンディングブライヤーである。角線(レクトアンギュラーワイヤー)の屈曲、アーチワイヤーの屈曲に用いる。

ポイント

<ツイードアーチベンディングブライヤー>

- 角線(レクトアンギュラーワイヤー)の屈曲に用いる。

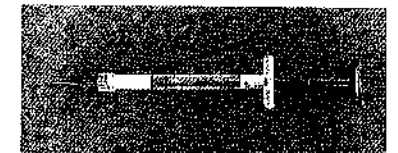
(問題 107) 歯科器材の写真(別冊午後 No.33)を別に示す。

- これを準備する処置はどれか。1つ選べ。
- a 乳歯の抜歯
- b 乳歯の感染根管治療
- c 永久歯の歯髄鎮静療法
- d 幼若永久歯の暫間的間接覆髄法

別冊 午後 No.33 写真

選択肢考察

答え b



ヨードホルム・水酸化カルシウム製剤

- × a、○ b、× c、× d 写真はヨードホルム・水酸化カルシウム製剤である。乳歯の歯内療法(抜髄や感染根管治療)における根管充填で用いられる。

ポイント

<ヨードホルム・水酸化カルシウム製剤>

- ・乳歯の生理的歯根吸収に伴って吸収される。
- ・適度な持続性殺菌作用がある。
- ・エックス線不透過性である。

(問題 108) パーキンソン病の典型的な症状はどれか。2つ選べ。

- a 出血しやすい。
- b 暴力的態度をとる。
- c 不随意運動がみられる。
- d 前傾姿勢になり転びやすい。

選択肢考察

答え c d

- × a 易出血性はパーキンソン病の典型的な症状ではない。
- × b 暴力的態度はパーキンソン病の典型的な症状ではない。
- c 手足が震える(振戦)などの不随意運動がみられる。
- d 姿勢反射障害がみられ、前傾姿勢になり転びやすい。

ポイント

<パーキンソン病の四大症状>

- ①不随意運動(安静時振戦)
- ②筋強剛(筋固縮)
- ③無動・窮動(動作緩慢)
- ④姿勢反射障害

(問題 109) エックス線写真(別冊午後 No.34)を別に示す。

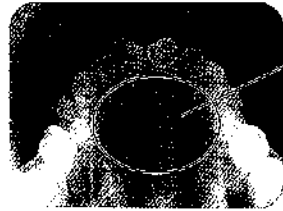
撮影法はどれか。1つ選べ。

- a 咬合法
- b 咬翼法
- c 平行法
- d 二等分法

別冊 午後 No.34 写真

選択肢考察

答え a



嚢胞

- a 咬合法は唾石、埋伏歯、嚢胞などの位置確認に用いられる。鼻翼・耳珠線を水平にして、上顎では主線を下向きに 80° で、下顎では上向きに 50° の方向に入れる。
- × b 咬翼法は隣接面う蝕や辺縁性歯周炎の診断に用いられる。デンタルフィルムに咬翼をつけて撮影する。
- × c 平行法は頬骨と目的歯が重ならず、歯の形態、歯頸部、歯根部の診査、歯周部、歯槽骨病変の有無が観察できる。歯軸とフィルム面を平行に保ち、両者に対してエックス線を垂直に照射する。
- × d 二等分法は等長法ともよばれ、根管長の確認ができる。根尖病変の有無も観察できる。フィルムと歯軸がなす角の二等分線に対してエックス線を垂直に照射する。

ポイント

<咬合法>

- ・唾石、埋伏歯、嚢胞などの位置確認、顎骨骨髄炎(骨膜反応)の診査に有効である。

(問題 110) 心肺停止の患者に使用した器械の写真(別冊午後 No.35)を別に示す。「ショックは不要です」というアナウンスが流れた。

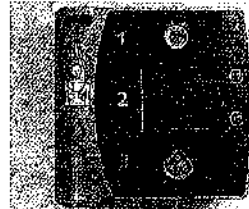
次に行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 人工呼吸
- b 胸骨圧迫
- c 意識の確認
- d 救急隊への連絡

別冊 午後 No.35 写真

選択肢考察

答え b



AED <自動体外式除細動器>

- × a 写真は AED (自動体外式除細動器) である。心肺蘇生は人工呼吸ではなく、胸骨圧迫から開始する。胸骨圧迫を 30 回行った後、人工呼吸を 2 回行う。
- b 心電図解析でショック不要とアナウンスがあった場合には、胸骨圧迫を行う。
- × c 心肺蘇生開始後は、呼吸が認められるまでは、意識の確認作業は行わない。
- × d 反応がない時点で、最初に救急隊への連絡(119 番通報)を行う。

ポイント

< AED (自動体外式除細動器) による除細動の術式 >

心室細動と脈なし心室頻拍が適応。心静止と脈なし電気活動は適応とならない。

- ①周囲の安全確認(水分をタオルで拭きとる)。
- ②電源を入れる。
- ③電極パッドを胸の右上および胸の左下に貼付。
- ④ケーブルをつなぐ。
- ⑤解析の結果、「除細動の適応」とのメッセージがあれば、指示に従って通電。
- ⑥通電後は直ちに胸骨圧迫から救急処置を再開。